

**平成 27 年度
石川県廃棄物排出量実態調査報告書
(平成 26 年度実績)**

平成 28 年 3 月

石川県環境部

はじめに

石川県は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条の5第1項の「廃棄物処理計画」を、ふるさと石川の環境を守り育てる条例第21条第2項第2号により、平成17年3月策定の「石川県環境総合計画」（第2編第2章）に定め、循環型社会の形成に向けた行動目標を制定している。

本県では、本計画に基づき、排出者や処理業者に対する支援や指導を行うほか、県内の産業廃棄物の発生、処理、減量化、再生利用等の状況を把握し、本計画の点検・対処を行うため、毎年、「石川県廃棄物排出量実態調査」を行っており、本書は平成27年度調査（平成26年度実績）の結果をとりまとめたものである。

本県における平成26年度の状況は、前年度に比べ発生量で10千トン減少、排出量で58千トン減少したが、再生利用率は2.9ポイント上昇し、最終処分量も0.6ポイント低下し行動目標134千トンを達成する69千トンであった。

引き続き循環型社会の形成のため、産業廃棄物の発生量の削減、減量化及び再生利用の拡大に向け、各主体ごとに取り組みを進めていく必要がある。

（単位：千トン/年）

	発生量	排出量	再生利用量	最終処分量
平成9年度	2,632	2,413 (100.0%)	1,257 (52.1%)	267 (11.1%)
平成11年度	3,167	3,072 (100.0%)	1,809 (58.9%)	257 (8.4%)
平成15年度	3,546	3,386 (100.0%)	1,854 (54.8%)	218 (6.4%)
平成16年度	3,637	3,449 (100.0%)	1,888 (54.7%)	179 (5.2%)
平成17年度	3,504	3,341 (100.0%)	1,781 (53.3%)	181 (5.4%)
平成18年度	3,613	3,422 (100.0%)	1,849 (54.0%)	232 (6.8%)
平成19年度	3,620	3,409 (100.0%)	1,706 (50.1%)	293 (8.6%)
平成20年度	3,291	3,110 (100.0%)	1,508 (48.5%)	235 (7.6%)
平成21年度	3,221	3,069 (100.0%)	1,503 (49.0%)	208 (6.8%)
平成22年度	3,153	2,981 (100.0%)	1,385 (46.5%)	263 (8.8%)
平成23年度	3,291	3,115 (100.0%)	1,595 (51.2%)	146 (4.7%)
平成24年度	3,283	3,073 (100.0%)	1,586 (51.6%)	88 (2.9%)
平成25年度	3,501	3,327 (100.0%)	1,801 (54.1%)	89 (2.7%)
平成26年度	3,491	3,269 (100.0%)	1,865 (57.0%)	69 (2.1%)
増減	△ 10	△ 58	64 (2.9ポイント)	△ 20 (△ 0.6ポイント)

注) 増減は平成26年度から平成25年度の差分を示す。

(単位：千トン/年)

種類	項目	排出量			再生利用量			最終処分量		
		H25	H26	増減	H25	H26	増減	H25	H26	増減
	合計	3,327	3,269	△ 58	1,801	1,865	64	89	69	△ 20
	汚泥	1,417	1,265	△ 152	89	45	△ 44	23	11	△ 12
	がれき類	1,039	1,018	△ 21	1,025	1,001	△ 24	14	15	1
	ばいじん	263	322	59	274	334	60	1	1	△ 0
	動物のふん尿	204	177	△ 27	162	134	△ 28	0	0	0
	木くず	79	82	3	48	54	6	1	0	△ 0
	ガラス陶磁器くず	52	117	65	44	108	64	8	8	△ 0
	廃プラスチック類	46	61	15	29	35	6	6	9	3
	その他	227	228	1	130	154	24	36	25	△ 11

注) 増減は平成 26 年度から平成 25 年度の差分を示す。

(単位：千トン/年)

業種	項目	排出量			再生利用量			最終処分量		
		H25	H26	増減	H25	H26	増減	H25	H26	増減
	合計	3,327	3,269	△ 58	1,801	1,865	64	89	69	△ 20
	農業、林業	205	179	△ 26	163	135	△ 28	0	1	1
	鉱業	206	50	△ 156	38	13	△ 25	0	0	0
	建設業	1,214	1,201	△ 13	1,139	1,134	△ 5	40	34	△ 6
	製造業	442	454	12	116	142	26	23	17	△ 6
	電気・水道業	1,204	1,284	80	303	367	64	23	13	△ 10
	その他	56	101	45	42	74	32	3	5	2

注) 増減は平成 26 年度から平成 25 年度の差分を示す。

目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査に関する基本的事項	1
第2節 調査方法及び推計方法の概要	5
第2章 集計の概要	10
第1節 集計の概要	10
第2節 集計結果の利用上の留意事項	13
第3章 調査結果	15
第1節 調査結果の概要	15
第2節 廃棄物の種類別の結果	16
第3節 業種別の結果	21
第4節 業種別の結果の詳細	24
第5節 地域別の結果	38
第4章 経年変化	39
第1節 排出量の推移	39
第2節 再生利用量の推移	40
第3節 最終処分量の推移	41
第5章 目標達成状況の点検・評価	42
参考資料1 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況	44
1) 調査方法	44
2) 排出及び処理状況の概要	44
3) 種類別	45
4) 業種別	46
参考資料2 広域移動状況	47
1) 県外への搬出	47
2) 県内への搬入	49
参考資料3 産業廃棄物処分業者の実績	51
1) 処分量の推移	51
2) 中間処理状況	51
3) 最終処分状況	52

統計表	53
表 1 業種別・種類別の結果表	53
表 2 発生量及び処理・処分量（種類別）（業種別）	76
表 3 特別管理産業廃棄物の発生量及び処理・処分量（種類別）	100
表 4 発生量及び処理・処分量（種類別）（地域別）	106
表 5 発生量及び処理・処分量（業種別）（地域別）	118
表 6 発生量及び処理・処分量（業種別：無変換）	130
表 7 産業廃棄物処分業者の実績集計結果	168
調査票一式	185

第1章 調査の概要

第1節 調査に関する基本的事項

本調査は、産業廃棄物の排出・処理の実態を把握するための標準的な調査方法や基礎的かつ共同的に把握すべき事項が示された「産業廃棄物排出・処理実態調査指針（平成22年4月、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課）」及び平成20年度環境省委託調査「廃棄物統計の精度向上及び迅速化のための検討調査報告書（平成21年3月）」に基づき実施したものであり、その詳細は、次のとおりである。

1. 調査対象産業廃棄物

調査対象とした産業廃棄物は、平成26年度（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）に石川県内で発生した廃棄物処理法及び同法施行令に定める産業廃棄物である。なお、②汚泥、③廃油、⑥廃プラスチック類、⑯がれき類の4種類については、廃棄物の性状に応じて、更に区分して調査を実施した（表1-1-1）。

表 1-1-1 調査対象の産業廃棄物

調査対象の産業廃棄物	
① 燃え殻	⑬ 金属くず
② 汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥）	⑭ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず （注）図表では、「ガラス陶磁器くず」と略した。
③ 廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物）	⑮ 鉱さい
④ 廃酸	⑯ がれき類 （コンクリート片、廃アスファルト、その他）
⑤ 廃アルカリ	⑰ 動物のふん尿
⑥ 廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ）	⑱ 動物の死体
⑦ 紙くず	⑲ ばいじん
⑧ 木くず	⑳ 産業廃棄物を処分するために処理したもの
⑨ 繊維くず	㉑ 使用済自動車
⑩ 動植物性残さ	
⑪ 動物系固形不要物	
⑫ ゴムくず	

注）図表では、㉑～㉒を「その他の産業廃棄物」と略した。

なお、特別管理産業廃棄物は、表1-1-2の「集計での種類」に示す産業廃棄物の種類に当てはめ、通常の産業廃棄物として集計した。

表 1-1-2 特別管理産業廃棄物

特別管理産業廃棄物	集計での種類
ア 引火性廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）	廃油
イ 腐食性廃酸（pHが2.0以下の廃酸）	廃酸
ウ 腐食性廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）	廃アルカリ
エ 感染性産業廃棄物	その他の産業廃棄物 （感染性廃棄物）
オ 特定有害産業廃棄物 （特定有害燃え殻、特定有害汚泥、特定有害廃油、特定有害廃酸、特定有害廃アルカリ、特定有害廃石綿等、特定有害鉱さい、特定有害ばいじん）	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、ガラス陶磁器くず、鉱さい、ばいじん
カ 廃PCB等	廃油

2. 調査対象業種

調査対象とした事業所は、「日本標準産業分類（総務省）」（平成25年10月改訂版）の業種区分を基本とし、表1-1-3に示す業種を調査対象とした。

表1-1-3 調査対象業種（その1）

日本標準産業分類		本書での略称
A	農業，林業	農業，林業
011	耕種農業	耕種農業
012	畜産農業	畜産農業
02	林業	林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業	製造業
09	食料品製造業	食料品
10	飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
11	繊維工業	繊維
12	木材・木製品製造業（家具を除く）	木材
13	家具・装備品製造業	家具
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
15	印刷・同関連業	印刷
16	化学工業	化学
17	石油製品・石炭製品製造業	石油・石炭
18	プラスチック製品製造業	プラスチック
19	ゴム製品製造業	ゴム
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
21	窯業・土石製品製造業	窯業・土石
22	鉄鋼業	鉄鋼
23	非鉄金属製造業	非鉄金属
24	金属製品製造業	金属
25	はん用機械器具製造業	はん用機器
26	生産用機械器具製造業	生産用機器
27	業務用機械器具製造業	業務用機器
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品
29	電気機械器具製造業	電気機器
30	情報通信機械器具製造業	情報通信機器
31	輸送用機械器具製造業	輸送機器
32	その他の製造業	その他
F	電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
33	電気業	電気業
34	ガス業	ガス業
361	上水道業	上水道業
363	下水道業	下水道業
G	情報通信業	情報通信業
413	新聞業	新聞業
414	出版業	出版業

表 1-1-3 調査対象業種（その2）

日本標準産業分類		本書での略称
H 42 43 44	運輸業，郵便業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業	運輸業 鉄道業 道路旅客運送業 道路貨物運送業
I 50 56 591 605	卸売業，小売業 各種商品卸売業 各種商品小売業 自動車小売業 燃料小売業	卸・小売業 各種商品卸売業 各種商品小売業 自動車小売業 燃料小売業
L 71 746	学術研究，専門・技術サービス業 学術・開発研究機関 写真業	学術研究・専門サービス業 学術・開発研究機関 写真業
M 75 76	宿泊業，飲食サービス業 宿泊業 飲食店	飲食・宿泊業 宿泊業 飲食店
N 781	生活関連サービス業，娯楽業 洗濯業	生活関連サービス 洗濯業
O 816	教育，学習支援業 高等教育機関	教育 高等教育機関
P 831 832	医療，福祉 病院 一般診療所	医療・福祉 病 院 一般診療所
R 89 95	サービス業（他に分類されないもの） 自動車整備業 と畜場	サービス業 自動車整備業 と畜場
T 98 99	処理業 産業廃棄物処分業 自動車解体業・破砕前処理業	処理業 産業廃棄物処理業 解体業・破砕前処理業

注 産業廃棄物処分業、解体業・破砕前処理業とは、石川県知事又は金沢市長が許可した中間処理業及び解体業・破砕前処理業を示す。

3. 調査対象地域

調査対象地域は、石川県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表 1-1-4 に示す 6 地域に区分した。

表 1-1-4 調査対象地域区分

地域名		市町名
南加賀地域		小松市、加賀市、能美市、川北町
石川中央地域	南部区	白山市、野々市市
	北部区	かほく市、津幡町、内灘町
金沢市		金沢市
能登中部地域		七尾市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町
能登北部地域		輪島市、珠洲市、穴水町、能登町

第2節 調査方法及び推計方法の概要

調査票の項目や形式は、業種による産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の特性を考慮し、①建設業、②解体業・破砕前処理業、③産業廃棄物処分業、④その他業種の4種類とした。

なお、調査票の項目及び形式は、巻末の参考資料に示すとおりである。

1. 発生量原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

(1) 推計の考え方

調査対象全体の発生量は、資料調査、標本調査及び全数調査による発生量の合計により算出した。

資料調査及び全数調査は、実数値の集計により算出したが、標本調査については、標本以外の発生量は、発生原単位を用いて算出した。

なお、発生量全体の推計手法の流れは、図1-2-1に示すとおりであり、表1-2-1に標本の抽出方法を示す。

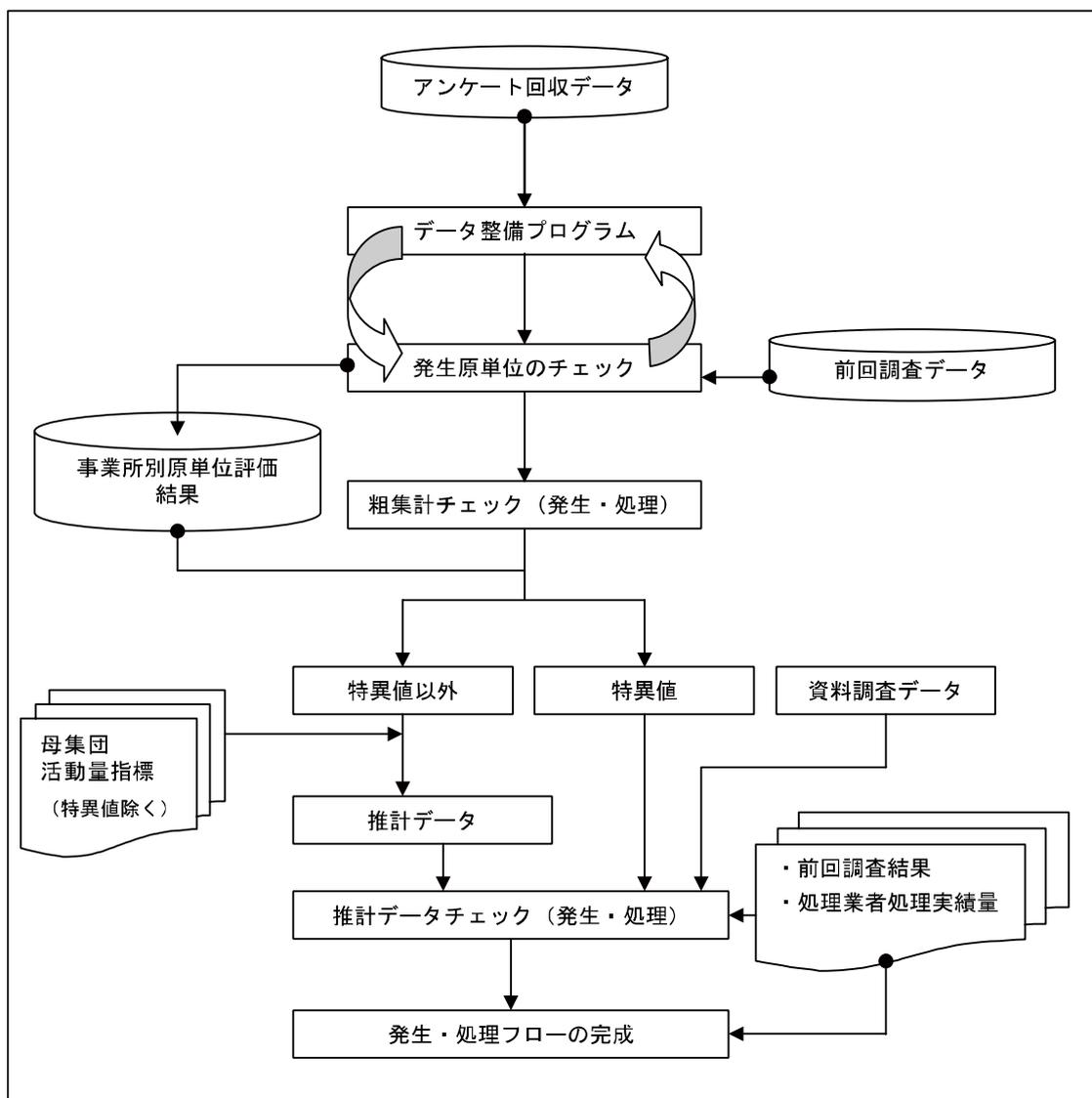


図1-2-1 調査方法の概要

表 1-2-1 業種別の事業所抽出方法

業種	標本抽出方法等
農業, 林業	(林業) 事業所母集団データベースから抽出 ・従業者数5人以上を全数抽出
漁業	事業所母集団データベースから抽出 ・従業者数30人以上を全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満は無作為抽出 ただし、平成26年度多量排出事業者は全数抽出
鉱業	
建設業	
製造業	
電気・水道業	(電気業、ガス業) 事業所母集団データベースから、電気業は発電所、ガス業はガス製造所を対象として全数抽出 (上水道、下水道業) 既存の資料から全数抽出
情報通信業	事業所母集団データベースから抽出 ・従業者数30人以上(一部は50人以上)は全数抽出 ・従業者数5人以上30人未満(表1-2-3で示す一部業種については50人未満)は無作為抽出 ただし、平成26年度多量排出事業者及び病院、保健所については全数抽出
運輸業	
卸・小売業	
学術研究・ 専門サービス業	
飲食・宿泊業	
生活関連サービス	
教育	
医療・福祉	
サービス業	
処理業	

原単位法とは

(1) 排出原単位の算出

排出原単位は、アンケート調査によって得られた標本の業種別の集計産業廃棄物量と集計活動量指標から、次式により活動量指標単位当たりの産業廃棄物排出量(排出原単位)を産業廃棄物の種類別に算出する。

$$\alpha = W / O$$

α : 産業廃棄物の排出原単位
 W : 標本に基づく集計産業廃棄物排出量
 O : 標本に基づく集計活動量指標

(2) 調査対象全体の排出量の推定方法

(1)で算出された排出原単位と、業種別の調査対象全体(母集団)における調査対象年度の活動量指標を用いて、次式によって調査対象全体の産業廃棄物の排出量を推定する。

$$w' = \alpha \times O'$$

w' : 調査対象年度の推定産業廃棄物排出量
 O' : 調査対象年度の母集団の活動量指標

調査方法について

アンケート調査(全数調査) : 調査対象業種の全事業所へアンケートを行い、産業廃棄物の発生量及び処理状況等を調査する方法

アンケート調査(標本調査) : 調査対象業種の事業所から抽出した事業所へアンケートを行い、産業廃棄物の発生量及び処理状況等を調査する方法

資料調査 : 国や県が実施した統計調査結果や関係団体が公表する資料等から産業廃棄物の発生量及び処理状況等を調査する方法

行政報告調査 : 県が実施した処分業者への処分実績報告書を用いて処理量等の実績値を積み上げ、産業廃棄物の処理・移動過程を把握する方法

2. アンケート調査の概要

(1) アンケート調査の対象事業所

平成 27 年度調査は、石川県内に所在する事業所 63,640 件（平成 26 年経済センサス）のうち、調査対象事業所として、表 1-1-3 に示す業種（事業所数 47,711 件）のうち、表 1-2-3 に示す 4,067 件を抽出（抽出率 8.5%）する標本調査とし、アンケート形式（郵便で調査票の配布・回収）で調査を実施した。

なお、調査票は、各業種の発生廃棄物や処理状況の特性を考慮して、建設業、解体業・破碎前処理業、廃棄物処分業、その他業種の 4 種類の調査票を用い、廃棄物の発生量及び処理状況に関する事項のほか、活動量指標（製造品出荷額等）を調査した（調査票様式は巻末に掲載）。

(2) アンケート調査の結果

標本抽出と回収結果は、表 1-2-3 に示すとおりである。また、表中の用語は表 1-2-2 に示すとおりである。

アンケート調査を行った 4,067 件のうち 2,678 件から回答が得られた（回収率 65.8%）。

この 2,678 事業所のうち、転出・廃業等があった事業所及び建設業で元請工事実績の無い事業所や回答内容に不備のあった事業所を除外した 2,588 件（有効回答率 63.6%）を有効調査票とした。

表 1-2-2 アンケート調査（標本調査）で用いる用語の定義

区 分		用語の定義
調査対象事業所数	A	調査の対象とした業種の県内全体の事業所数
抽出事業所数	B	調査対象事業所より標本調査の対象として抽出した事業所数
抽出率	C	$B \div A \times 100$
回収事業所数	D	調査票が回収（返送）された事業所数
回収率	E	$D \div B \times 100$
有効調査票数	F	事業所の転・廃業、又は建設業において「県内元請工事の実績無し」等の理由により無効となった調査票を除いた数
集計活動量指標値	G	有効調査票より入力した各業種の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）集計値
母集団活動量指標値	H	統計資料で把握した各業種の県全体（母集団）の活動量指標値（従業者数、元請完成工事高、製造品出荷額等）集計値
指標カバー率	I	県全体（母集団）の活動量指標値（H）に対する、有効調査票で得られた集計活動量指標値（G）の割合 $G \div H \times 100$
集計廃棄物量	J	有効調査票より入力した各業種の廃棄物の発生量の集計値
推計廃棄物量	K	原単位法に基づき推定した各業種の廃棄物の発生量の推定値
捕捉率	L	推定廃棄物量（K）に対する集計廃棄物計量（J）の割合 $J \div K \times 100$

表 1-2-3 標本抽出と回収結果

(人数は従業者数、事業所数単位:件)

業種区分	調査対象事業所数	事業所数			回収事業所数(件)		有効調査票数(件)		集計活動量	母集団活動量	集計廃棄物量(トン)	推計廃棄物量(トン)	備考		
		事業所数	構成比	抽出率	回収率	調査票数	抽出率								
								A						B	C
農業、林業	A	53	23	0.6%	43.4%	19	82.6%	19	82.6%	274	1,184	23.1%	965	1,472	65.6%
林業	A02	53	23	0.6%	43.4%	19	82.6%	19	82.6%	274	1,184	23.1%	965	1,472	65.6%
漁業	B	65	32	0.8%	49.2%	19	59.4%	19	59.4%	109	153	71.2%	15	64	-
鉱業	C	31	22	0.5%	71.0%	14	63.6%	14	63.6%	8	28	28.6%	50,125	50,178	99.9%
砂利採取業	C054	28	19	0.5%	67.9%	14	73.7%	14	73.7%	8	28	28.6%	50,125	50,178	99.9%
その他鉱業	Cz	3	3	0.1%	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	-	0	0	-
建設業	D	6,409	515	12.7%	8.0%	409	79.4%	392	76.1%	306,013	498,421	61.4%	611,394	1,229,963	49.7%
製造業	E	7,313	1,632	40.1%	22.3%	975	59.7%	951	58.3%	1,574,515	2,216,846	71.0%	478,231	529,588	90.3%
食品	E09	695	180	4.4%	25.9%	100	55.6%	95	52.8%	80,295	115,094	69.8%	15,452	21,783	70.9%
飲料・飼料	E10	63	34	0.8%	54.0%	21	61.8%	21	61.8%	4,541	5,192	87.5%	190	202	94.2%
繊維	E11	1,555	195	4.8%	12.5%	95	48.7%	93	47.7%	113,995	148,804	76.6%	84,226	87,473	96.3%
木材	E12	193	48	1.2%	24.9%	31	64.6%	30	62.5%	10,231	12,725	80.4%	16,720	20,796	80.4%
家具	E13	384	42	1.0%	10.9%	28	66.7%	28	66.7%	29,158	66,818	43.6%	3,401	7,393	46.0%
パルプ・紙	E14	118	64	1.6%	54.2%	33	51.8%	33	51.6%	14,882	13,203	112.7%	67,646	67,646	100.0%
印刷	E15	336	75	1.8%	22.3%	43	57.3%	43	57.3%	49,818	58,260	85.5%	10,110	11,824	85.5%
化学	E16	47	33	0.8%	70.2%	20	60.6%	20	60.6%	57,980	144,397	40.2%	34,342	35,170	97.6%
石油・石炭	E17	14	9	0.2%	64.3%	8	88.9%	8	88.9%	6,193	-	-	22,824	22,824	100.0%
プラスチック	E18	190	58	1.4%	30.5%	32	55.2%	31	53.4%	31,368	46,348	67.7%	2,378	3,514	67.7%
ゴム	E19	30	18	0.4%	60.0%	13	72.2%	13	72.2%	4,695	-	-	362	362	100.0%
皮革	E20	7	5	0.1%	71.4%	3	60.0%	2	40.0%	273	-	-	16	16	-
皮革・土石	E21	460	93	2.3%	20.2%	75	80.6%	71	76.3%	29,121	34,472	84.5%	40,518	44,389	91.3%
鉄鋼	E22	117	51	1.3%	43.6%	31	60.8%	30	58.8%	24,537	30,245	81.1%	10,116	12,974	78.0%
非鉄金属	E23	51	28	0.7%	54.9%	16	57.1%	15	53.6%	21,342	28,604	74.6%	10,696	14,336	74.6%
金属	E24	672	117	2.9%	17.4%	76	65.0%	75	64.1%	87,472	88,857	98.4%	30,888	31,280	98.7%
はん用機器	E25	220	75	1.8%	34.1%	42	56.0%	41	54.7%	85,277	76,902	110.9%	25,374	25,374	100.0%
生産用機器	E26	843	198	4.9%	23.5%	119	60.1%	115	58.1%	495,917	595,323	83.3%	24,677	30,636	80.5%
業務用機器	E27	57	32	0.8%	56.1%	21	65.6%	20	62.5%	22,512	41,676	54.0%	1,178	2,181	54.0%
電子部品	E28	72	59	1.5%	81.9%	38	64.4%	37	62.7%	193,115	338,033	57.1%	54,033	59,341	91.1%
電気機器	E29	206	67	1.6%	32.5%	44	65.7%	44	65.7%	57,539	85,361	67.4%	2,011	2,984	67.4%
情報機器	E30	29	22	0.5%	75.9%	11	50.0%	11	50.0%	44,743	155,034	28.9%	942	3,265	28.9%
輸送機器	E31	120	71	1.7%	59.2%	44	62.0%	44	62.0%	96,752	113,993	84.9%	19,249	22,689	84.8%
その他	E32	834	58	1.4%	7.0%	31	53.4%	31	53.4%	12,759	17,505	72.9%	881	1,137	77.5%
電気・水道業	F	149	128	3.1%	85.9%	120	93.8%	113	88.3%	2,155	-	-	1,397,080	1,397,080	100.0%
発電所	F331	10	7	0.2%	70.0%	7	100.0%	7	100.0%	1,382	-	-	500,012	500,012	100.0%
ガス製造所	F341	4	3	0.1%	75.0%	3	100.0%	3	100.0%	66	-	-	23	23	100.0%
上水道業	F361	74	63	1.5%	85.1%	55	87.3%	50	79.4%	396	-	-	15,944	15,944	100.0%
下水道業	F363	61	55	1.4%	90.2%	55	100.0%	53	96.4%	311	-	-	881,102	881,102	100.0%
情報通信業	G	567	114	2.8%	20.1%	77	67.5%	74	64.9%	9,206	11,112	82.8%	117	141	82.7%
新聞業	G413	11	8	0.2%	72.7%	3	37.5%	3	37.5%	488	443	110.2%	3	3	100.0%
出版業	G414	30	14	0.3%	46.7%	6	42.9%	6	42.9%	206	336	61.3%	0	0	-
その他情報通信業	Gx	526	92	2.3%	17.5%	68	73.9%	65	70.7%	8,512	10,333	82.4%	114	138	82.4%
運輸業	H	1,357	258	6.3%	19.0%	160	62.0%	155	60.1%	11,015	28,507	38.6%	3,597	8,533	42.2%
鉄道業	H42	45	32	0.8%	71.1%	26	81.3%	25	78.1%	2,423	1,888	128.3%	1,253	1,253	100.0%
道路旅客運送業	H43	323	82	2.0%	25.4%	35	42.7%	33	40.2%	1,642	5,204	31.6%	131	415	31.6%
道路貨物運送業	H44	772	102	2.5%	13.2%	70	68.6%	68	66.7%	5,059	15,791	32.0%	1,913	5,970	32.0%
その他運輸、郵便業	Hx	217	42	1.0%	19.4%	29	69.0%	29	69.0%	1,891	5,624	33.6%	301	895	33.6%
卸・小売業	I	15,563	419	10.3%	2.7%	264	63.0%	251	59.9%	18,973	111,918	17.0%	17,723	33,036	53.6%
卸売業	I50	12	5	0.1%	41.7%	4	80.0%	4	80.0%	100	165	60.6%	100	164	60.6%
建築資材卸売業	I531	389	32	0.8%	8.2%	23	71.9%	23	71.9%	498	2,647	18.8%	2,786	4,962	56.1%
各種商品小売業	I56	44	28	0.7%	63.6%	16	57.1%	15	53.6%	4,152	3,664	113.3%	423	423	100.0%
自動車小売業	I591	979	42	1.0%	4.3%	23	54.8%	23	54.8%	793	6,499	12.2%	3,307	9,555	34.6%
機械器具小売業	I593	540	33	0.8%	6.1%	18	54.5%	18	54.5%	618	2,709	22.8%	8,876	9,512	93.3%
家具・建具・畳小売業	I601	227	21	0.5%	9.3%	11	52.4%	10	47.6%	97	965	10.1%	29	284	10.1%
じゅう器小売業	I602	268	20	0.5%	7.5%	13	65.0%	13	65.0%	112	1,103	10.2%	10	98	-
燃料小売業	I605	658	28	0.7%	4.3%	18	64.3%	18	64.3%	333	4,069	8.2%	166	1,953	8.5%
その他卸売、小売業	Ix	12,446	210	5.2%	1.7%	138	65.7%	127	60.5%	12,270	90,097	13.6%	2,027	6,084	33.3%
学術研究・専門	L	182	50	1.2%	27.5%	39	78.0%	34	68.0%	889	1,018	87.3%	128	316	40.4%
学術・研究機関	L71	59	29	0.7%	49.2%	28	96.6%	24	82.8%	785	520	151.0%	78	78	100.0%
写真業	L746	123	21	0.5%	17.1%	11	52.4%	10	47.6%	104	498	20.9%	50	238	20.9%
飲食・宿泊業	M	6,827	161	4.0%	2.4%	63	39.1%	59	36.6%	3,412	49,248	6.9%	203	1,668	12.2%
宿泊業	M75	653	73	1.8%	11.2%	33	45.2%	33	45.2%	2,824	11,266	25.1%	184	733	25.1%
飲食店	M76	6,174	88	2.2%	1.4%	30	34.1%	26	29.5%	588	37,982	1.5%	19	935	2.1%
生活・娯楽業	N	633	38	0.9%	6.0%	25	65.8%	24	63.2%	982	3,026	32.5%	3,235	3,364	96.2%
洗濯業	N781	633	38	0.9%	6.0%	25	65.8%	24	63.2%	982	3,026	32.5%	3,235	3,364	96.2%
教育・学習	O	26	25	0.6%	96.2%	18	72.0%	13	52.0%	3,075	6,713	45.8%	897	1,957	45.8%
高等教育機関	O816	26	25	0.6%	96.2%	18	72.0%	13	52.0%	3,075	6,713	45.8%	897	1,957	45.8%
医療・福祉	P	4,065	368	9.0%	9.1%	309	84.0%	307	83.4%	24,870	59,070	42.1%	6,819	7,541	90.4%
病院	P831	98	98	2.4%	100.0%	86	87.8%	86	87.8%	11,404	18,468	61.8%	5,684	5,684	100.0%
医療業	P83x	1,203	82	2.0%	6.8%	67	81.7%	67	81.7%	1,486	9,665	15.4%	677	797	85.0%
保健所	P841	10	7	0.2%	70.0%	7	100.0%	7	100.0%	296	465	63.7%	129	203	63.7%
その他医療、福祉	Px	2,754	181	4.5%	6.6%	149	82.3%	147	81.2%	11,684	30,472	38.3%	329	857	38.3%
サービス業	R	4,368	209	5.1%	4.8%	135	64.6%	132	63.2%	13,209	37,857	34.9%	3,459	10,627	32.5%
自動車整備業	R89	545	52	1.3%	9.5%	29	55.8%	29	55.8%	401	2,727	14.7%	418	2,842	14.7%
と畜場	R952	1	1	0.0%	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	19	19	100.0%	323	323	-
その他サービス業	Rx	3,822	156	3.8%	4.1%	105	67.3%	102	65.4%	12,789	35,111	36.4%	2,718	7,462	36.4%
処理業	T	103	73	1.8%	70.9%	32	43.8%	31	42.5%	32,374	41,500	78.0			

第2章 集計の概要

第1節 集計の概要

集計結果は、図 2-1-1 に示す発生量及び処理状況の流れ図により、項目ごとに年間量をとりとめた。

なお、図 2-1-1 に示した各項目の用語の定義は、表 2-1-1 に示すとおりである。

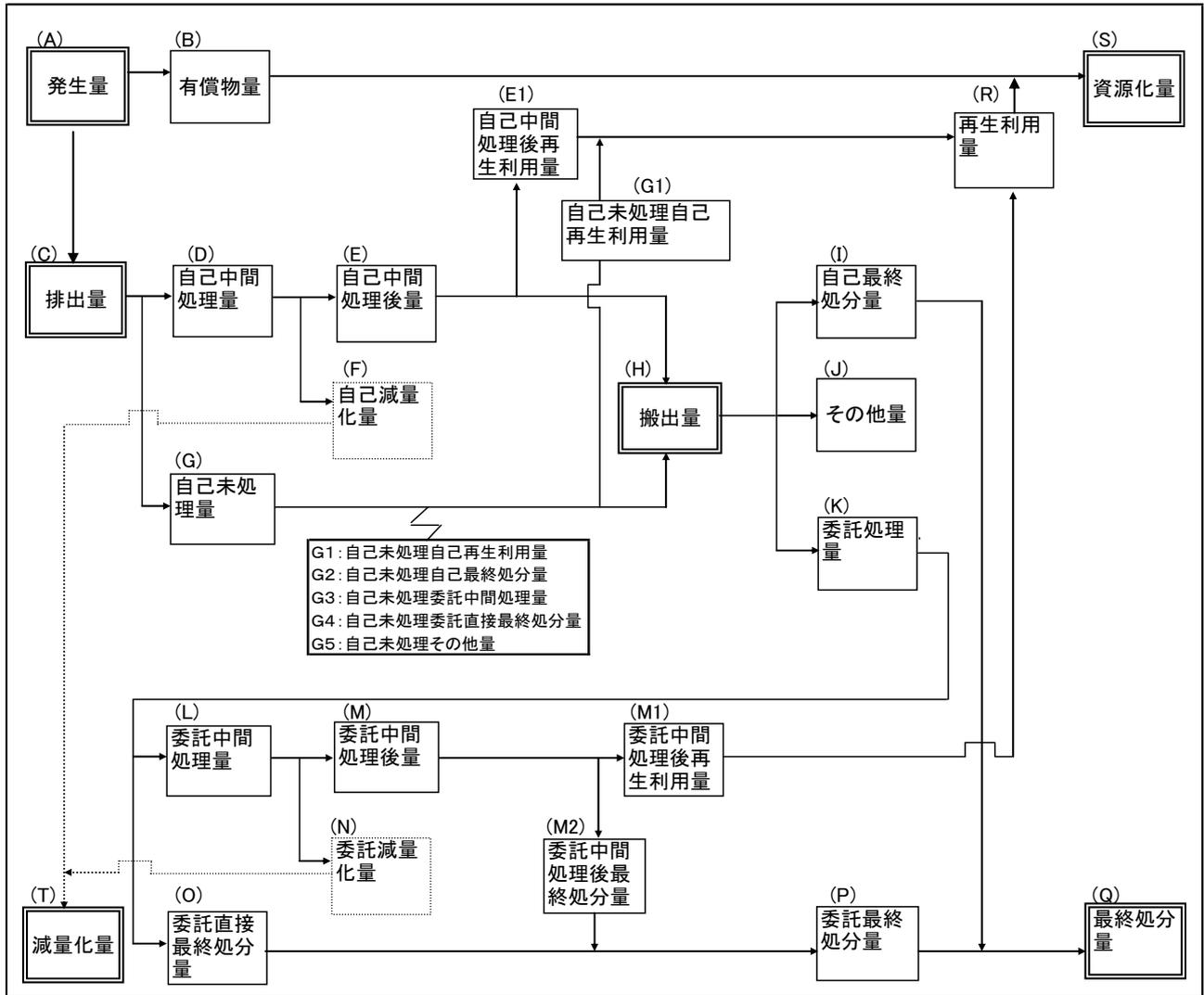


図 2-1-1 発生量及び処理状況の流れ図

表 2-1-1 発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量。(他者に有償売却できるものを自己利用した場合を含む)
(C) 排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(E) 自己中間処理後量	(D)で中間処理された後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(G) 自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	(I)の自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分された量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	(L)の委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理された量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	(O)の委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	(J)のその他量のうち、自己未処理でその他となった量
(H) 搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他、(K)の委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	保管されている量、又は、それ以外の量
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L) 委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O) 委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M) 委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者又は、処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者又は、処理業者等の中間処理により減量された量

第2節 集計結果の利用上の留意事項

1. 産業廃棄物の種類の区分

中間処理によって産業廃棄物の種類が変化する場合があるため、産業廃棄物の種類は3段階で設定した(表2-2-1)。

本報告書では、原則として中間処理によって変化した廃棄物の種類で表し、中間処理前(発生時)の廃棄物の種類で表す場合は「無変換」と示す。

なお、自らの事業所の施設にて廃棄物を焼却処理し、燃え殻が発生した場合は、焼却処理前の廃棄物量を発生量として集計した。また、酸性又はアルカリ性の排水を公共用水域へ放流するため自らの事業所で中和処理を行った場合は、中和処理後に生じた脱水前の汚泥(沈でん物)量を発生量として集計した。

表2-2-1 中間処理により変化した廃棄物の分類

区分	廃棄物の分類
1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業者の中間処理により、変化した処理後の種類 例；木くず→(焼却)→[燃え殻] 注) 1段階時点の種類と事業者の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類 注) 2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

2. 建設業の地域別発生量等の推計方法

建設業における発生場所は、事業所の所在地ではなく、アンケートで確認した地域別の廃棄物の発生比率により案分した。

3. 単位と数値に関する処理

数量(千トン)及び構成比(%)は、四捨五入を行っているため、総数と個々の計が一致しない場合がある。

また、表中の「空欄」は該当する値がないことを、「0」は500トン/年未満を示す。

4. その他

- (1) 専ら再生利用の目的となる産業廃棄物(古紙、くず鉄、空き瓶類及び古繊維)及び法令上廃棄物に区分されない有償物(以下「有償物」という。)も調査対象に含めている。
- (2) ⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑰動物のふん尿及び⑱動物の死体の7種類は、廃棄物処理法にて産業廃棄物となる業種が指定されているため、指定された業種以外の事業所から発生したこれらの廃棄物は調査対象から除外した。

一方で、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、廃棄物処理法施行令の一部改正により平成20年4月から産業廃棄物として取り扱われることになったため、すべての業種で産業廃棄物として集計した。

- (3) 産業廃棄物の種類別の集計は、表 1-1-1 に示す①～⑱の種類と「その他の産業廃棄物」によりとりまとめた。

なお、「その他の産業廃棄物」の発生量等は、感染性廃棄物、使用済自動車、混合廃棄物、「産業廃棄物を処分するために処理したもの」の合計値とした。

- (4) 産業廃棄物の業種別の集計は、表 1-1-3 に示す業種のうち、漁業、情報通信業、飲食・宿泊業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、教育及び医療・福祉は「その他の業種」としてまとめて集計した。

第3章 調査結果

第1節 調査結果の概要

平成26年度に石川県内で発生・排出及び処理・処分した産業廃棄物の状況は、図3-1-1に示すとおりである。

産業廃棄物の発生量は3,491千トンで、このうち有償物量は222千トン（発生量の6.4%）、排出量は3,269千トン（同93.6%）となっている。

また、排出量3,269千トンのうち、再生利用量は1,865千トン（排出量の57.0%）、減量化量は1,329千トン（同40.7%）、最終処分量は69千トン（同2.1%）となっている。

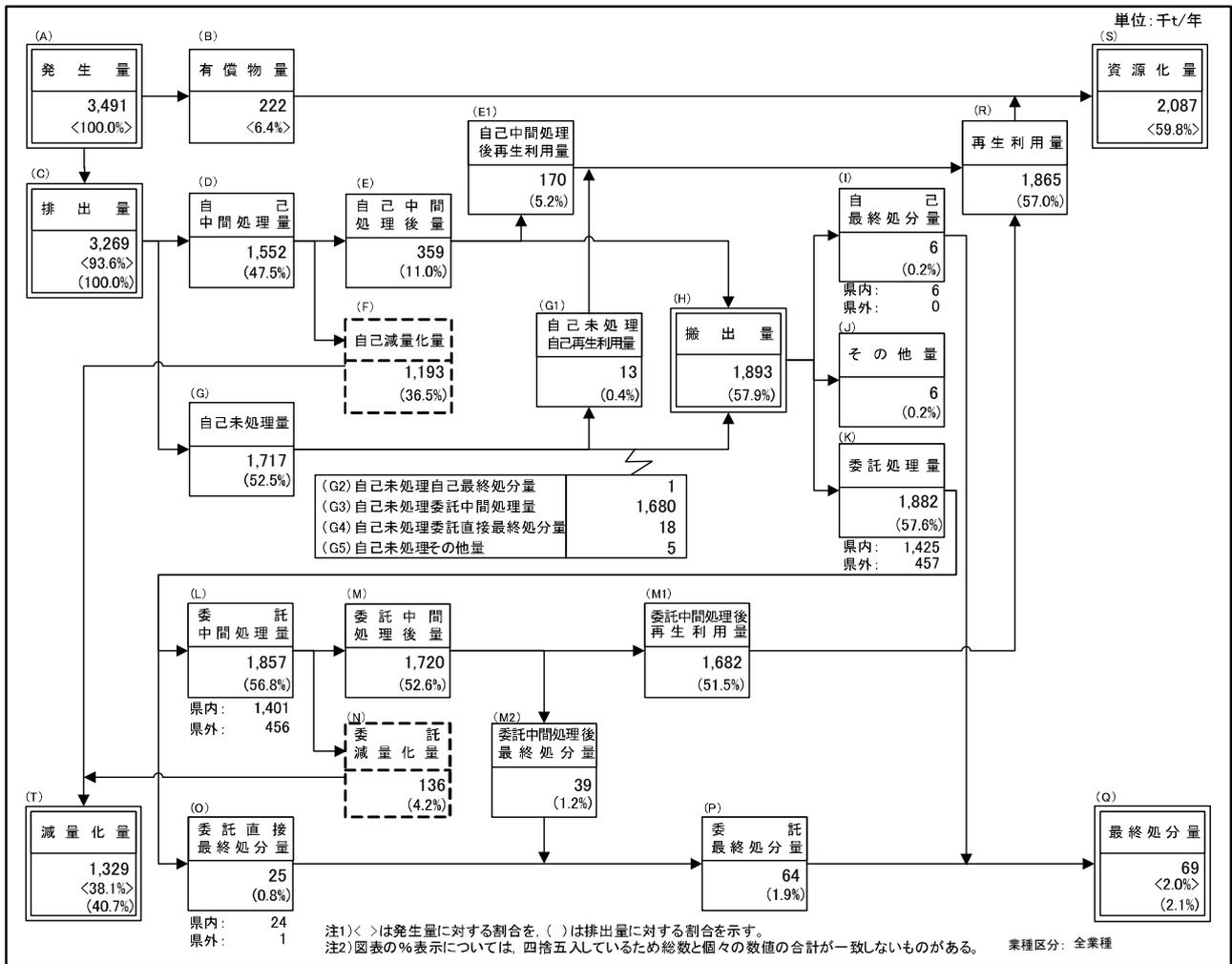


図3-1-1 発生及び処理状況の概要

第2節 廃棄物の種類別の結果

1. 廃棄物の種類別の排出量

産業廃棄物の排出量は3,269千トンで、種類別の排出量は、図3-2-1、図3-2-2に示すとおりである。

汚泥が1,265千トン（排出量の38.7%）で最も多く、次いで、がれき類1,018千トン（同31.1%）、ばいじん322千トン（同9.8%）、動物のふん尿177千トン（同5.4%）、ガラス陶磁器くず117千トン（同3.6%）となっている。

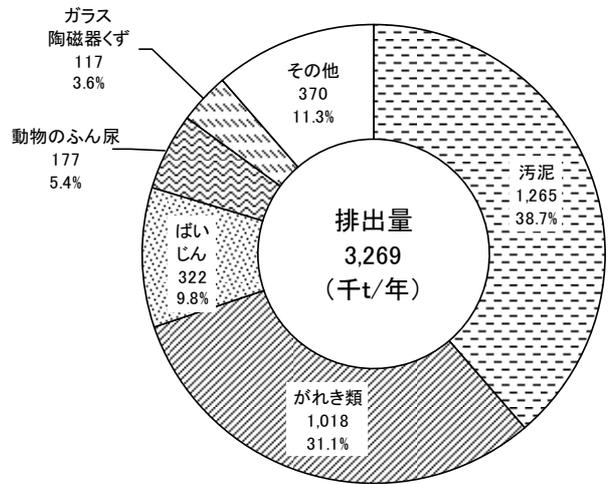


図3-2-1 種類別排出量

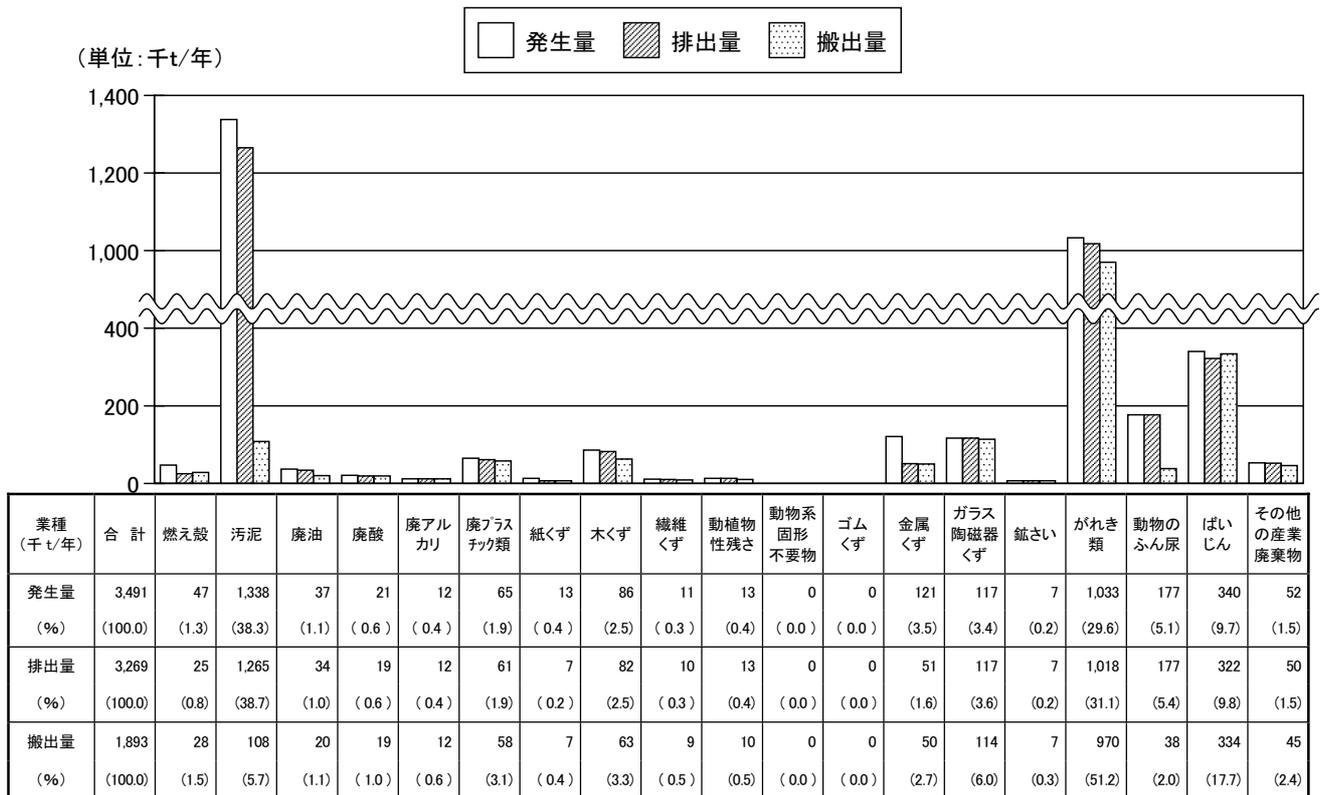


図3-2-2 種類別の発生量、排出量

2. 廃棄物の種類別の再生利用量

再生利用量は 1,865 千トンで排出量の 57.0%を占めている。

廃棄物の種類別の再生利用量は、図 3-2-3、図 3-2-4 に示すとおりである。

種類別でみると、がれき類が 1,001 千トン（再生利用量の 53.7%）で最も多く、次いで、ばいじんが 334 千トン（同 17.9%）、動物のふん尿が 134 千トン（同 7.2%）、ガラス陶磁器くずが 108 千トン（同 5.8%）、木くずが 54 千トン（同 2.9%）となっている。

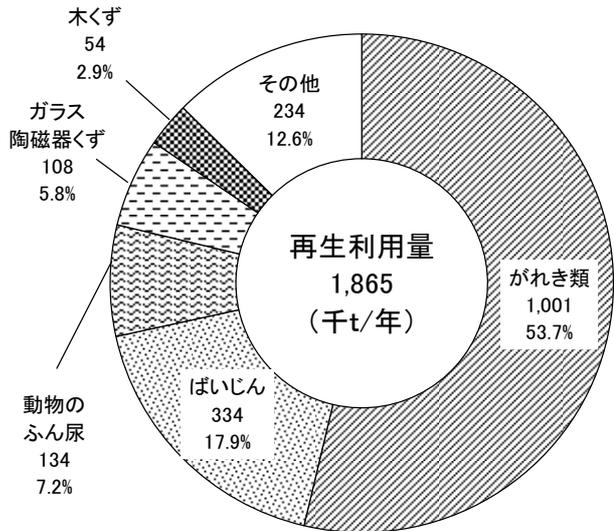


図 3-2-3 種類別再生利用量

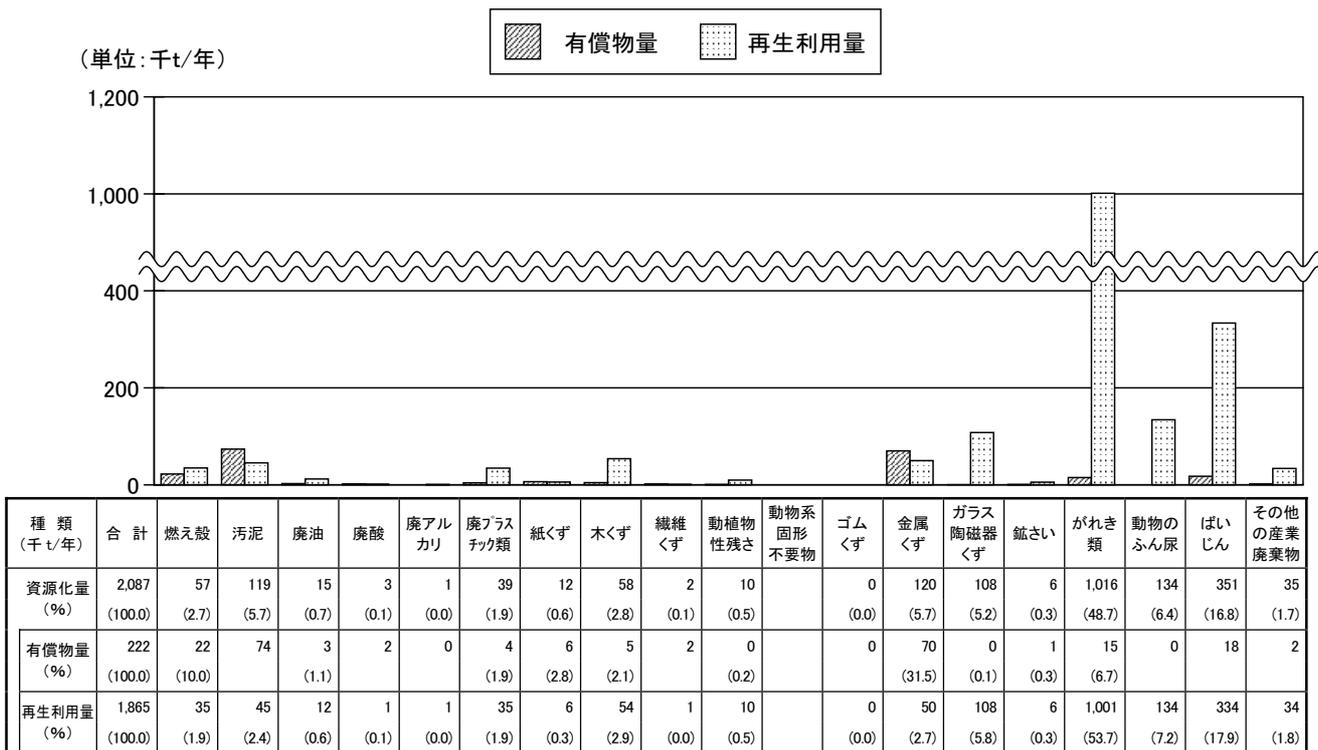


図 3-2-4 廃棄物の種類別の再生利用量

3. 利用用途別の再生利用量

利用用途別の再生利用量は、図 3-2-5、表 3-2-1 に示すとおりである。

再生利用の利用用途別は、土木・建設資材が 976 千トン(再生利用量の 52.3%)で最も多く、次いで、セメント原料が 347 千トン(同 18.7%)、飼料・肥料・土壌改良材が 161 千トン(同 8.6%)、鉄鋼原(材)料が 60 千トン(同 3.2%)となっている。

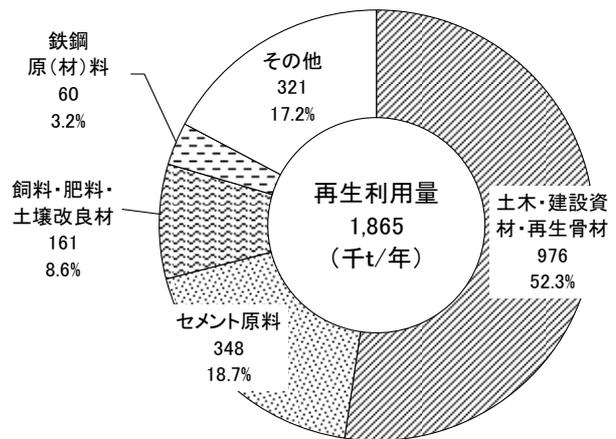


図 3-2-5 用途別再生利用量

表 3-2-1 利用用途別の再生利用量

(単位:千t/年)

業種 種類	再生利用量	鉄鋼原(材)料	燃料又はその原(材)料	土木・建設資材・再生骨材	セメント原料	飼料・肥料・土壌改良材	パルプ・紙原材料	ガラス(原材料)料	プラスチック原料(材)料	再生油・再生溶剤	再生タイヤ	高炉還元	その他・不明
合計	1,865	60	49	976	348	161	14	1	9	2	1	1	244
燃え殻	35	0	0	7	26	0	0		0			0	1
汚泥	45	0	1	3	0	14	2						24
廃油	12	0	6			0				1		0	5
廃酸	1	0	0		0					1			0
廃アルカリ	1	0	0		0					0			0
廃プラスチック類	35	0	13	0	0	0	0		8		1	0	11
紙くず	6		0				5						1
木くず	54	0	25	7		2	7		0			0	13
繊維くず	1	0	1		0	0			0				0
動植物性残さ	10		0			9							0
動物系固形不要物													
ゴムくず	0												0
金属くず	50	36		1					0				13
ガラス陶磁器くず	108	0		93	1	1		1	0				12
鋳さい	6	0		3	1								1
がれき類	1,001			843	5								153
動物のふん尿	134					134							0
ばいじん	334	1		19	314								0
その他の産業廃棄物	34	23	2	0	0		0	0	0			0	7

4. 廃棄物の種類別の最終処分量

最終処分量は 69 千トンで、排出量の 2.1% を占めている。

廃棄物の種類別の最終処分量は、図 3-2-6、図 3-2-7 に示すとおりである。

燃え殻が 15 千トン（最終処分量の 21.8%）で最も多く、次いで、がれき類が 15 千トン（同 22.0%）、汚泥が 11 千トン（同 15.9%）となっている。

最終処分先は、処理業者等への委託最終処分量が 64 千トン（同 91.6%）自己最終処分量 6 千トン（同 8.4%）となっている。

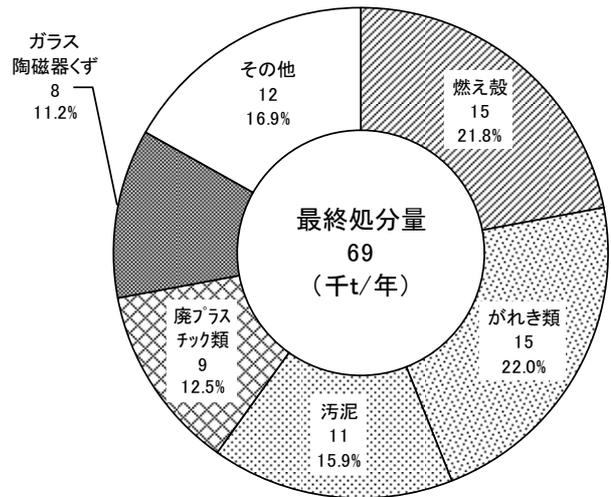


図 3-2-6 種類別最終処分量

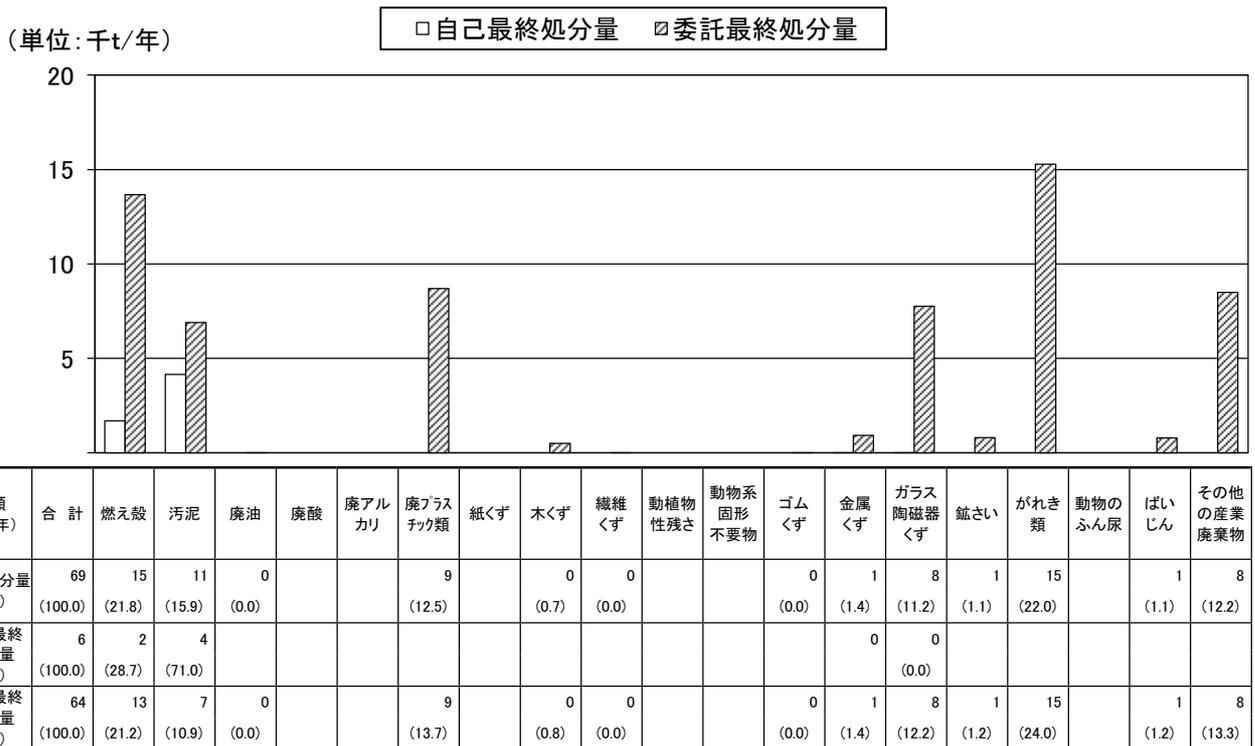


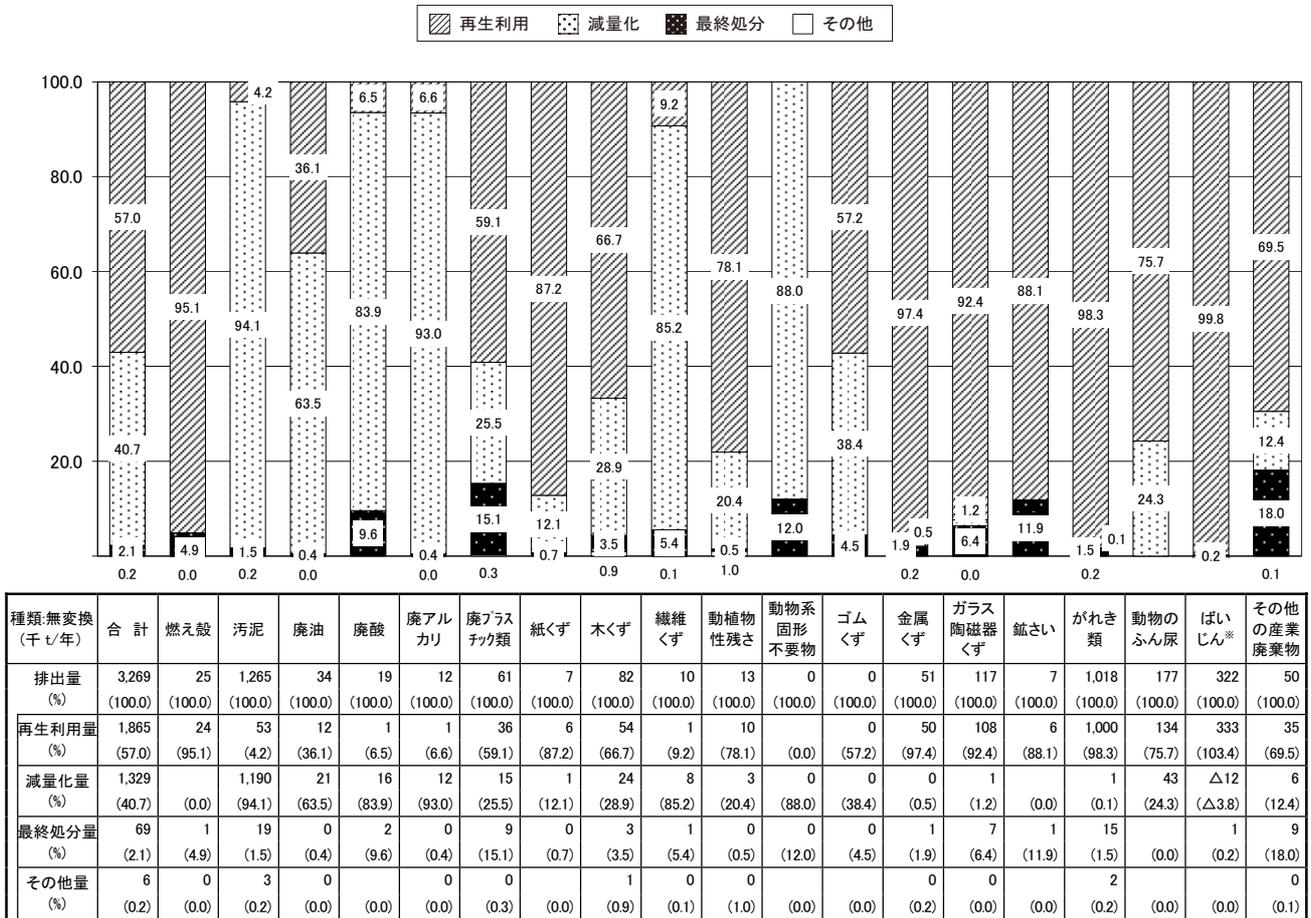
図 3-2-7 最終処分の状況

石炭火力発電所から排出される廃棄物の多くは、土木・建設資材やセメント原材料として再生利用されているが、一部には最終処分されるものもある。ただし、最終処分される廃棄物は、港湾計画に位置付けられた港湾用地の土地造成材として利用されている側面もある。

5. 廃棄物の種類別の再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比（無変換）

排出量種類別の廃棄物の処理状況（再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比）は、図 3-2-8 に示すとおりである。

排出量に対する最終処分量の構成比（最終処分率）をみると、その他の産業廃棄物が 18.0% と、最も高くなっている。



※ばいじんは、搬出時に加水され重量が増加するため減量化量がマイナスになる。このため図中では再生利用と最終処分量の割合で表記した。

図 3-2-8 廃棄物の種類別の再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比（無変換）

第3節 業種別の結果

1. 業種別の排出量

業種別の排出量は、図 3-3-1、2 に示すとおりである。

電気・水道業が 1,284 千トン（排出量の 39.3%）で最も多く、次いで、建設業が 1,201 千トン（同 36.7%）、製造業が 454 千トン（13.9%）で、これら 3 業種で全体の 89.9% を占めている。

なお、図 3-3-2 に示すとおり、農業、林業と製造業、電気・水道業は、自己再生利用量や自己減量化量が多いため、発生・排出量に対して搬出量が少なくなっている。

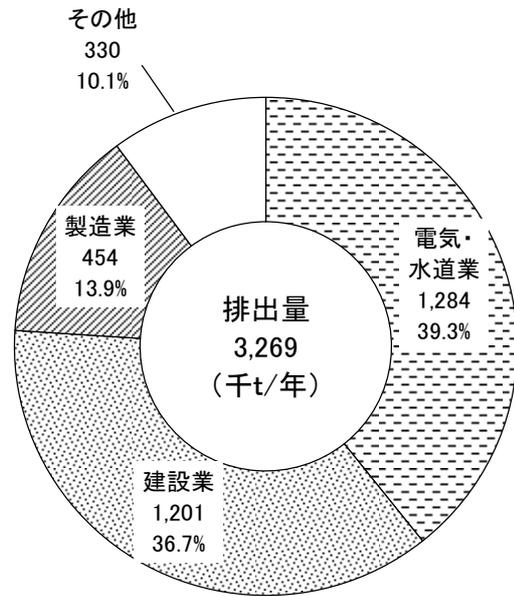


図 3-3-1 業種別の排出量

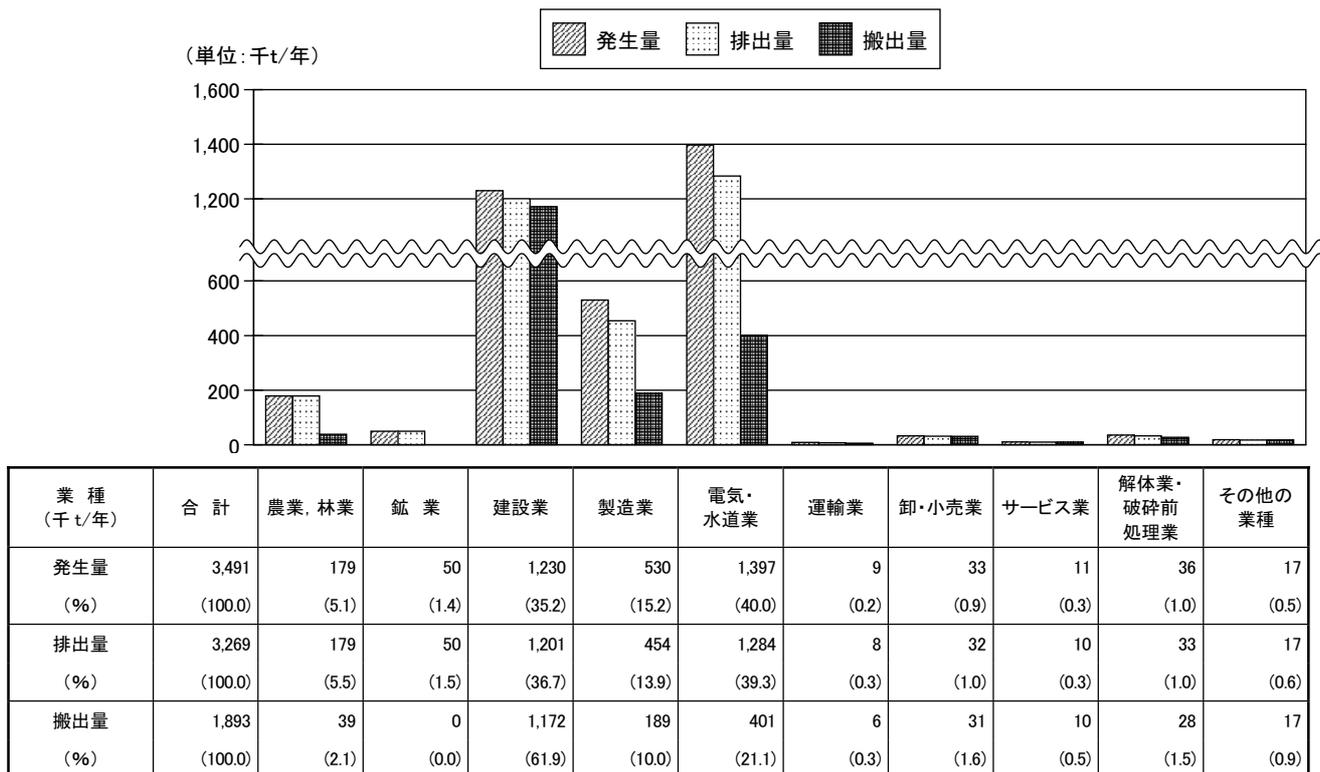


図 3-3-2 業種別の発生量、排出量

2. 業種別の廃棄物の種類

業種別・廃棄物種類別の排出量は、表 3-3-1 に示すとおりである。

- ① 汚泥の排出量は 1,265 千トンで、電気・水道業から 938 千トン（主に下水道業からの有機性汚泥）が排出されている。この他、製造業で 245 千トンが排出されている。
- ② がれき類の排出量は 1,018 千トンで、このうち建設業から 975 千トン（主に建築物の新築や解体、道路工事の際に発生したコンクリート片や廃アスファルトなど）である。
- ③ ばいじんの排出量は 322 千トンで、ほぼ全量が電気・水道業（石炭火力発電所からの石炭灰）からの排出である。
- ④ 動物のふん尿の排出量は 177 千トンで、全量が農業、林業（畜産業）からの排出である。

表 3-3-1 業種別・種類別の排出量

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	農業、 林業	鉱業	建設業	製造業	電気・ 水道業	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体業・ 破碎 前処理業	その他の 業種
合計	3,269	179	50	1,201	454	1,284	8	32	10	33	17
汚泥	1,265		50	26	245	938	0	2	0		3
廃油	34			0	27	0	0	4	1	0	1
廃酸	19			0	19	0	0	0			0
廃アルカリ	12			0	12	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	61	1	0	13	20	0	3	14	4	1	5
木くず	82	1		52	26	0	2	1	0		0
繊維くず	10			8	1			0			0
動植物性残さ	13				13						
金属くず	51			13	19	0	1	6	4	6	1
ガラス陶磁器くず	117			95	16	0	0	3	0		2
がれき類	1,018			975	41	1	2	0	0		0
動物のふん尿	177	177									
ばいじん	322			0	1	321					
その他	89			18	13	24	0	1	1	27	4

3. 業種別の処理状況

業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比は、図 3-3-3 に示すとおりである。

電気・水道業では、減量化率が 70.2%と高いが、これは下水道業から排出される下水道汚泥が脱水や焼却により減量化されているためである。

建設業では、再生利用率が高く最終処分率が低くなっているが、排出の大部分を占めるがれき類が土木・建設資材として再生利用されているためである。また、解体業・破砕前処理業についても自動車リサイクル法に基づき使用済自動車のリサイクルが実施されているため、再生利用率が高くなっている。

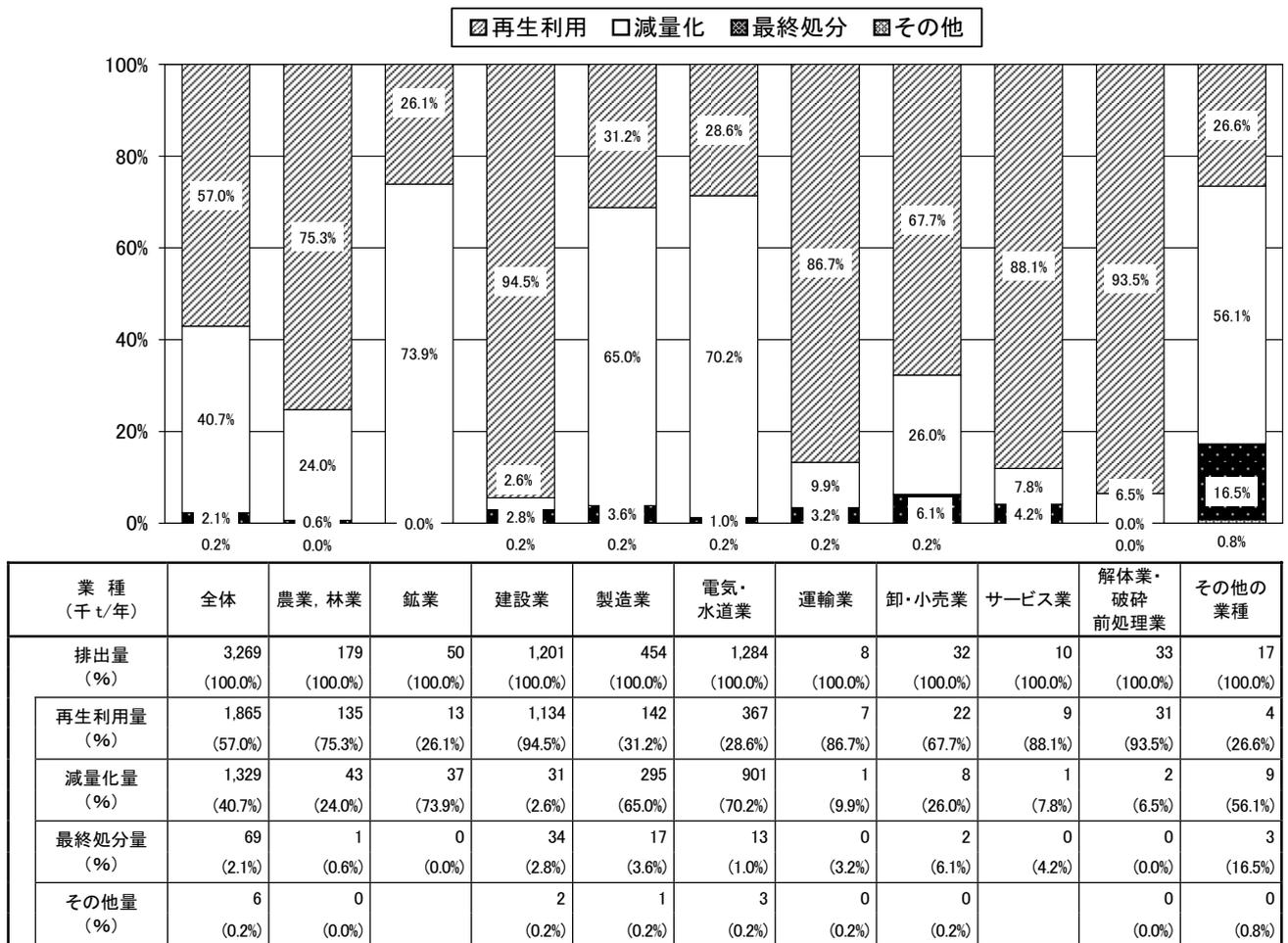


図 3-3-3 業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

第4節 業種別の結果の詳細

1. 農業、林業

農業、林業からの排出量は179千トンで、総排出量の5.5%を占めている(図3-3-2参照)。農業、林業の発生・排出及び処理・処分状況は、図3-4-2、図3-4-3に示すとおりである。廃棄物の種類別の排出量は、動物のふん尿が177千トン(農業、林業からの排出量の99.0%)で、このうち134千トンは再生利用されていた。

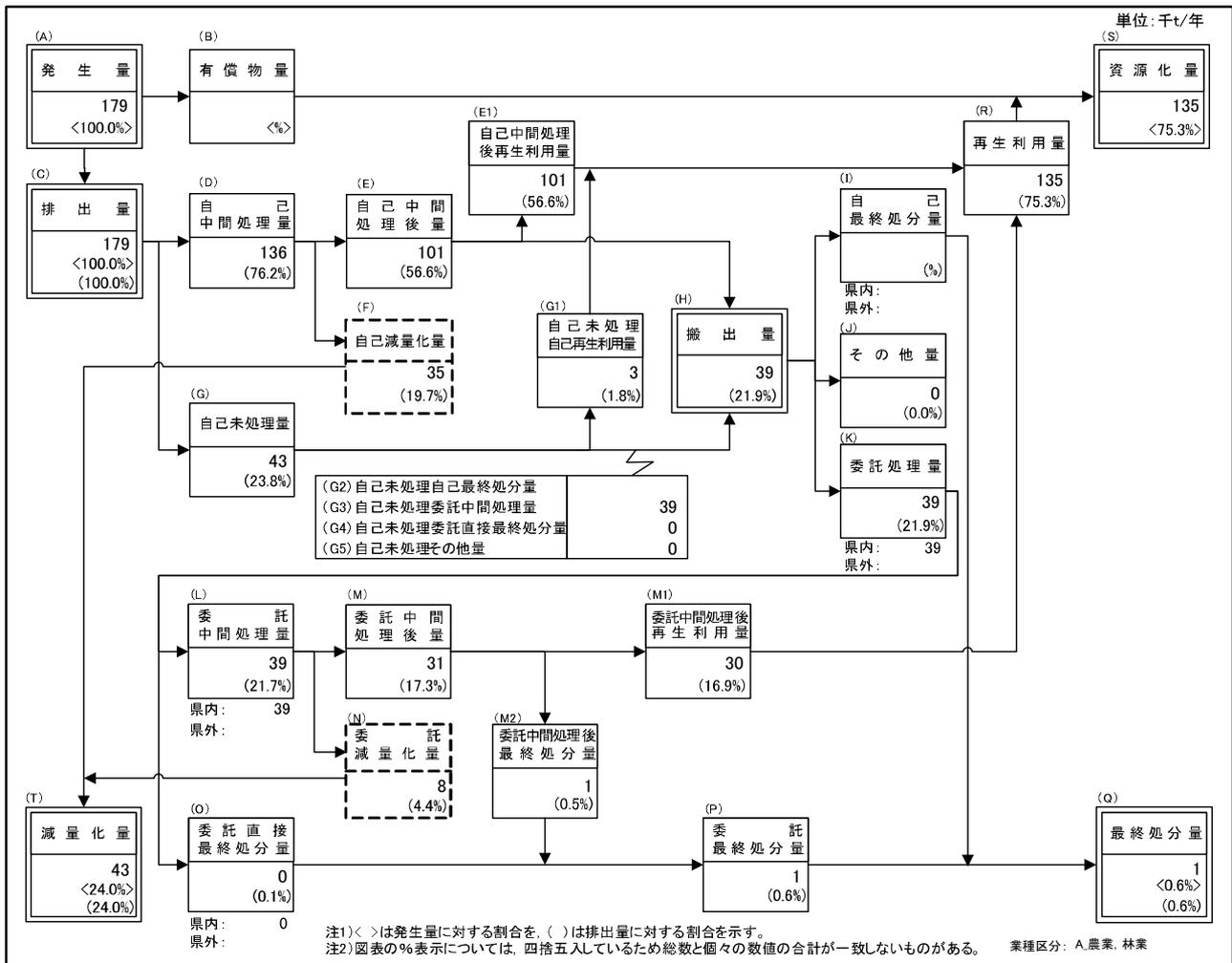


図3-4-1 農業の排出及び処理状況の概要(農業、林業)

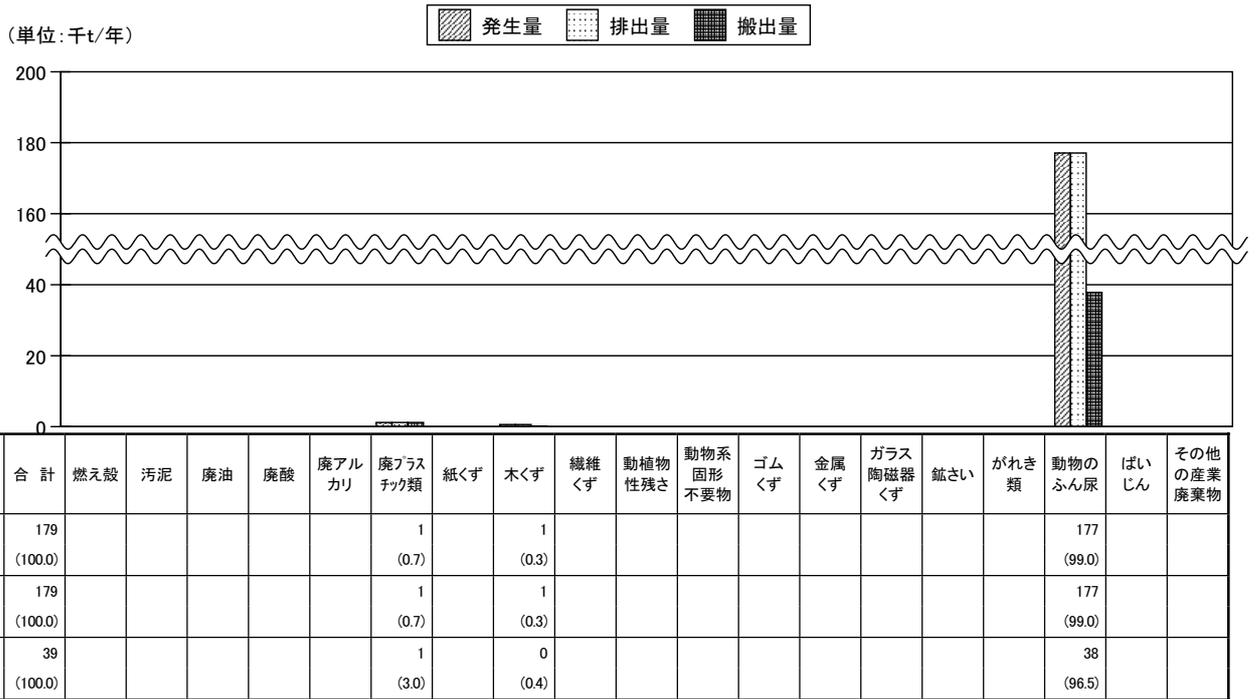


図 3-4-2 種類別の発生量、排出量、搬出量（農業、林業）

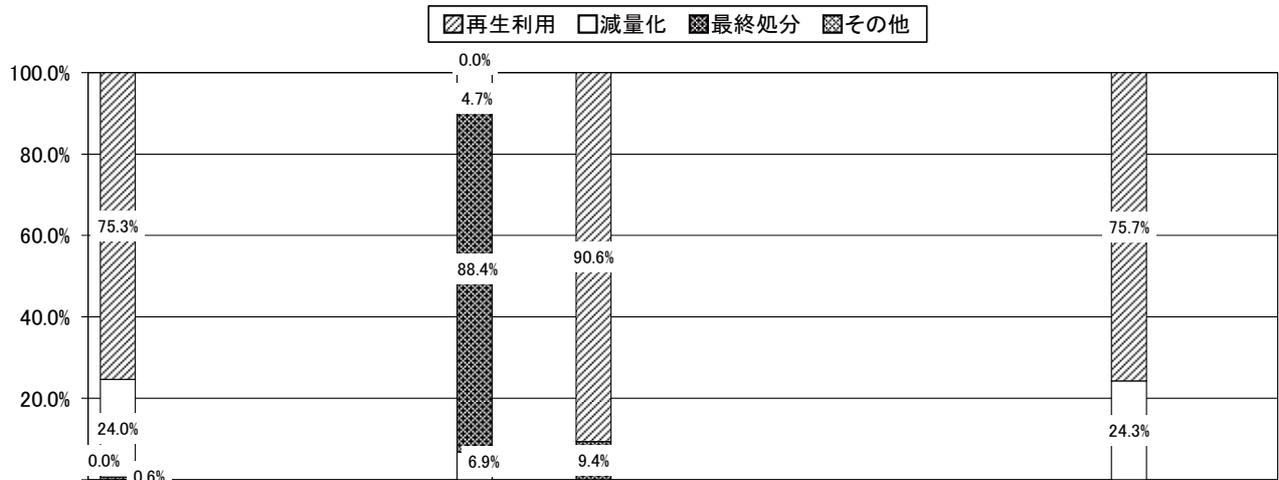


図 3-4-3 種類別の処理状況（農業、林業・無変換）

2. 鉱業

鉱業からの排出量は50千トンで、総排出量の1.5%を占めている（図3-3-2）。

鉱業の発生・処理処分状況は、図3-4-4～6に示すとおりである。

廃棄物の種類別の排出量は、汚泥が50千トン（鉱業からの排出量のほぼ100.0%）となっている。

また排出量のうち、再生利用量は13千トン（同26.1%）で、全量自己再生利用量となっている。

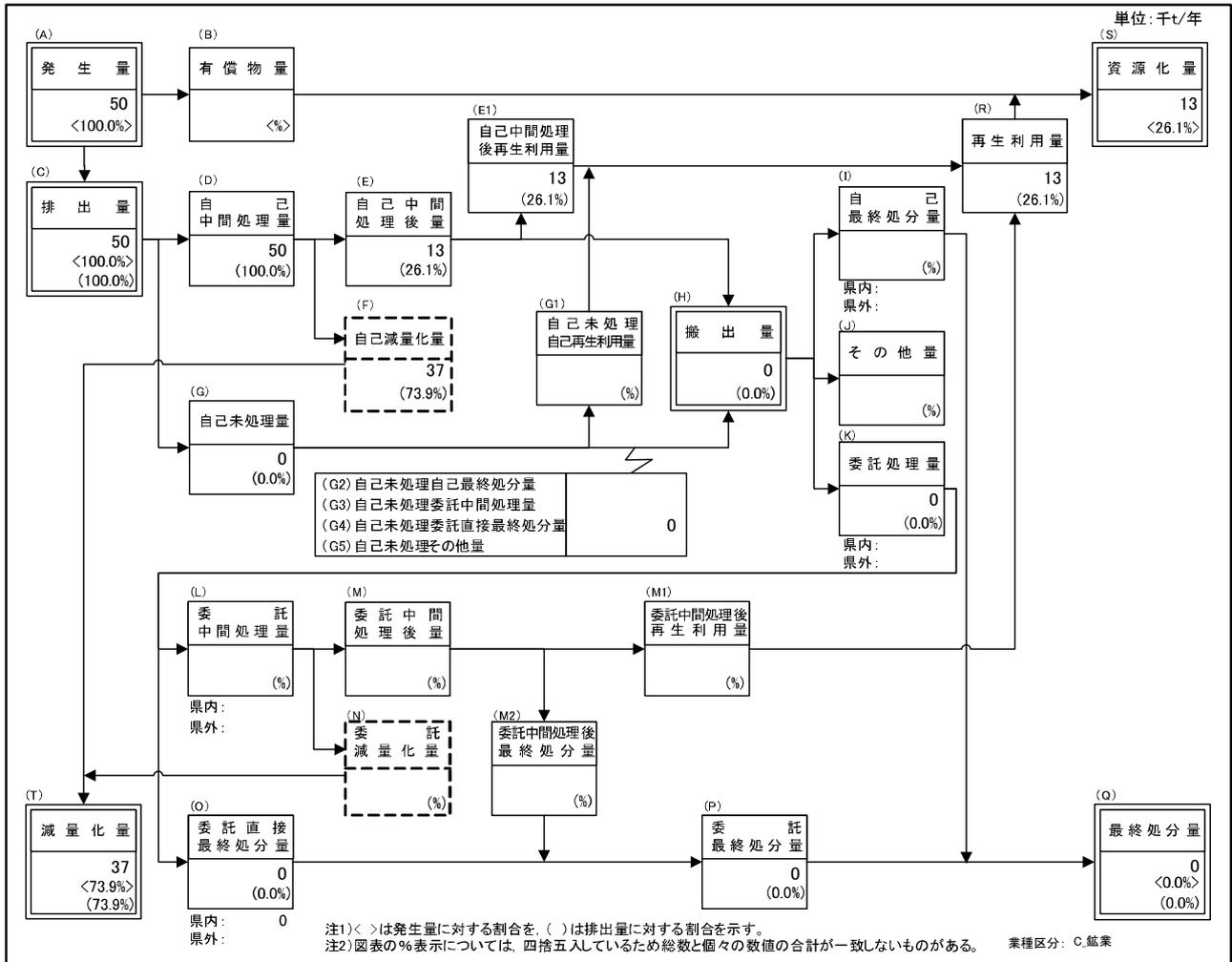


図3-4-4 排出及び処理状況の概要（鉱業）

(単位:千t/年)

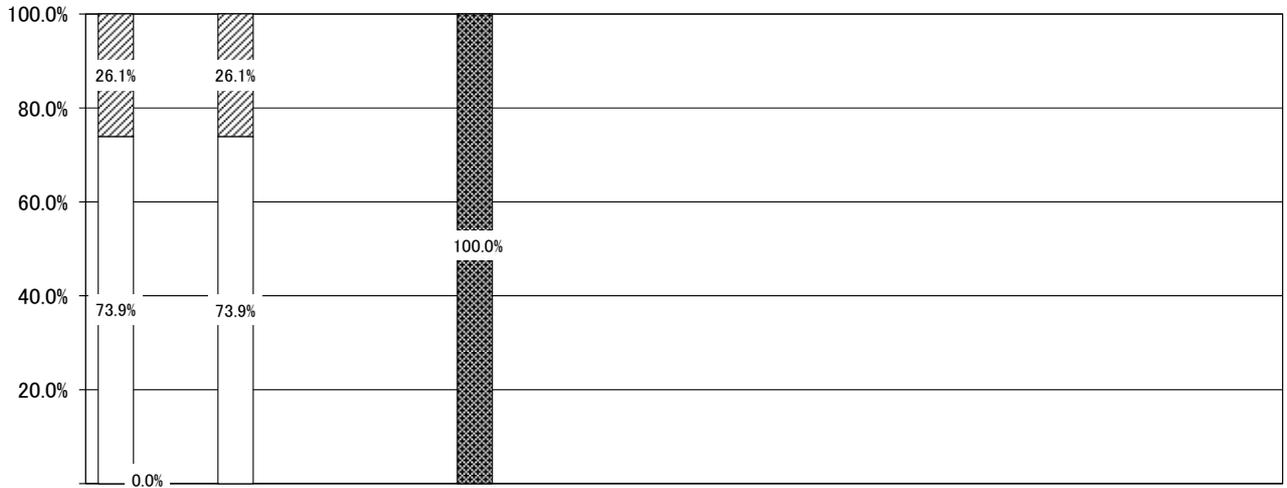
□発生量 □排出量 ■搬出量



種類 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物	
発生量 (%)	50 (100.0)		50 (100.0)				0 (0.0)														
排出量 (%)	50 (100.0)		50 (100.0)				0 (0.0)														
搬出量 (%)	0 (100.0)						0 (100.0)														

図 3-4-5 種類別の発生量、排出量、搬出量（鉱業）

■再生利用 □減量化 ■最終処分 ■その他



種類・無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物	
排出量 (%)	50 (100.0)		50 (100.0)				0 (100.0)														
再生利用量 (%)	13 (26.1)		13 (26.1)																		
減量化量 (%)	37 (73.9)		37 (73.9)																		
最終処分量 (%)	0 (0.0)						0 (100.0)														
その他量 (%)																					

図 3-4-6 種類別の処理状況（鉱業・無変換）

3. 建設業

建設業からの排出量は1,201千トンで、総排出量の36.7%を占めている（図3-3-2）。

建設業の発生・処理処分状況は、図3-4-7～9に示すとおりである。

廃棄物の種類別の排出量は、がれき類が975千トン（建設業からの排出量の81.2%）で最も多く、次いで、ガラス陶磁器くずが95千トン（同7.9%）となっている。

また排出量のうち、再生利用量は1,134千トン（同94.5%）、最終処分量は34千トン（同2.8%）となっている。

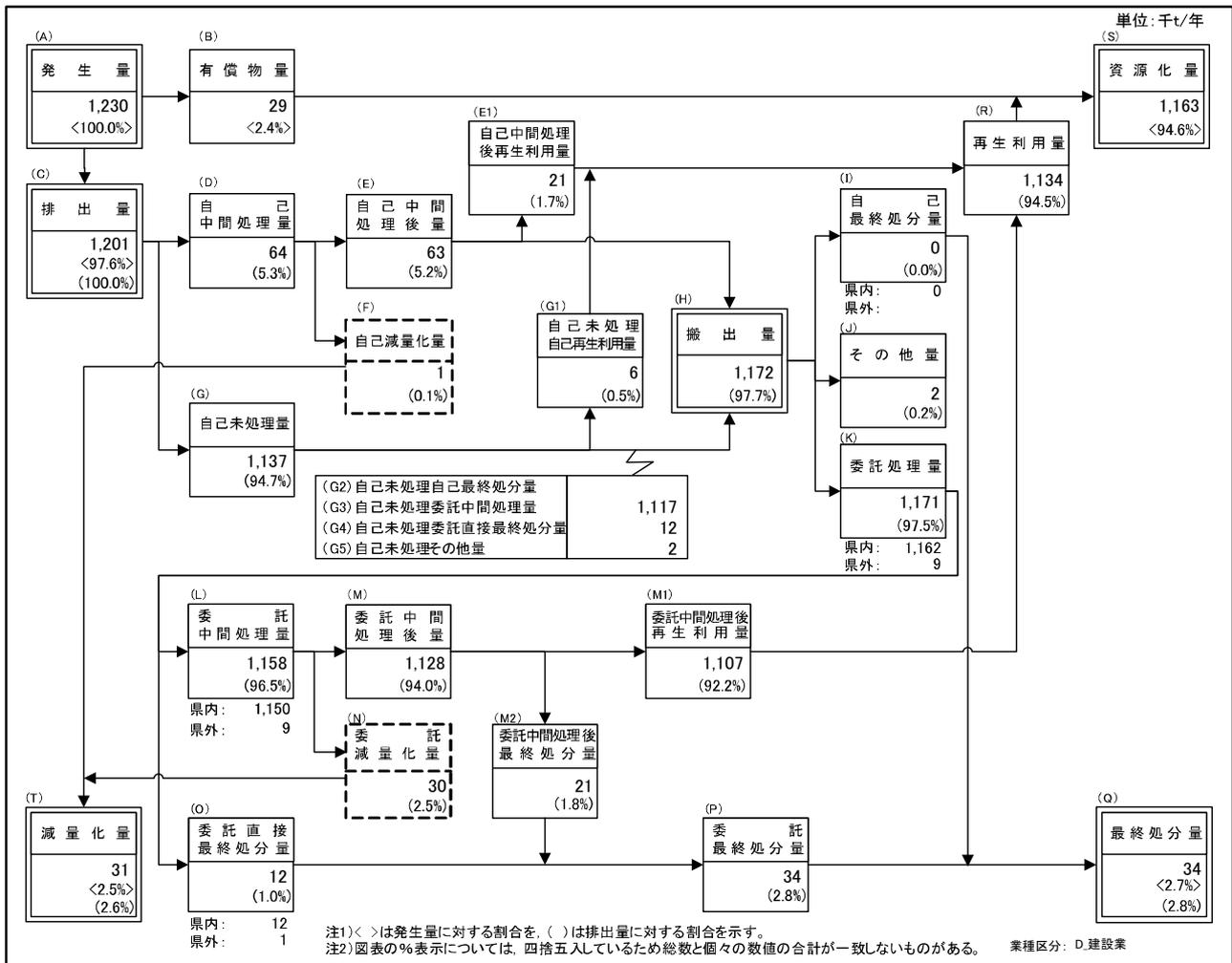
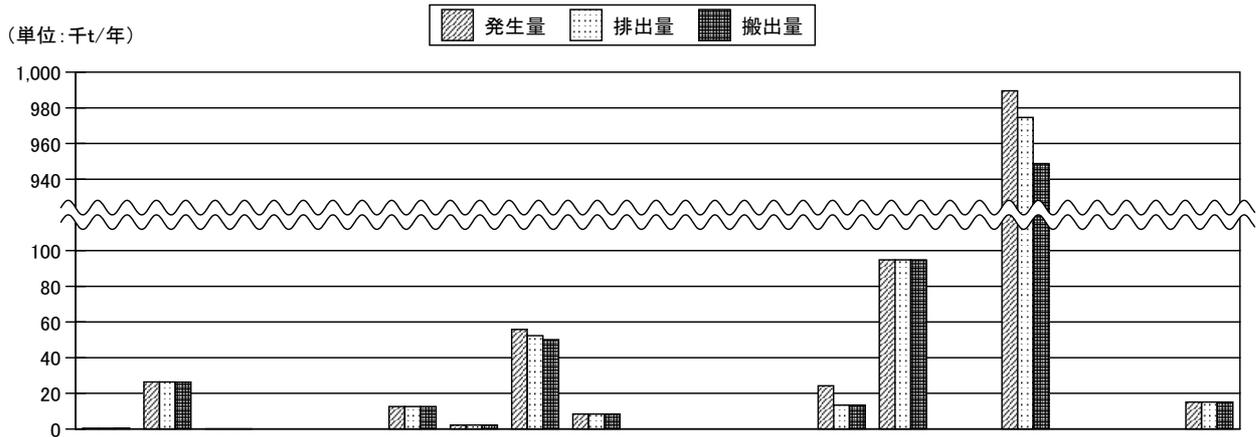
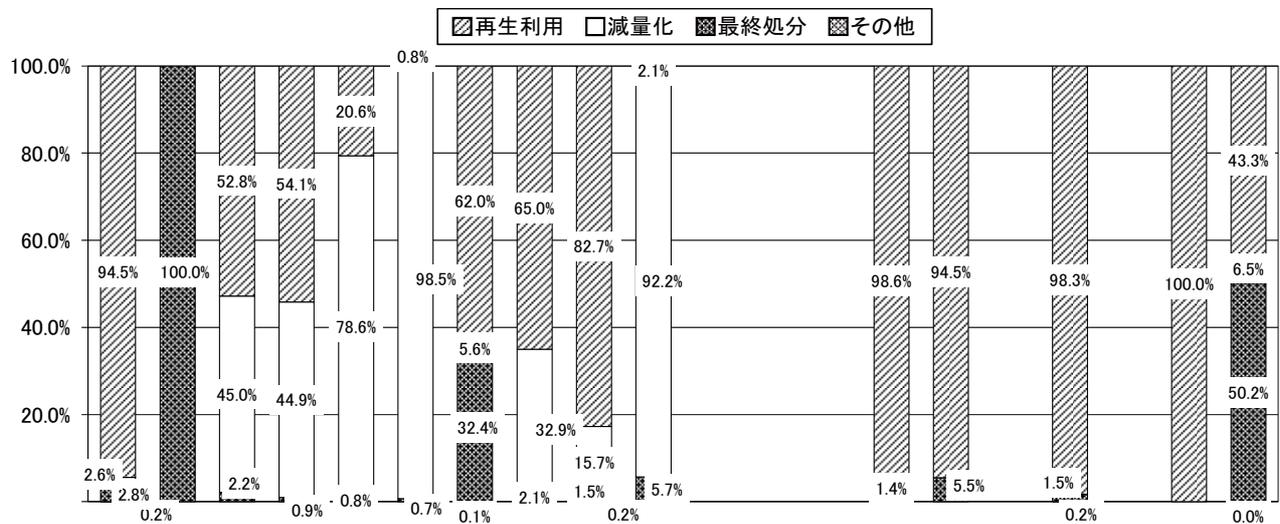


図3-4-7 排出及び処理状況の概要（建設業）



種類 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
発生量	1,230	0	26	0	0	0	13	2	56	8				24	95		990		0	15
(%)	(100.0)	(0.0)	(2.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.0)	(0.2)	(4.5)	(0.7)				(2.0)	(7.7)		(80.5)		(0.0)	(1.2)
排出量	1,201	0	26	0	0	0	13	2	52	8				13	95		975		0	15
(%)	(100.0)	(0.0)	(2.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.1)	(0.2)	(4.4)	(0.7)				(1.1)	(7.9)		(81.2)		(0.0)	(1.3)
搬出量	1,172	0	26	0	0	0	13	2	50	8				13	95		949		0	15
(%)	(100.0)	(0.0)	(2.2)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(1.1)	(0.2)	(4.3)	(0.7)				(1.1)	(8.1)		(80.9)		(0.0)	(1.3)

図 3-4-8 種類別の発生量、排出量、搬出量 (建設業)



種類・無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量 (%)	1,201 (100.0)	0 (100.0)	26 (100.0)	0 (100.0)	0 (100.0)	0 (100.0)	13 (100.0)	2 (100.0)	52 (100.0)	8 (100.0)				13 (100.0)	95 (100.0)		975 (100.0)		0 (100.0)	15 (100.0)
再生利用量 (%)	1,134 (94.5)		14 (52.8)	0 (54.1)	0 (20.6)	0 (0.8)	8 (62.0)	1 (65.0)	43 (82.7)	0 (2.1)				13 (98.6)	90 (94.5)		958 (98.3)		0 (100.0)	7 (43.3)
減量化量 (%)	31 (2.6)		12 (45.0)	0 (44.9)	0 (78.6)	0 (98.5)	1 (5.6)	1 (32.9)	8 (15.7)	8 (92.2)							1 (0.1)			1 (6.5)
最終処分量 (%)	34 (2.8)	0 (100.0)	1 (2.2)	0 (0.9)	0 (0.8)	0 (0.7)	4 (32.4)	0 (2.1)	1 (1.5)	0 (5.7)				0 (1.4)	5 (5.5)		14 (1.5)			8 (50.2)
その他量 (%)	2 (0.2)						0 (0.1)	0 (0.2)	0 (0.0)								2 (0.2)			0 (0.0)

図 3-4-9 種類別の処理状況 (建設業・無変換)

4. 製造業

製造業からの排出量は454千トンで、総排出量の13.9%を占めている（図3-3-2）。

製造業の発生・処理処分状況は図3-4-10～12に示すとおりである。

廃棄物の種類別排出量は、汚泥が245千トン（製造業からの排出量の53.9%）と最も多く、次いで、がれき類が41千トン（同9.0%）、廃油が27千トン（同6.0%）、木くずが26千トン（同5.8%）となっている（その他を除く）。

また排出量のうち、再生利用量が142千トン（同31.2%）、減量化量が295千トン（同65.0%）、最終処分量が17千トン（同3.6%）となっている。

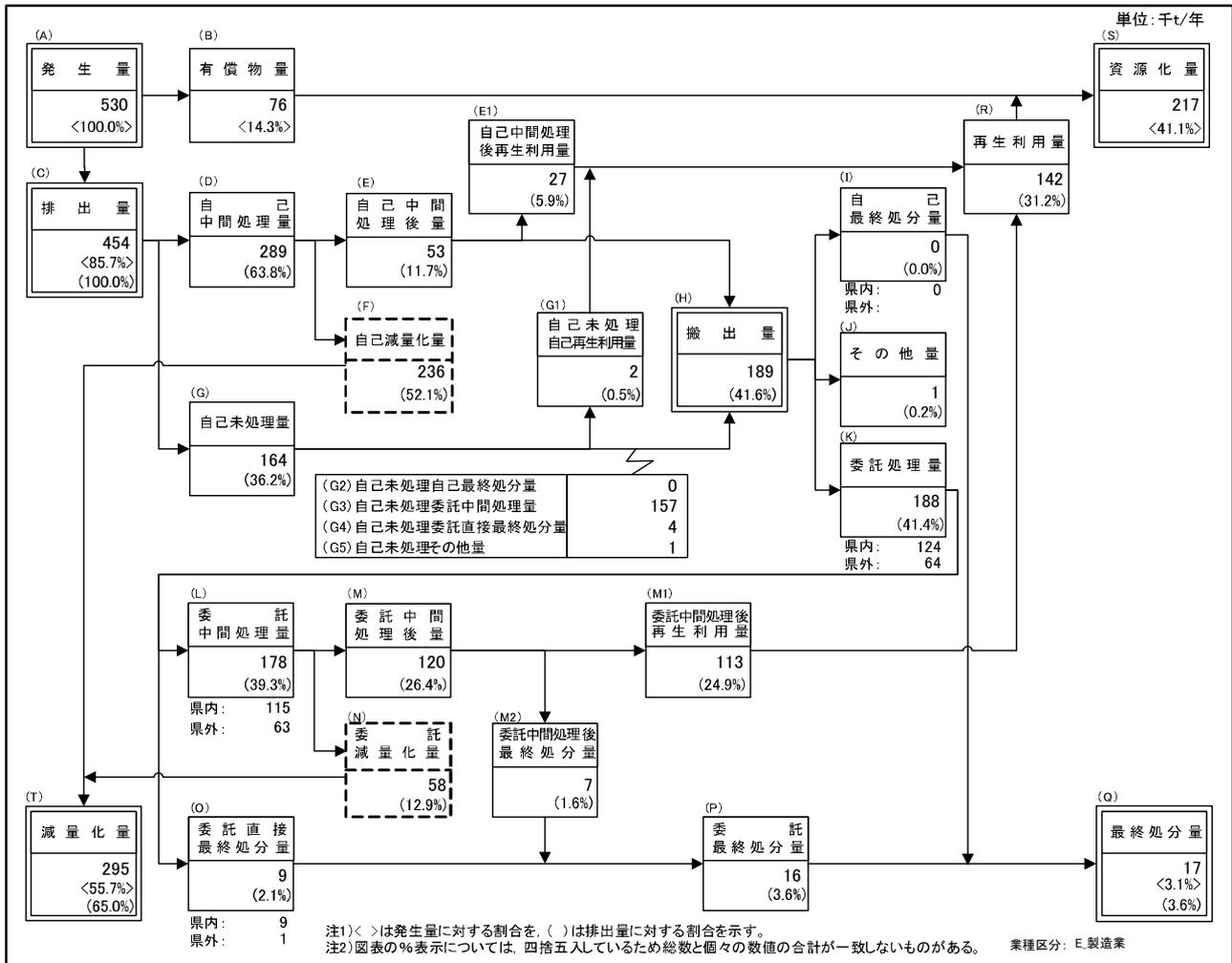
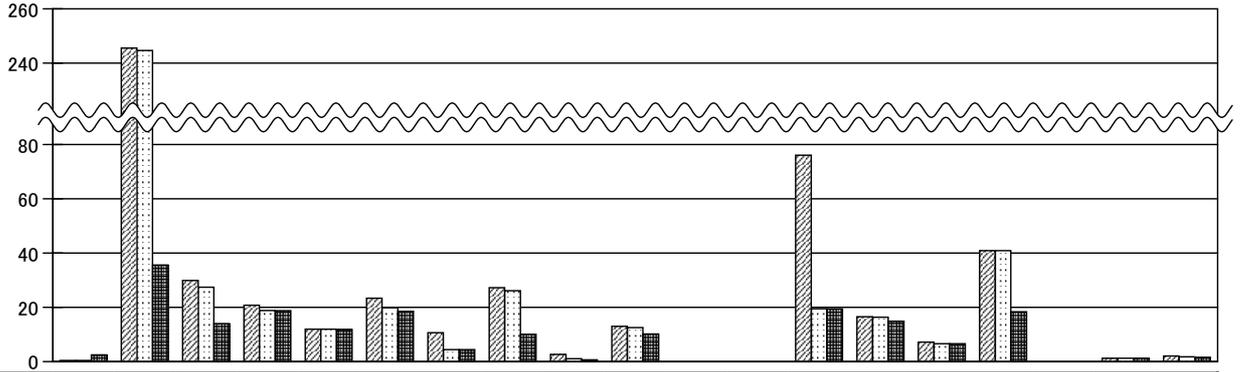


図3-4-10 排出及び処理状況の概要（製造業）

(単位:千t/年)

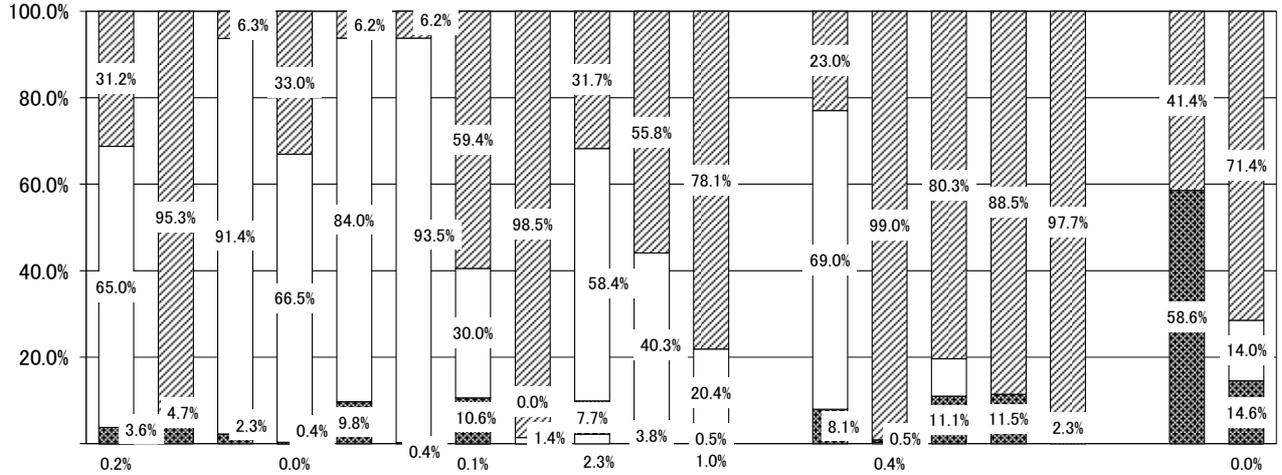
発生量 排出量 搬出量



種類 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
発生量	530	0	246	30	21	12	23	11	27	3	13		0	76	17	7	41		1	2
(%)	(100.0)	(0.1)	(46.4)	(5.6)	(3.9)	(2.3)	(4.4)	(2.0)	(5.1)	(0.5)	(2.5)		(0.0)	(14.4)	(3.1)	(1.4)	(7.7)		(0.2)	(0.4)
排出量	454	0	245	27	19	12	20	4	26	1	13		0	19	16	7	41		1	2
(%)	(100.0)	(0.1)	(53.9)	(6.0)	(4.2)	(2.6)	(4.4)	(1.0)	(5.8)	(0.2)	(2.8)		(0.0)	(4.3)	(3.6)	(1.5)	(9.0)		(0.3)	(0.4)
搬出量	189	2	36	14	19	12	19	4	10	1	10		0	19	15	7	18		1	2
(%)	(100.0)	(1.3)	(18.9)	(7.4)	(9.9)	(6.3)	(9.8)	(2.3)	(5.3)	(0.4)	(5.4)		(0.0)	(10.3)	(7.9)	(3.5)	(9.7)		(0.7)	(0.8)

図 3-4-11 種類別の発生量、排出量、搬出量（製造業）

再生利用 減量化 最終処分 その他



種類・無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量	454	0	245	27	19	12	20	4	26	1	13		0	19	16	7	41		1	2
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)	(100.0)
再生利用量	142	0	15	9	1	1	12	4	8	1	10		0	19	13	6	40		1	1
(%)	(31.2)	(95.3)	(6.3)	(33.0)	(6.2)	(6.2)	(59.4)	(98.5)	(31.7)	(55.8)	(78.1)		(23.0)	(99.0)	(80.3)	(88.5)	(97.7)		(41.4)	(71.4)
減量化量	295		224	18	16	11	6	0	15	0	3		0		1					0
(%)	(65.0)		(91.4)	(66.5)	(84.0)	(93.5)	(30.0)	(1.4)	(58.4)	(40.3)	(20.4)		(69.0)		(8.6)					(14.0)
最終処分量	17	0	6	0	2	0	2	0	2	0	0		0	0	2	1	1		1	0
(%)	(3.6)	(4.7)	(2.3)	(0.4)	(9.8)	(0.4)	(10.6)	(0.0)	(7.7)	(3.8)	(0.5)		(8.1)	(0.5)	(11.1)	(11.5)	(2.3)		(58.6)	(14.6)
その他量	1		0				0		1		0			0						0
(%)	(0.2)		(0.0)				(0.1)		(2.3)		(1.0)			(0.4)						(0.0)

図 3-4-12 種類別の処理状況（製造業・無変換）

5. 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は1,284千トンで、総排出量の39.3%を占めている（図3-3-2）。

電気・水道業の発生・処理処分状況は図3-4-13～15に示すとおりである。

廃棄物の種類別では、汚泥が938千トン（電気・水道業からの排出量の73.1%）で最も多く、次いで、ばいじんが321千トン（同25.0%）となっている。

また排出量のうち、再生利用量が367千トン（同28.6%）、減量化量が901千トン（同70.2%）、最終処分量は13千トン（同1.0%）となっている。

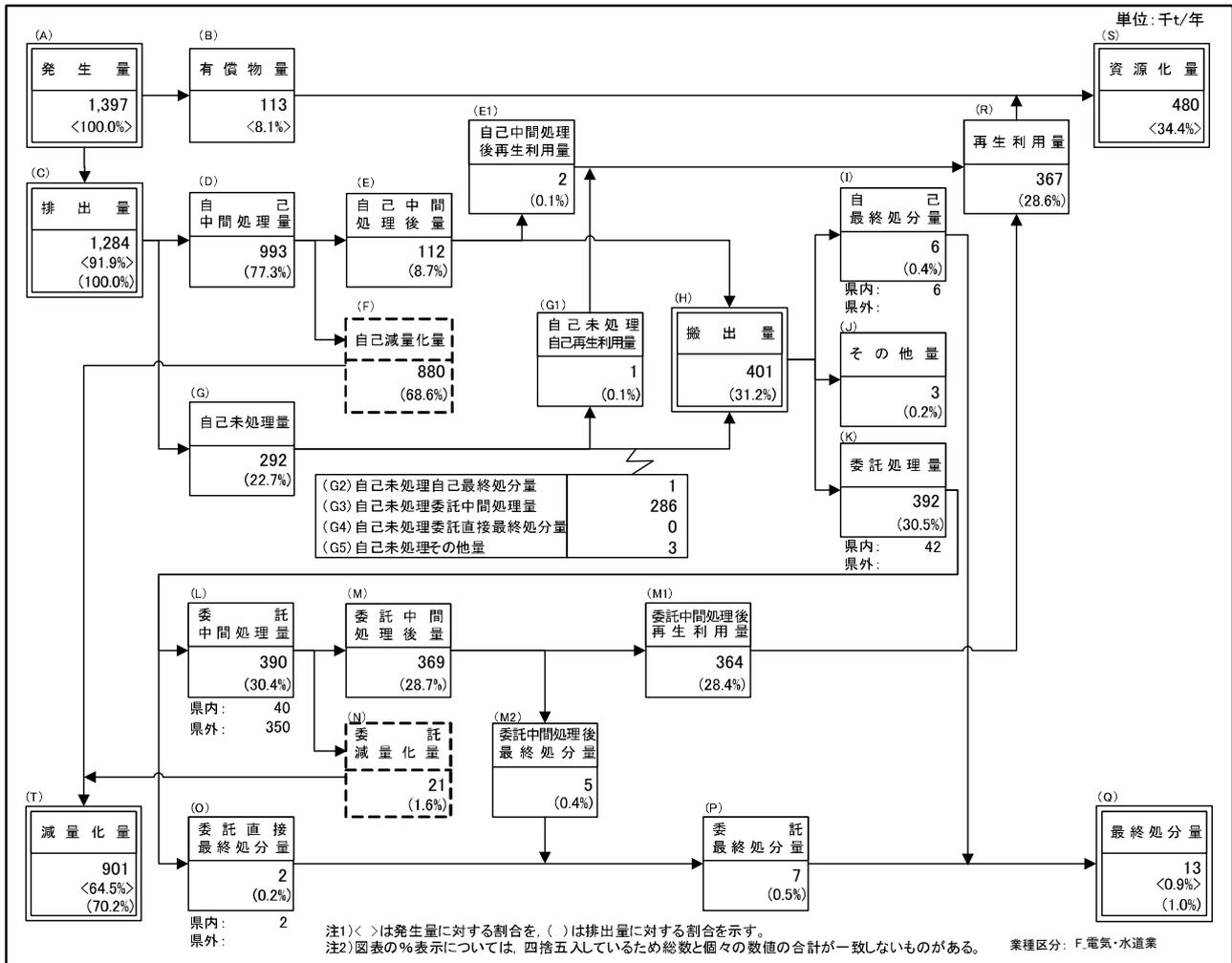


図3-4-13 排出及び処理状況の概要（電気・水道業）

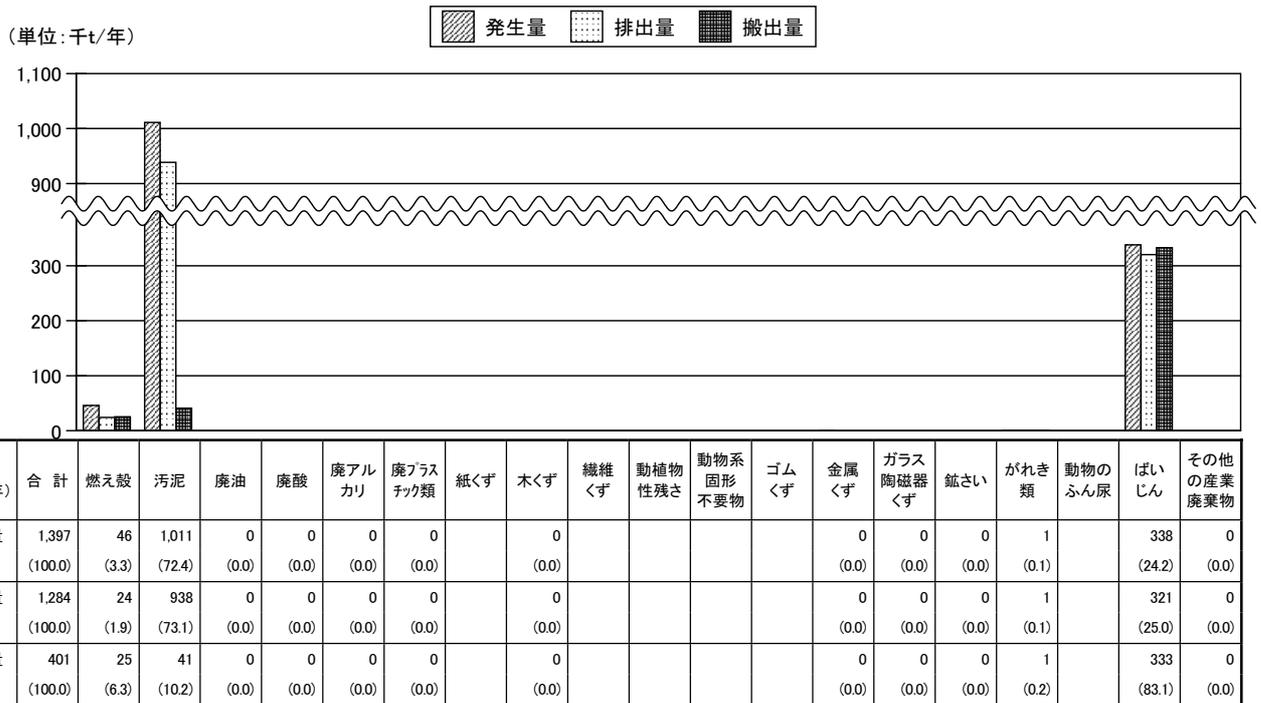
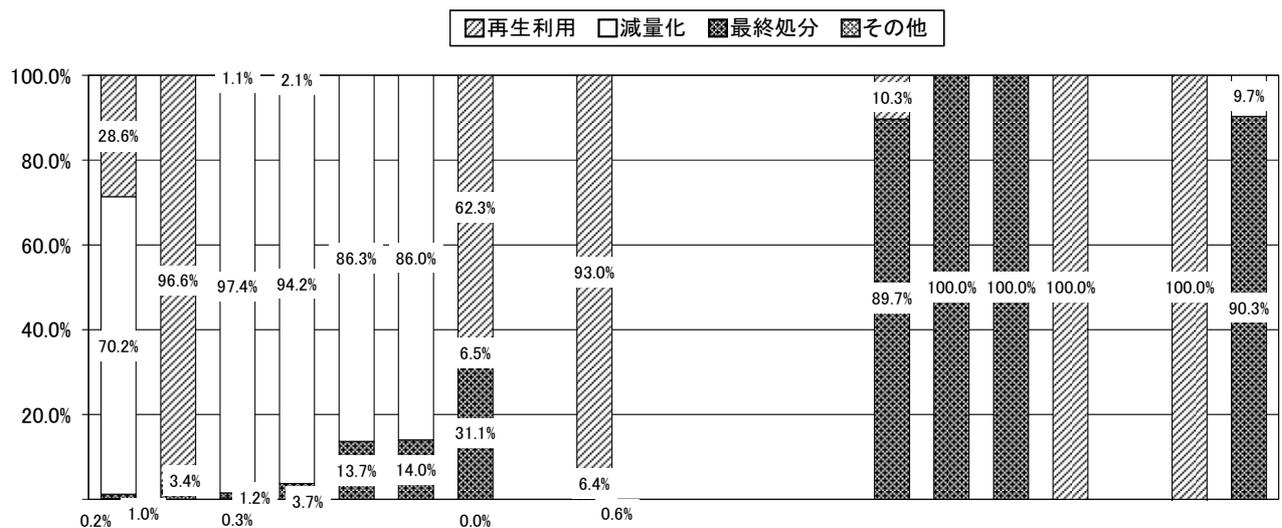


図 3-4-14 種類別の発生量、排出量、搬出量（電気・水道業）



種類・無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	ばいじん	その他の産業廃棄物
排出量 (%)	1,284	24	938	0	0	0	0		0					0	0	0	1		321	0
(%)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)					(100.0)	(100.0)	(100.0)	(100.0)		(100.0)	(100.0)
再生利用量 (%)	367	23	10	0			0		0					0			1		333	
(%)	(28.6)	(96.6)	(1.1)	(2.1)			(62.3)		(93.0)					(10.3)			(100.0)		(100.0)	
減量化量 (%)	901		914	0	0	0	0		0										-	0
(%)	(70.2)		(97.4)	(94.2)	(86.3)	(86.0)	(6.5)		(6.4)										-	(9.7)
最終処分量 (%)	13	1	12	0	0	0	0		0					0	0	0				0
(%)	(1.0)	(3.4)	(1.2)	(3.7)	(13.7)	(14.0)	(31.1)		(0.6)					(89.7)	(100.0)	(100.0)				(90.3)
その他量 (%)	3		3				0													
(%)	(0.2)		(0.3)				(0.0)													

※ばいじんは、搬出時に加水され重量が増加するため減量化量がマイナスになる。このため図中では再生利用量のみ表記した。

図 3-4-15 種類別の処理状況（電気・水道業・無変換）

6. その他（運輸業、卸・小売業、サービス業、解体業・破砕前処理業、その他の業種）

その他（運輸業、卸・小売業、サービス業、解体業・破砕前処理業、その他の業種）からの排出量は、101.0千トンで、総排出量の3.1%を占めている（図3-3-2）。

業種別、種類別の排出状況は表3-4-1に示すとおりで、解体業・破砕前処理業が33.5千トン（その他からの排出量の33.2%）、卸・小売業が32.4千トン（同32.1%）となっている。

種類別では廃プラスチック類が最も多く26.9千トン（同26.6%）、次いで、解体業・破砕前処理業からの使用済自動車は26.5千トン（同26.3%）となっている。

表3-4-1 業種別種類別排出量

(単位:千t/年)

業種 種類	合計	運輸業	卸・小売業	サービス業	解体業・ 破砕前処理業	その他の 業種
合計	101.0 (100.0%)	8.3 (100.0%)	32.4 (100.0%)	10.1 (100.0%)	33.5 (100.0%)	16.7 (100.0%)
燃え殻	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)		0.0 (0.0%)
汚泥	5.2 (5.1%)	0.1 (1.6%)	1.7 (5.3%)	0.4 (3.4%)		2.9 (17.6%)
廃油	6.3 (6.3%)	0.1 (1.7%)	4.2 (12.9%)	0.7 (7.4%)	0.4 (1.3%)	0.8 (5.1%)
廃酸	0.4 (0.4%)	0.2 (2.4%)	0.0 (0.1%)			0.2 (0.9%)
廃アルカリ	0.4 (0.4%)	0.0 (0.0%)	0.1 (0.3%)	0.0 (0.1%)	0.1 (0.2%)	0.2 (1.4%)
廃プラスチック類	26.9 (26.6%)	2.7 (32.1%)	14.1 (43.5%)	4.0 (39.9%)	0.6 (1.9%)	5.4 (32.5%)
紙くず						
木くず	2.4 (2.4%)	1.6 (18.8%)	0.7 (2.3%)	0.0 (0.3%)		0.1 (0.5%)
繊維くず	0.1 (0.1%)		0.1 (0.3%)			0.0 (0.2%)
動植物性残さ						
動物系固形不要物	0.2 (0.2%)			0.2 (1.9%)		
ゴムくず	0.0 (0.0%)					0.0 (0.0%)
金属くず	18.5 (18.3%)	1.4 (16.4%)	6.5 (20.0%)	4.1 (40.6%)	5.6 (16.7%)	1.0 (5.8%)
ガラス陶磁器くず	5.5 (5.5%)	0.3 (3.4%)	3.4 (10.5%)	0.0 (0.5%)		1.8 (10.9%)
鋳さい						
がれき類	1.7 (1.7%)	1.6 (19.5%)	0.1 (0.2%)	0.0 (0.0%)		0.0 (0.1%)
動物のふん尿						
ばいじん						
その他の産業廃棄物	33.3 (33.0%)	0.3 (4.0%)	1.5 (4.5%)	0.6 (5.9%)	26.7 (79.9%)	4.2 (25.1%)
感染性廃棄物	3.9 (3.8%)	0.0 (0.0%)				3.9 (23.0%)
使用済自動車	26.5 (26.3%)				26.5 (79.4%)	
混合物等	2.9 (2.9%)	0.3 (4.0%)	1.5 (4.5%)	0.6 (5.9%)	0.2 (0.5%)	0.3 (2.0%)

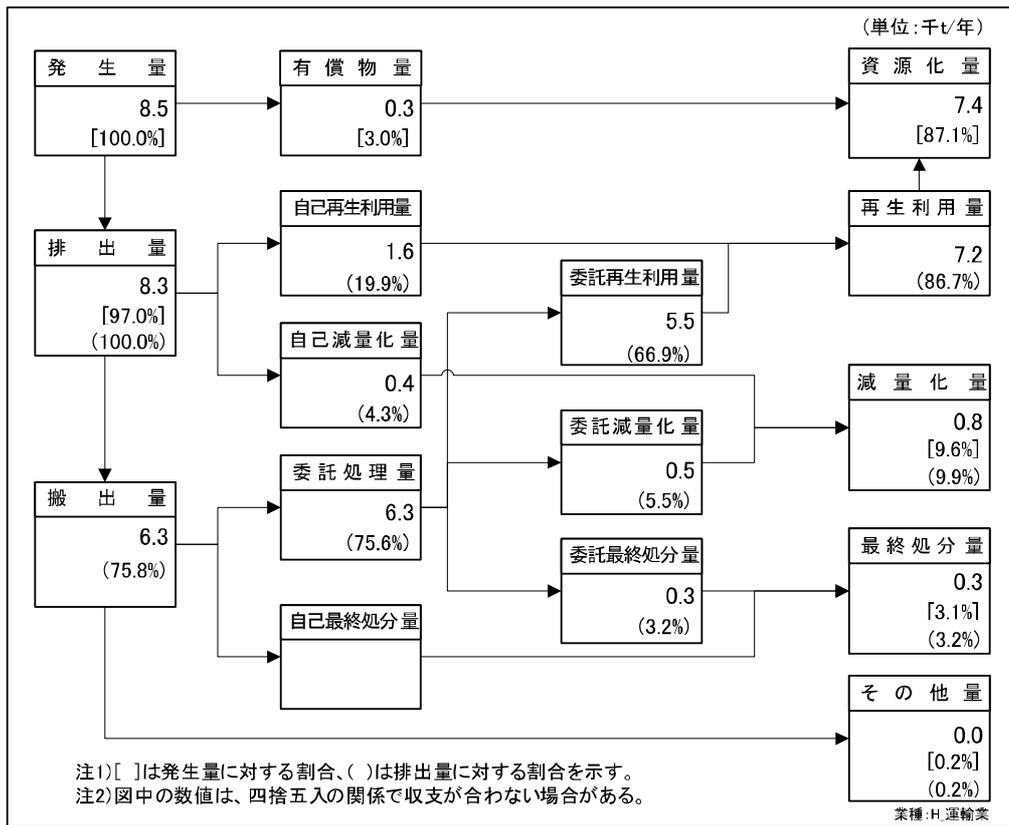


図 3-4-16 排出及び処理状況の概要（運輸業）

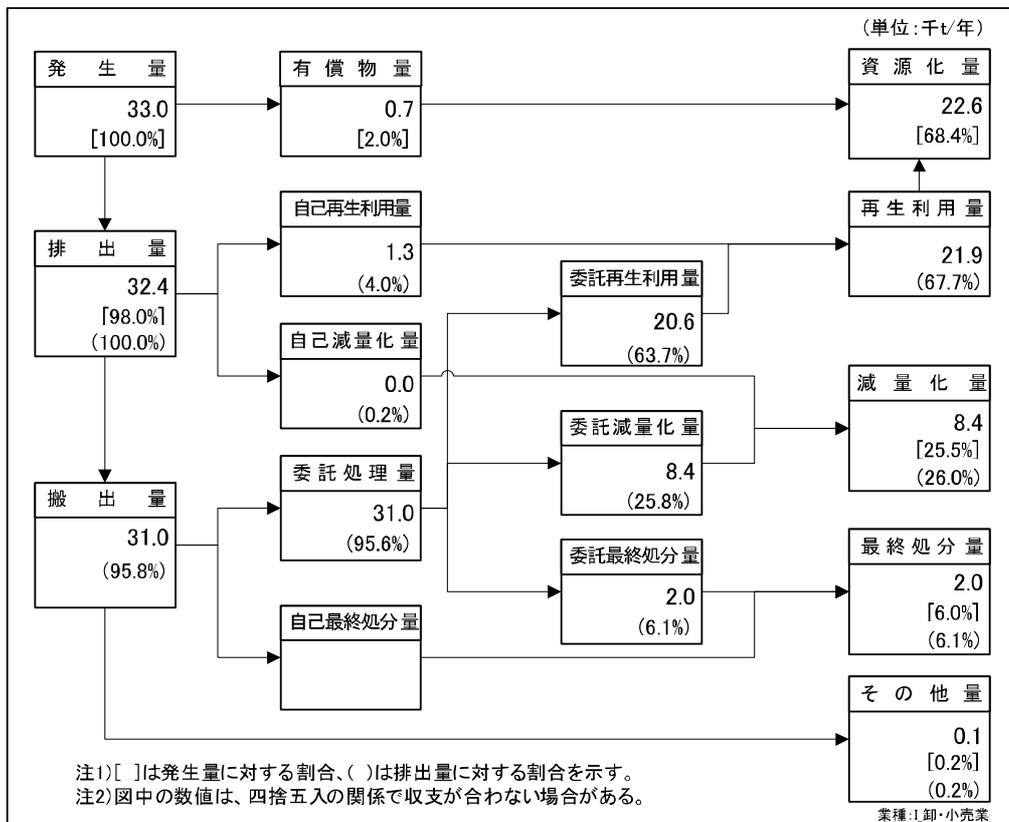


図 3-4-17 排出及び処理状況の概要（卸・小売業）

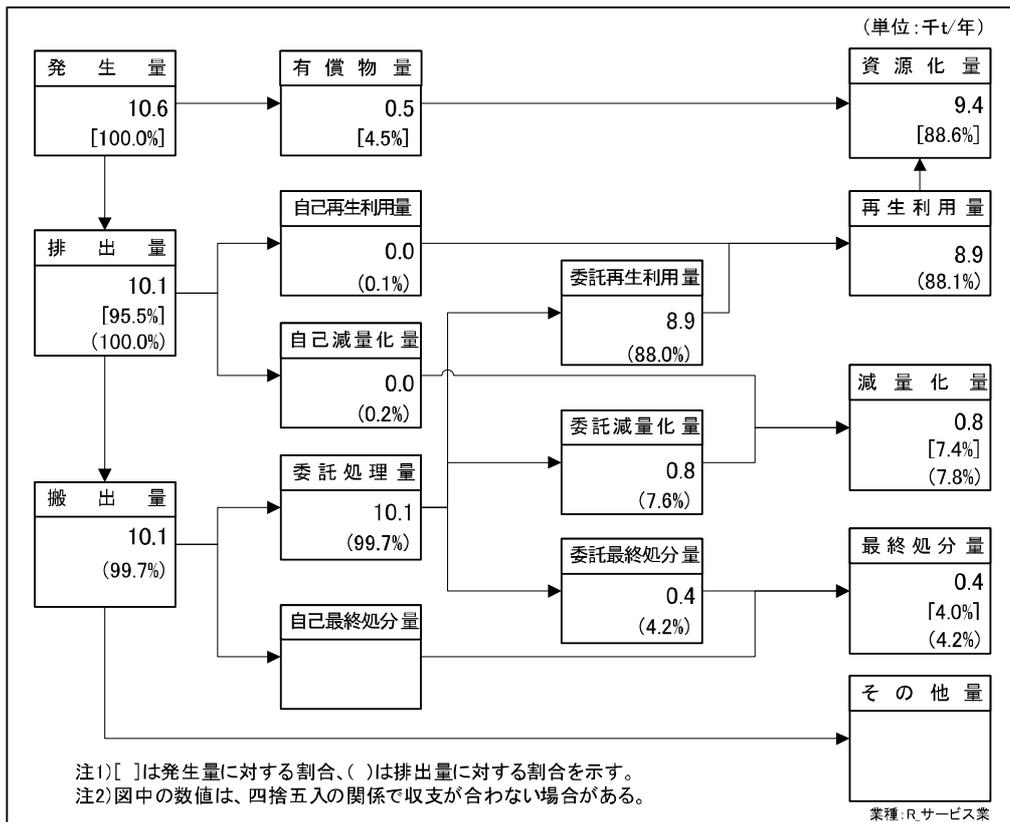


図 3-4-18 排出及び処理状況の概要 (サービス業)

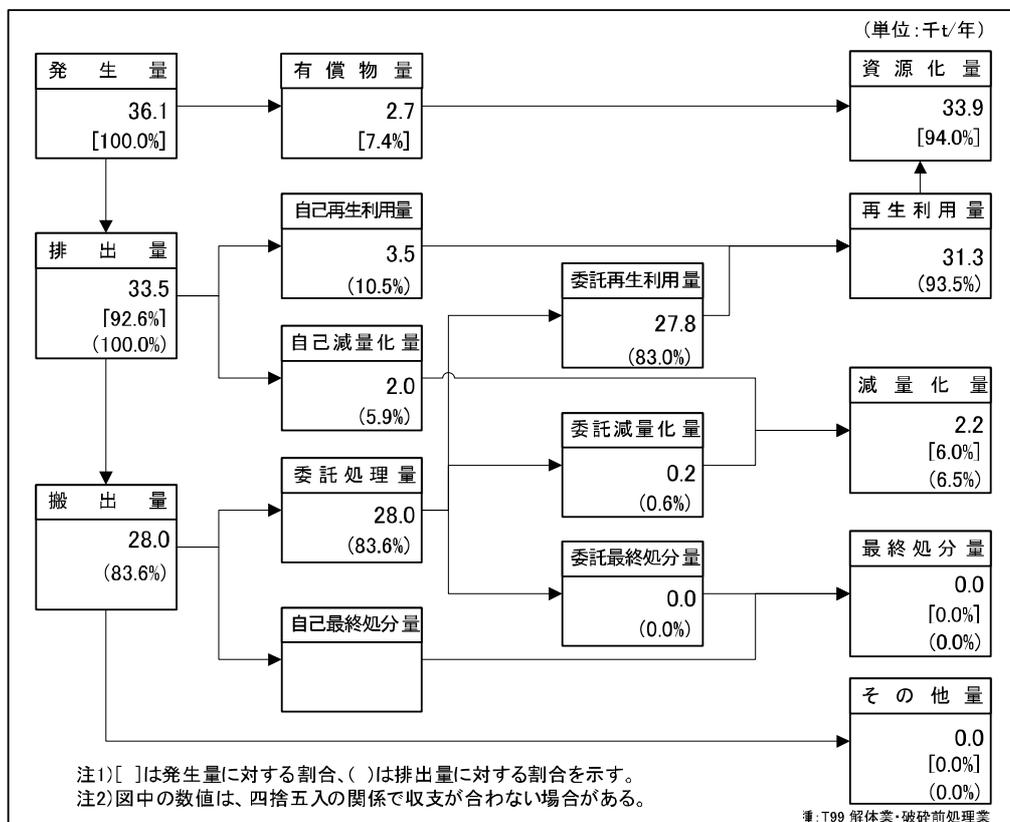


図 3-4-19 排出及び処理状況の概要 (解体業・破砕前処理業)

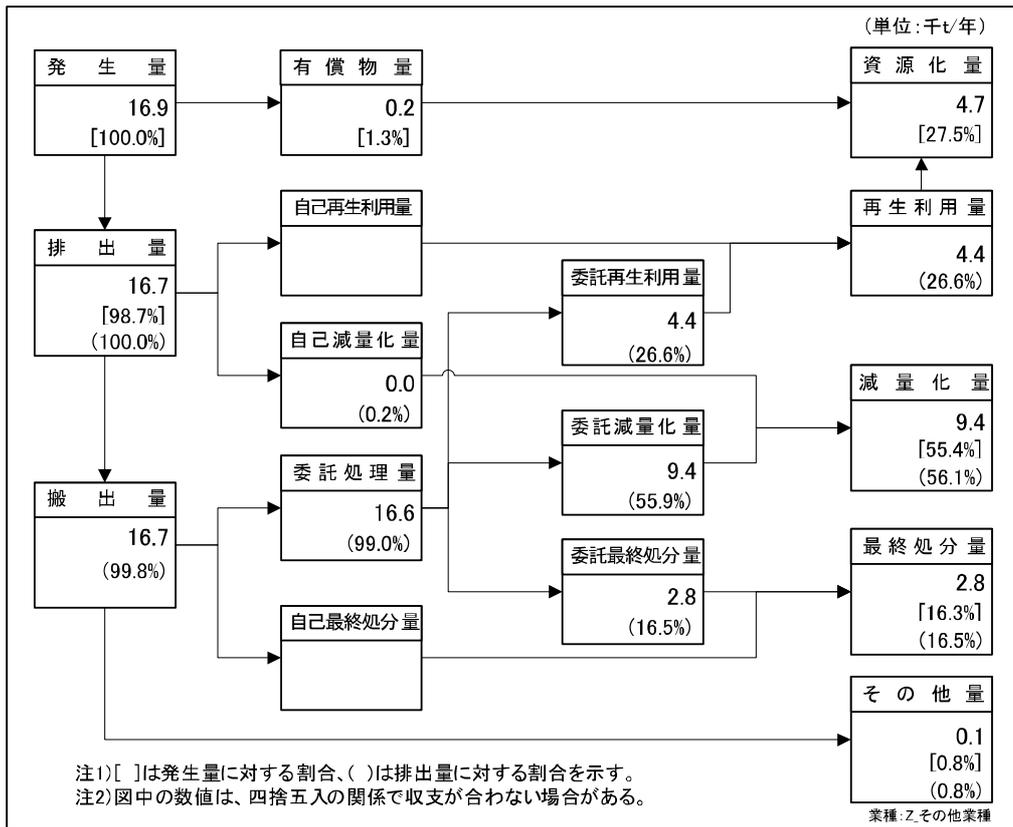


図 3-4-20 排出及び処理状況の概要 (その他)

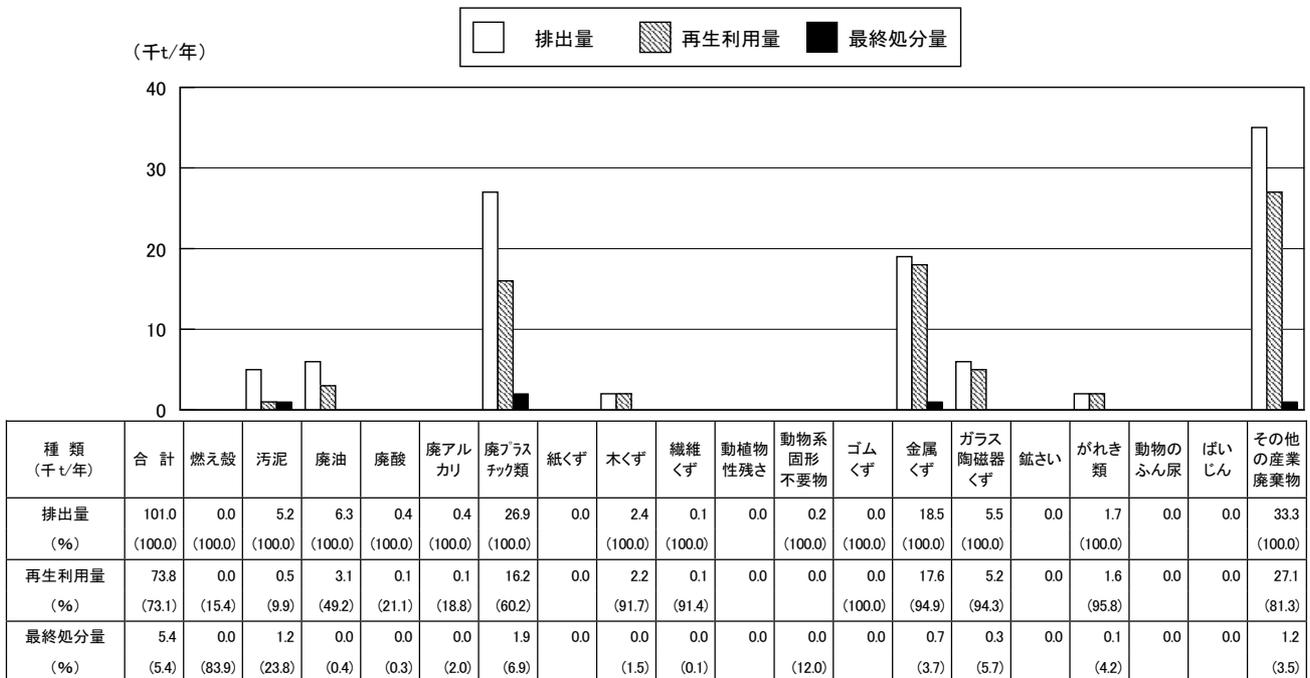


図 3-4-21 種類別の排出量、再生利用量及び最終処分量

第5節 地域別の結果

地域区分は、表 1-1-4 に示すとおりである。

1. 地域別の排出量

地域別の排出量は、図 3-5-1、図 3-5-2 に示すとおりである。

金沢市が 1,123 千トン（総排出量の 34.3%）で最も多く、次いで、能登中部地域が 783 千トン（同 24.0%）、南加賀地域が 511 千トン（同 15.6%）、石川中央地域南部区が 381 千トン（同 11.7%）、石川中央地域北部区 246 千トン（同 7.5%）、能登北部地域が 225 千トン（同 6.9%）となっている。

金沢市は人口が多いため、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類など、日常生活に密着した産業廃棄物が多く、能登中部地域は石炭火力発電所から発生する産業廃棄物が多くなっている。

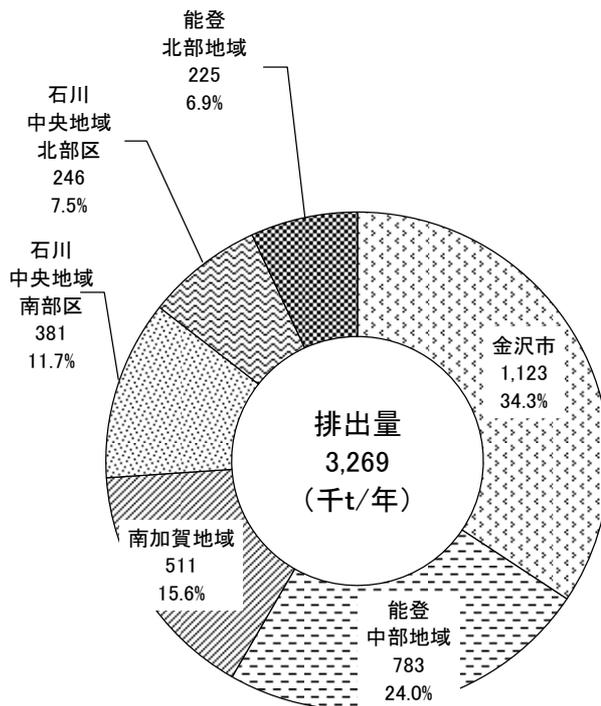


図 3-5-1 地域別の排出量

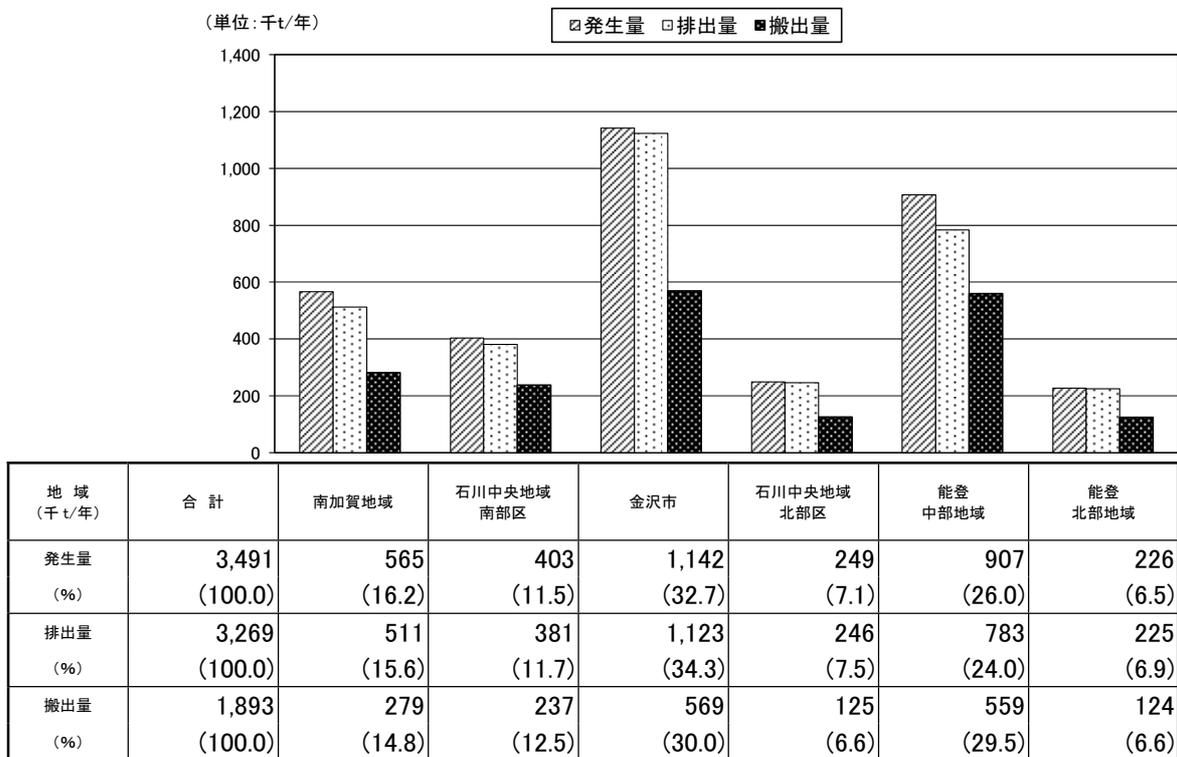
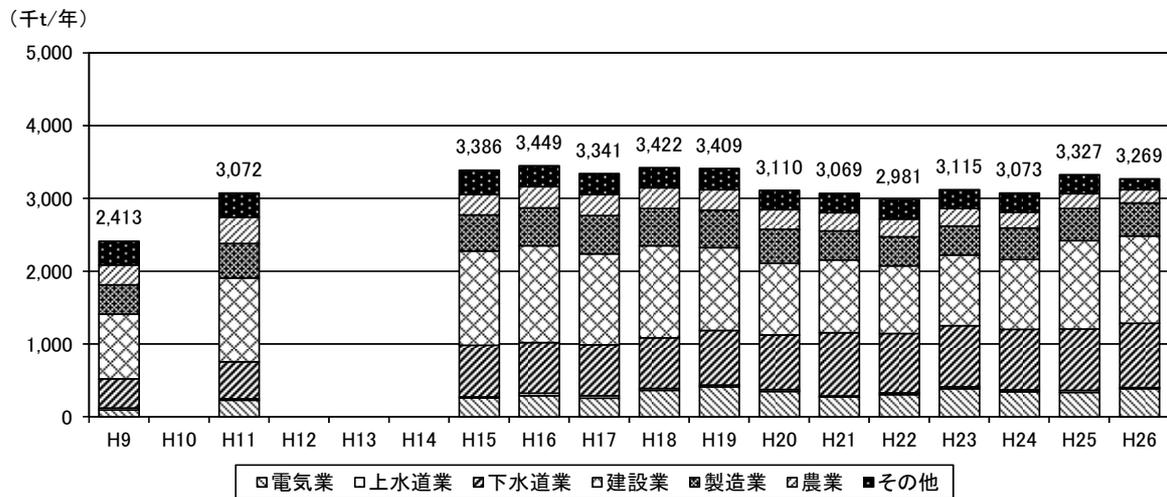


図 3-5-2 地域別の発生量、排出量、搬出量

第4章 経年変化

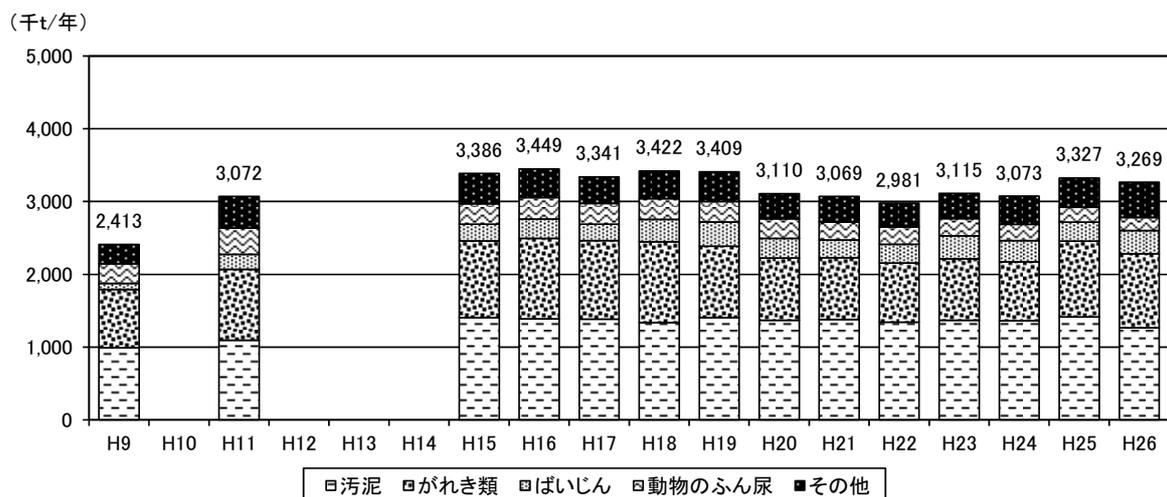
第1節 排出量の推移

排出量を前年度と比較すると、業種別では図4-1-1に示すとおり電気業、下水道業、製造業が増加し、種類別では図4-1-2に示すとおりばいじんが増加している。



	平成 9年度	平成 11年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
合計	2,413	3,072	3,386	3,449	3,341	3,422	3,409	3,110	3,069	2,981	3,115	3,073	3,327	3,269
電気業	94	230	261	291	258	362	414	347	270	308	385	346	337	387
上水道業	28	18	14	33	31	28	21	27	18	22	27	24	26	16
下水道業	400	506	706	697	699	695	752	751	868	812	838	833	841	881
建設業	890	1,152	1,295	1,330	1,250	1,264	1,134	981	999	930	974	959	1,214	1,201
製造業	401	473	498	518	528	510	515	471	398	402	396	428	442	454
農業	271	362	280	293	286	285	282	270	248	241	239	220	205	177
その他	329	331	332	287	289	279	292	262	268	266	258	263	262	153

図4-1-1 排出量の推移（業種別）

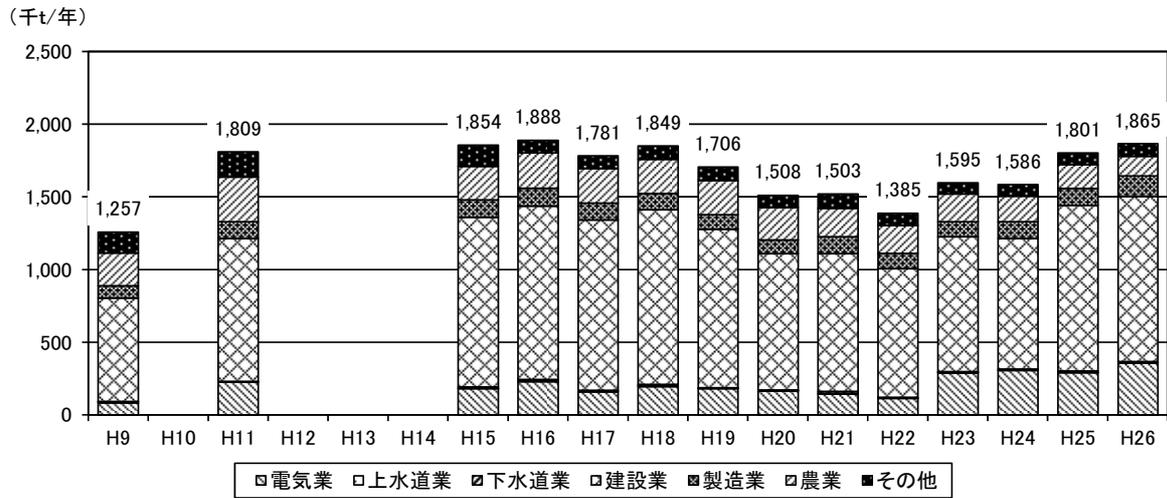


	平成 9年度	平成 11年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
合計	2,413	3,072	3,386	3,449	3,341	3,422	3,409	3,110	3,069	2,981	3,115	3,073	3,327	3,269
汚泥	995	1,098	1,408	1,390	1,385	1,339	1,409	1,371	1,381	1,343	1,371	1,366	1,417	1,265
がれき類	799	973	1,052	1,104	1,081	1,110	980	855	851	816	844	806	1,039	1,018
ばいじん	83	205	232	268	225	307	332	268	239	255	316	294	263	322
動物のふん尿	270	361	280	293	286	285	282	270	248	241	238	220	204	177
その他	266	435	414	394	364	381	405	346	351	326	346	388	404	487

図4-1-2 排出量の推移（種類別）

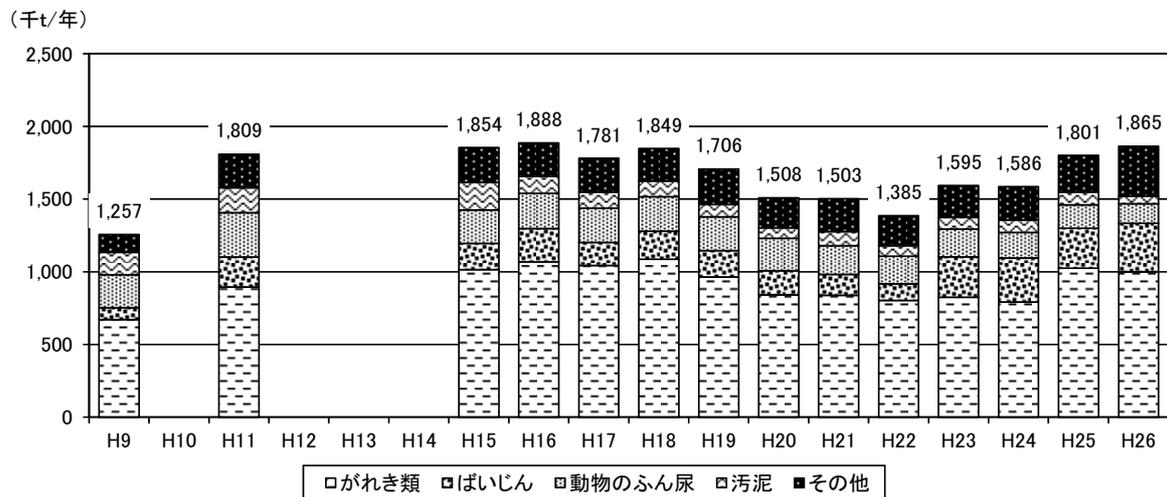
第2節 再生利用量の推移

再生利用量を前年度と比較すると、業種別では図4-2-1に示すとおり電気業と製造業が増加し、種類別では図4-2-2に示すとおりばいじんが増加している。



	平成 9年度	平成 11年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
合計	1,257	1,809	1,854	1,888	1,781	1,849	1,706	1,508	1,503	1,385	1,595	1,586	1,801	1,865
電気業	84	226	181	229	158	195	181	165	146	114	289	307	292	357
上水道業	8	4	3	5	6	6	3	3	3	2	4	3	4	2
下水道業	2	2	9	11	7	10	3	5	13	7	7	7	6	8
建設業	711	982	1,167	1,191	1,169	1,201	1,089	936	947	883	924	896	1,139	1,134
製造業	83	115	118	123	118	110	101	95	115	106	105	116	116	142
農業	226	306	231	242	236	235	233	223	197	192	190	175	163	134
その他	144	174	145	87	87	92	95	82	97	82	76	80	80	87

図4-2-1 再生利用量の推移（業種別）

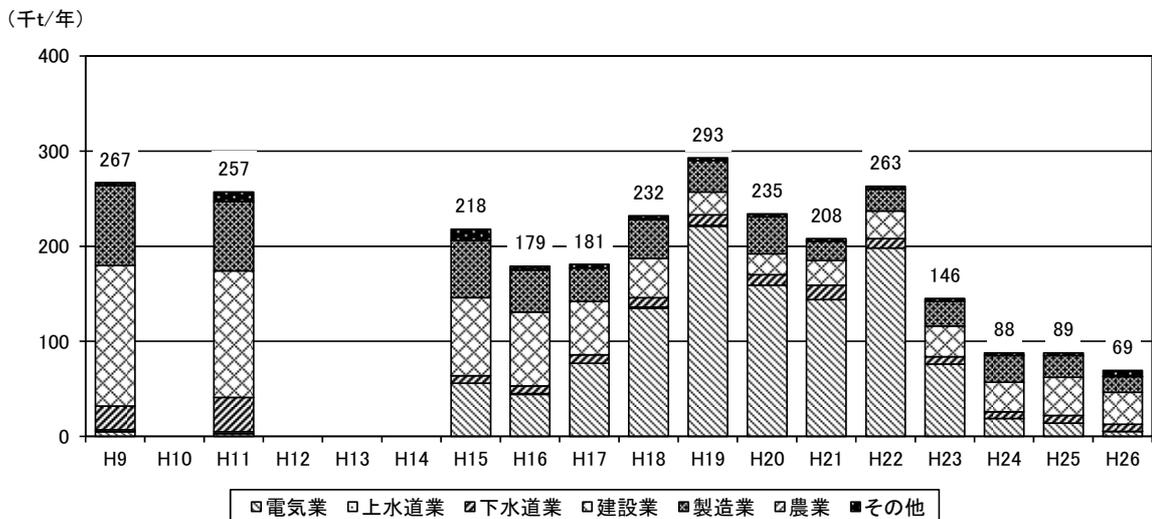


	平成 9年度	平成 11年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
合計	1,257	1,809	1,854	1,888	1,781	1,849	1,706	1,508	1,503	1,385	1,595	1,586	1,801	1,865
がれき類	672	897	1,015	1,070	1,044	1,087	965	843	838	804	826	793	1,025	1,000
ばいじん	82	205	180	227	157	194	181	164	145	113	278	303	274	333
動物のふん尿	226	306	231	242	236	235	233	223	197	191	189	175	162	134
汚泥	154	171	188	117	112	108	84	74	96	73	81	87	89	53
その他	123	230	240	232	232	224	243	205	227	205	220	228	251	344

図4-2-2 再生利用量の推移（種類別）

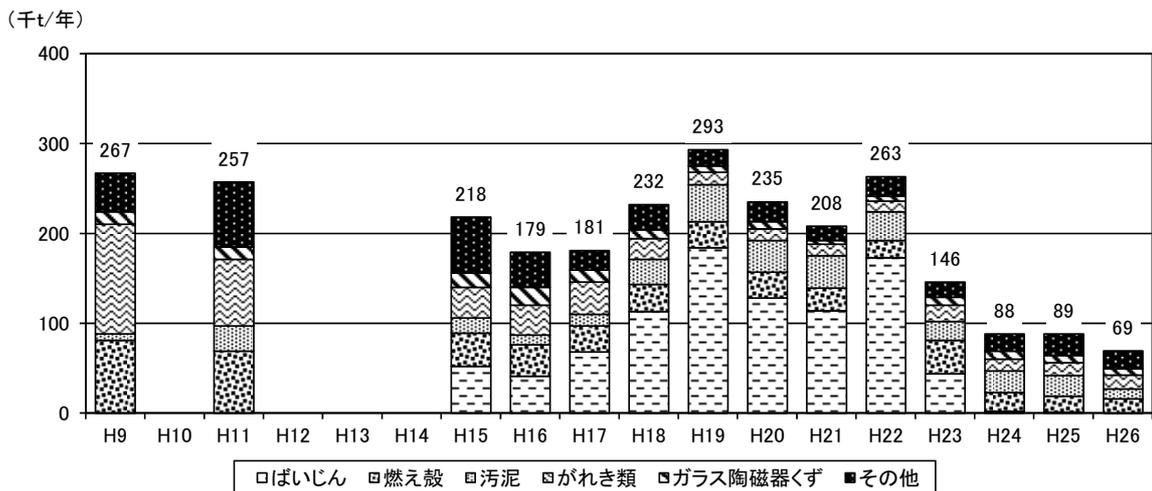
第3節 最終処分量の推移

最終処分量を前年度と比較すると、業種別では図4-3-1に示すとおり電気業が減少し、種別では図4-3-2に示すとおり汚泥が減少している。



	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
合計	267	257	218	179	181	232	293	235	208	263	146	88	89	69
電気業	5	3	56	44	77	135	221	159	144	198	76	19	14	5
上水道業	2	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	25	36	8	8	9	10	11	11	15	10	8	7	8	
建設業	148	133	82	78	56	41	24	22	26	29	32	31	40	
製造業	84	73	60	44	35	41	33	39	20	23	26	28	23	
農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	3	10	12	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	

図4-3-1 最終処分量の推移（業種別）



	平成9年度	平成11年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
合計	267	257	218	179	181	232	293	235	208	263	146	88	89	69
ばいじん	0	0	52	41	68	113	184	128	114	173	44	2	1	
燃え殻	81	69	37	35	29	30	29	29	25	19	37	21	18	
汚泥	7	28	17	11	13	28	41	35	36	32	21	24	23	
がれき類	122	74	34	33	36	23	14	13	13	12	18	13	14	
ガラス陶磁器くず	14	14	16	20	13	10	7	8	4	5	9	9	8	
その他	43	72	62	39	22	28	18	22	16	22	17	19	24	

図4-3-2 最終処分量の推移（種別別）

第5章 目標達成状況の点検・評価

石川県は、平成17年3月に策定した石川県環境総合計画（以下、「環境総合計画」という。）において、産業廃棄物の循環資源の再使用、再生利用・熱回収に関する行動目標（目標年次は平成22年度）を設定している。

平成26年度の達成状況は表5-1-1に示すとおり、産業廃棄物の最終処分量、建設副産物の再資源化率のいずれも行動目標を達成している。

なお、産業廃棄物の最終処分量の推移は、図5-1-1に示すとおりである。

表5-1-1 環境総合計画における行動目標の達成状況

産業廃棄物に関する 行動目標の項目		目標値 又は目指す方向 (平成22年度)	平成26年度実績		参考
			達成状況		
産業廃棄物の最終処分量		約134千トン以下 (平成9年度の1/2)	69千トン	○	267千トン (平成9年度値)
建設副産物の 再資源化率	コンクリート	97%以上を維持	99.5%	○	98% (平成14年度値)
	アスファルト	97%以上	99.3%	○	96% (平成14年度値)
	建設発生木材※	97%以上	98.6%	○	89% (平成14年度値)

※建設発生木材の再資源化率には、減量化を含む

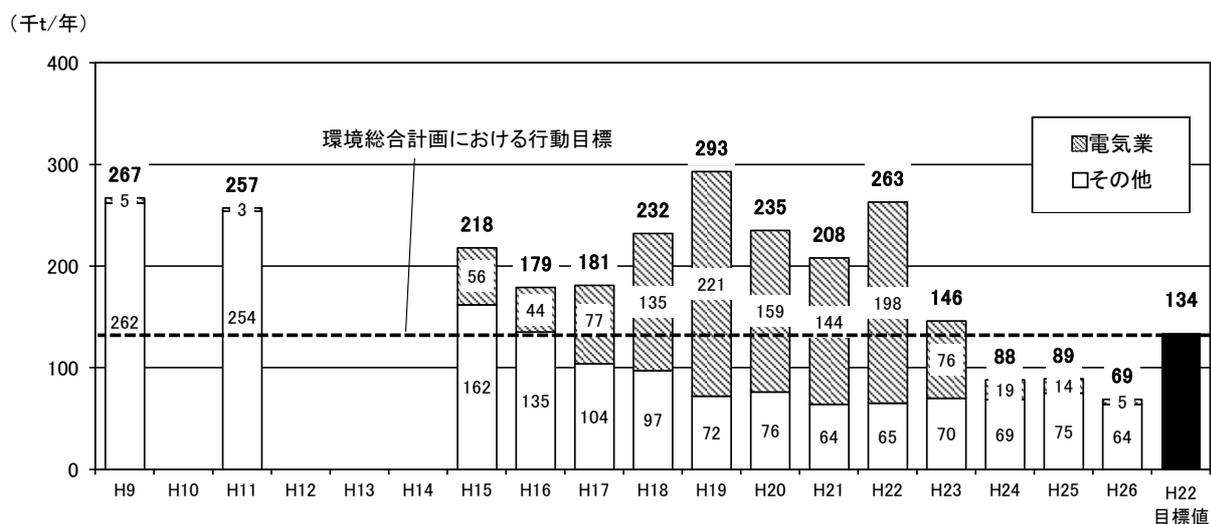


図5-1-1 産業廃棄物の最終処分量の推移

なお、産業廃棄物の種類別の最終処分量については、廃プラスチック類及びばいじんは行動目標を達成出来ていない（表 5-1-2）。

表 5-1-2 環境総合計画における産業廃棄物の行動目標（最終処分量）の達成状況

(単位:千t/年)

産業廃棄物の種類 (無変換)	目標値 (平成 22 年度)	平成 26 年度実績	
			達成状況
汚 泥	40	19	○
廃プラスチック類	4	9	×
木くず	8	3	○
金属くず	1	1	○
鉱さい	7	1	○
がれき類	54	15	○
ばいじん	0	1	×
動物のふん尿	0	0	○
その他	20	20	○
合 計	134	69	○

※中間処理による廃棄物の種類の変換は考慮していない。

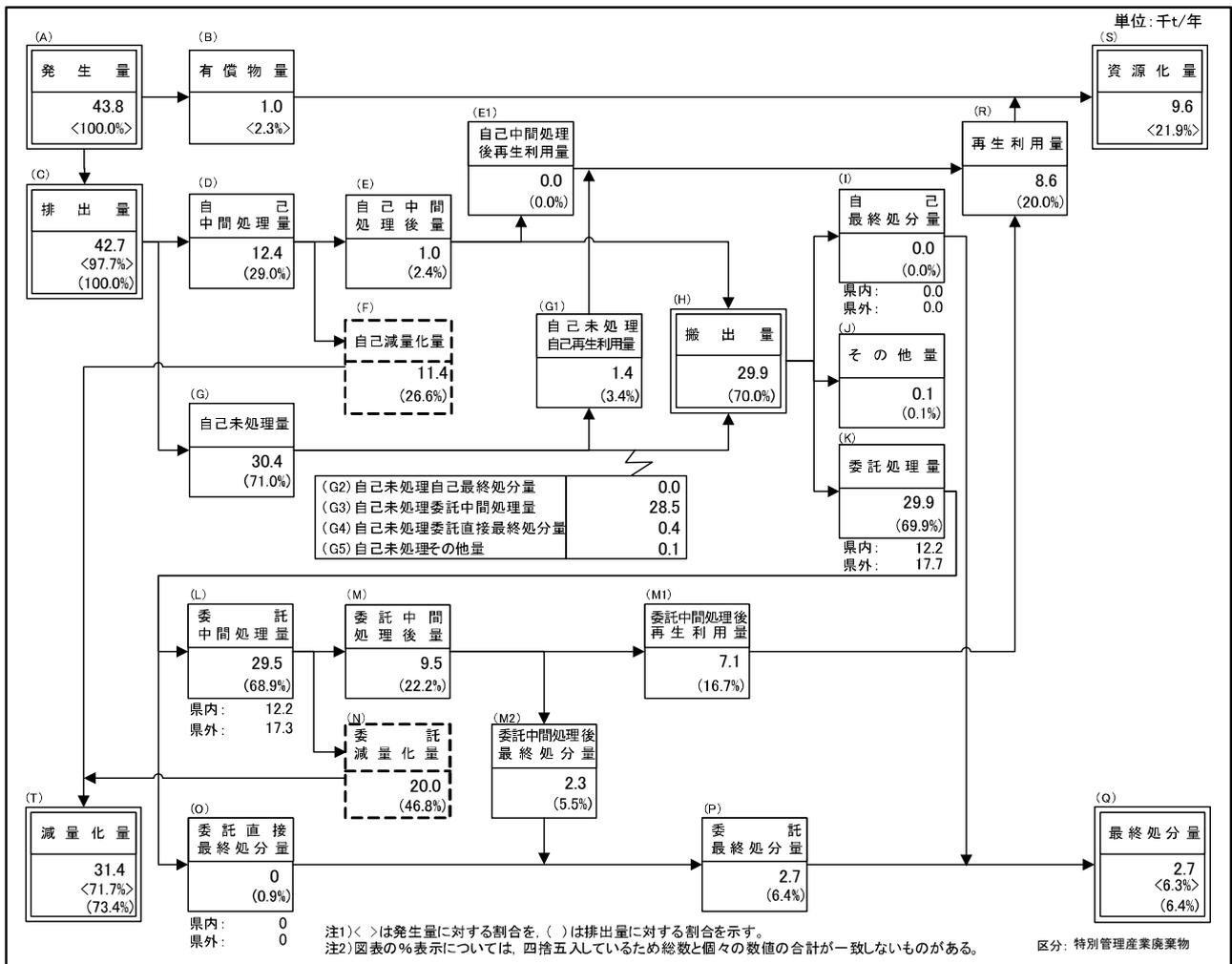
参考資料 1 特別管理産業廃棄物の排出・処理状況

1) 調査方法

前段では特別管理産業廃棄物（引火性廃油、腐食性廃酸（pH2.0 以下）、腐食性廃アルカリ（pH12.5 以上）、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物（有害物質を含む汚泥等）についても産業廃棄物として発生量等を推計したが、以下に特別管理産業廃棄物として処理されたものの推計結果を示す。

2) 排出及び処理状況の概要

特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理処分状況は、図参 1-1 のとおりである。



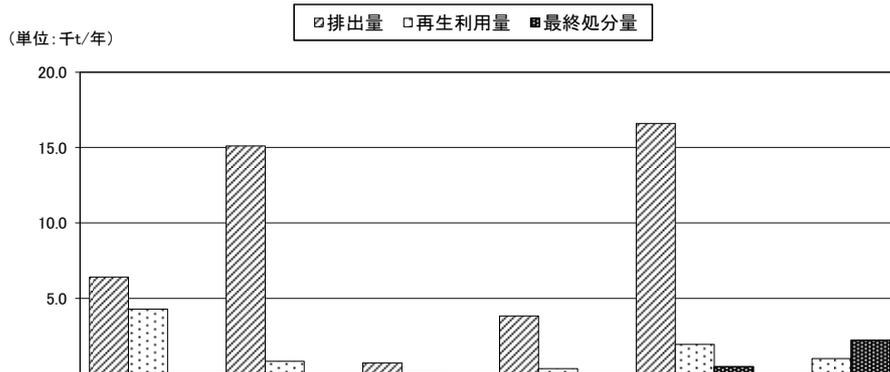
図参 1-1 特別管理産業廃棄物の排出及び処理状況の概要（無変換）

3) 種類別

特別管理産業廃棄物の種類別の排出量は、図参 1-2 に示すとおりである。

特定有害産業廃棄物が 16.6 千トン（特別管理産業廃棄物排出量の 38.9%）で最も多く、次いで、腐食性廃酸が 15.1 千トン（同 35.3%）、引火性廃油が 6.4 千トン（同 15.0%）、感染性産業廃棄物が 3.9 千トン（同 9.0%）となっている。

また、最終処分量は、感染性廃棄物等が焼却等の中間処理により無害化された非特別管理産業廃棄物が 2.2 千トン（同最終処分量の 82.0%）、廃石綿が 0.5 千トン（同 18.0%）となっている。



種類 (千 t/年)	合計	引火性廃油	腐食性廃酸	腐食性 廃アルカリ	感染性 廃棄物	特定有害 産業廃棄物	非特別管理 産業廃棄物
排出量	42.7	6.4	15.1	0.7	3.9	16.6	
(%)	(100.0)	(15.0)	(35.3)	(1.7)	(9.0)	(38.9)	(0.0)
再生利用量	8.6	4.3	0.8	0.1	0.4	2.0	1.0
(%)	(100.0)	(50.2)	(9.9)	(0.7)	(4.2)	(23.0)	(12.0)
最終処分量	2.7					0.5	2.2
(%)	(100.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(18.0)	(82.0)

※非特別管理廃棄物とは、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物のことを示す。

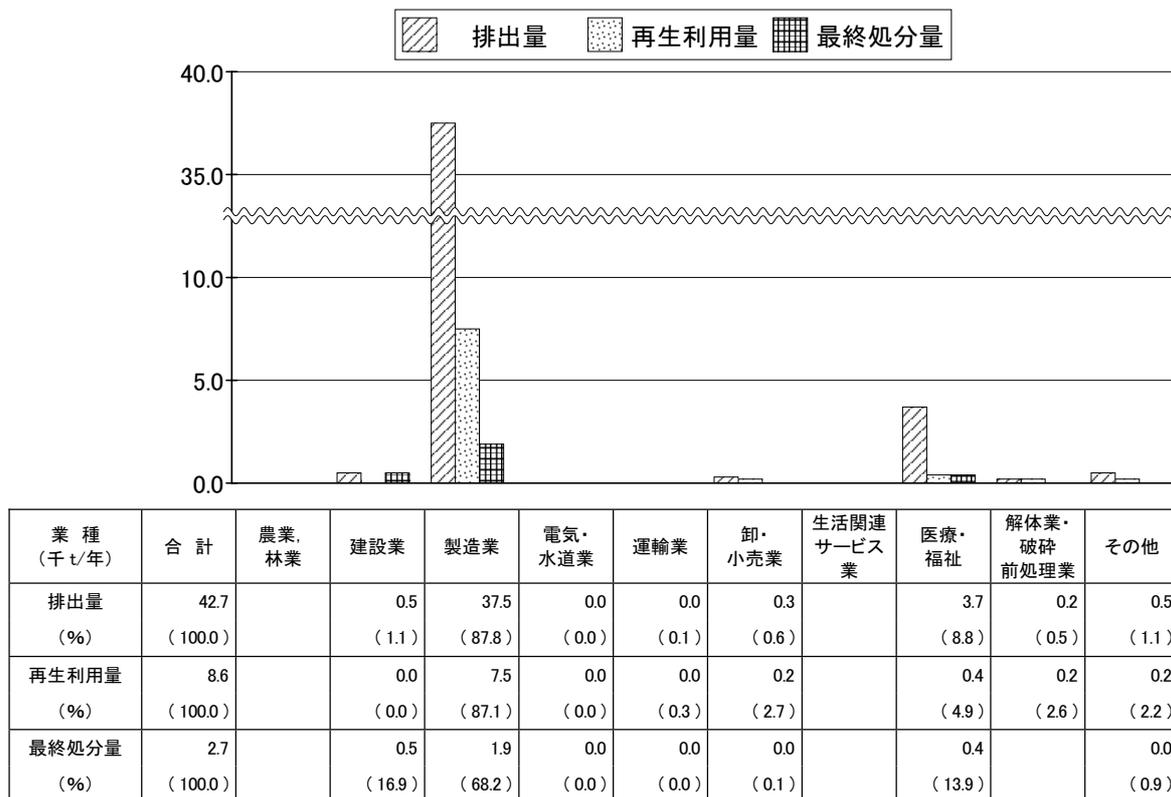
図参 1-2 種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

4) 業種別

業種別の排出量は、図参 1-3 に示すとおりである。

製造業が 37.5 千トン（同排出量の 87.8%）で最も多く、次いで、医療・福祉が 3.7 千トン（同 8.8%）、建設業が 0.5 千トン（同 1.1%）となっている。

最終処分量は、製造業が 1.9 千トン（同最終処分量の 68.2%）、建設業が 0.5 千トン（同 16.9%）、医療・福祉が 0.4 千トン（同 13.9%）となっている。



※非特別管理廃棄物とは、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった産業廃棄物のことを示す。

図参 1-3 業種別の排出量、再生利用量、最終処分量

参考資料 2 広域移動状況

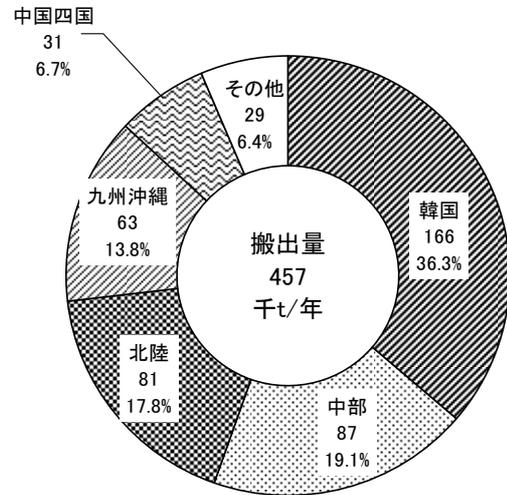
1) 県外への搬出

種類別地域別の搬出量は、図参 2-1、表参 2-1 に示すとおりである。

搬出量 1,895 千トンのうち、石川県外に搬出した量は 457 千トンで搬出量の 24.1%を占めている。

搬出先は、韓国が 166 千トン（県外搬出量の 36.3%）で最も多く、次いで、中部 87 千トン（同 19.1%）、北陸 81 千トン（同 17.8%）、九州沖縄 63 千トン（同 13.8%）となっている。

なお、搬出の処理目的は、中間処理が 456 千トン、直接最終処分が 1 千トンとなっている。



図参 2-1 県外への搬出量

表参 2-1 県外への搬出量

(単位: 千t/年)

種 類 \ 地 域	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄	韓国
合計	457	0	0	87	81	29	31	63	166
燃え殻	23			23	0				
汚泥	24	0	0	2	20	2	0		
廃油	10	0	0	1	7	2	0	0	
廃酸	15		0	1	10	4			
廃アルカリ	1		0	0	1	0			
廃プラスチック類	7		0	0	6	1	0	0	
紙くず	0			0	0				
木くず	3			1	2	0			
繊維くず	0				0				
動植物性残渣	6				1	1	4		
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず	8		0	0	7	0			
ガラス陶磁器くず	5			0	3	1	0		
鋳さい	6			1	2	0	3		
がれき類	4			0	3				
ばいじん	324			56	0	15	23	63	166
その他	21			0	18	3	0	0	

北 海 道 東 北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関 東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中 部：新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 北 陸：富山県、福井県
 近 畿：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 中 国 四 国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 九 州 沖 縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

表参 2-2 県外への搬出量（中間処理）

(単位:千t/年)

種 類	地 域	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄	韓国
合計		456	0	0	87	80	29	31	63	166
燃え殻		23			23	0				
汚泥		24	0	0	2	20	2	0		
廃油		10	0	0	1	7	2	0	0	
廃酸		15		0	1	10	4			
廃アルカリ		1		0	0	1	0			
廃プラスチック類		7		0	0	6	1	0	0	
紙くず		0			0	0				
木くず		3			1	2	0			
繊維くず		0				0				
動植物性残渣		6				1	1	4		
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず		8		0	0	7	0			
ガラス陶磁器くず		5			0	3	1	0		
鋳さい		6			1	2	0	3		
がれき類		3			0	3				
ばいじん		324			56	0	15	23	63	166
その他		20			0	17	3	0	0	

表参 2-3 県外への搬出量（直接最終処分）

(単位:千t/年)

種 類	地 域	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄	韓国
合計		1			0	1	0			
燃え殻										
汚泥		0				0				
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類		0				0				
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残渣										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず		0				0				
鋳さい		0				0				
がれき類		0				0				
ばいじん										
その他		0			0	0	0			

2) 県内への搬入

1. 調査方法

石川県内への搬入量は、産業廃棄物処理業者の処分実績報告書を用いて集計を行った。

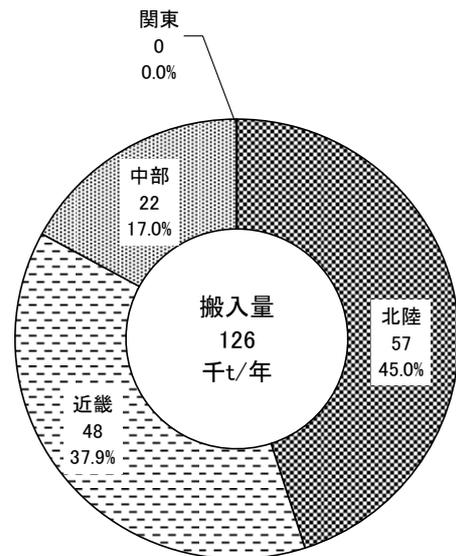
2. 調査結果

石川県内への搬入量は126千トンで、搬入地域別の状況は、図参 2-2、表参 2-4 に示すとおりである。

搬入地域は、北陸が57千トン（県内搬入量の45.0%）で最も多く、次いで、近畿48千トン（同37.9%）、中部22千トン（同17.0%）となっている。

また、処理目的別の搬入量は、表参 2-5、6 に示すとおりである。

中間処理目的が111千トン、直接最終処分目的が15千トンとなっている。



図参 2-2 県内への搬入量

表参 2-4 県内への搬入量

種 類	地 域	合計	(単位:千t/年)						
			北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄
合 計		126		0	22	57	48		
産業廃棄物計		107		0	20	48	40		
燃え殻		1			0	0	0		
汚泥		20			2	13	4		
廃油		17			2	8	6		
廃酸		8			1	6	1		
廃アルカリ		27			2	4	21		
廃プラスチック類		20		0	3	11	6		
紙くず		0			0	0			
木くず		1				1			
繊維くず		0				0			
動植物性残渣		2			1	1	0		
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず		0			0	0	0		
ガラス陶磁器くず		2			0	1	1		
鉱さい		0				0			
がれき類		2			0	2			
動物のふん尿									
ばいじん		0			0	0	0		
混合廃棄物		8		0	8	1	0		
特別管理産業廃棄物計		19			2	9	8		
引火性廃油		6			1	5	1		
腐食性廃酸		5			0	2	3		
腐食性廃アルカリ		3			0	1	2		
感染性廃棄物		0			0	0			
ばいじん		0			0				
廃油		1			0	0	0		
汚泥		0			0	0	0		
廃酸		2			0	0	1		
廃アルカリ		1				0	1		
廃PCB等		0				0	0		

注) 石川県知事または金沢市長が許可した処分業者の実績を示す。

表参 2-5 県内への搬入量（中間処理）

(単位:千t/年)

種 類	地 域	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄
合 計		111			13	57	41		
産業廃棄物計		92			11	48	33		
燃え殻		0			0	0	0		
汚泥		20			2	13	4		
廃油		17			2	8	6		
廃酸		8			1	6	1		
廃アルカリ		27			2	4	21		
廃プラスチック類		14			3	11	0		
紙くず		0			0	0			
木くず		1				1			
繊維くず		0				0			
動植物性残渣		2			1	1	0		
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず		0			0	0	0		
ガラス陶磁器くず		1			0	1			
鋳さい		0				0			
がれき類		2			0	2			
動物のふん尿									
ばいじん		0				0	0		
混合廃棄物		1			0	1	0		
特別管理産業廃棄物計		19			2	9	8		
引火性廃油		6			1	5	1		
腐食性廃酸		5			0	2	3		
腐食性廃アルカリ		3			0	1	2		
感染性廃棄物		0			0	0			
ばいじん		0			0				
廃油		1			0	0	0		
汚泥		0			0	0	0		
廃酸		2			0	0	1		
廃アルカリ		1				0	1		
廃 PCB 等		0				0	0		

注) 石川県知事または金沢市長が許可した処分業者の実績を示す。

表参 2-6 県内への搬入量（直接最終処分）

(単位:千t/年)

種 類	地 域	合計	北海道 東北	関東	中部	北陸	近畿	中国 四国	九州 沖縄
合 計		15		0	8	0	6		
産業廃棄物計		15		0	8	0	6		
燃え殻		0			0				
汚泥		0				0			
廃油									
廃酸									
廃アルカリ									
廃プラスチック類		6		0	0	0	5		
紙くず									
木くず									
繊維くず									
動植物性残渣									
動物系固形不要物									
ゴムくず									
金属くず		0					0		
ガラス陶磁器くず		1			0		1		
鋳さい									
がれき類		0			0				
動物のふん尿									
ばいじん		0			0				
混合廃棄物		8		0	8				
特別管理産業廃棄物計									
引火性廃油									
腐食性廃酸									
腐食性廃アルカリ									
感染性廃棄物									
ばいじん									
廃油									
汚泥									
廃酸									
廃アルカリ									
廃 PCB 等									

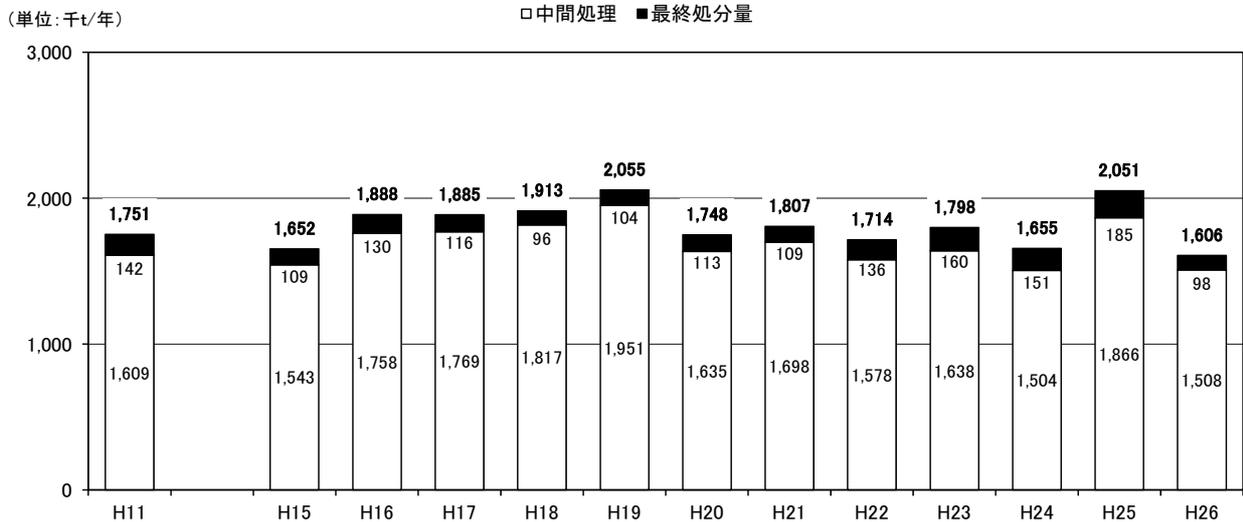
注) 石川県知事または金沢市長が許可した処分業者の実績を示す。

参考資料3 産業廃棄物処分業者の実績

1) 処分量の推移

平成11年度以降の処理業者の処分量実績の推移は、図参3-1に示すとおりである。

平成26年度の産業廃棄物処理業者の処分量は1,606千トンで、平成25年度と比較すると445千トン減少（中間処理量が358千トン減少、最終処分量は87千トン減少。）となっている。



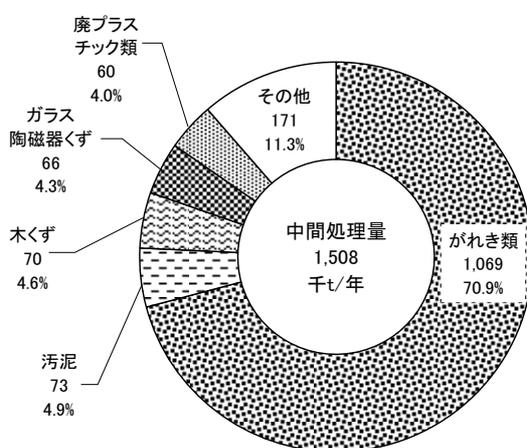
図参3-1 処分量の推移

2) 中間処理状況

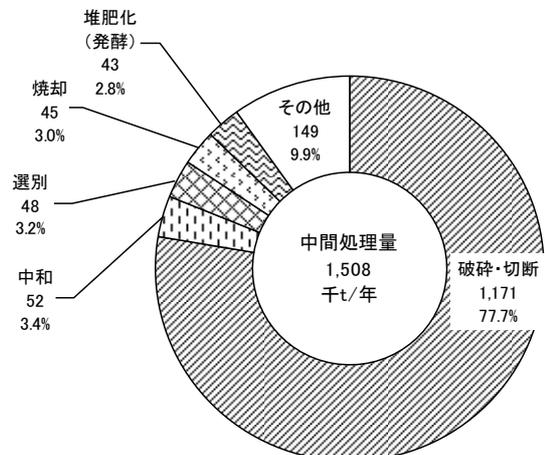
県内の処分業者による中間処理の状況は、図参3-2、3に示すとおりである。

廃棄物の種類別で見ると、がれき類が1,069千トン（中間処理量の70.9%）で最も多く、次いで、汚泥73千トン（同4.9%）、木くず70千トン（同4.6%）となっている。

また中間処理方法別で見ると、破碎・切断が1,171千トン（中間処理量の77.7%）で最も多く、次いで、中和が52千トン（同3.4%）、選別が48千トン（同3.2%）、焼却が45千トン（同3.0%）となっている。



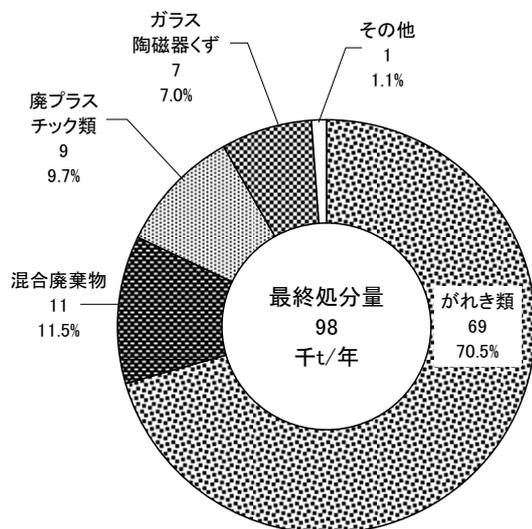
図参3-2 種類別の中間処理量



図参3-3 処理方法別の中間処理量

3) 最終処分状況

県内の処分業者による廃棄物種類別の最終処分状況は、図参 3-3 に示すとおりである。
がれき類が 69 千トン（最終処分量の 70.5%）で最も多く、次いで、混合廃棄物が 11 千トン（同 11.5%）、廃プラスチック類が 9 千トン（同 9.7%）、ガラス陶磁器くずが 7 千トン（同 7.0%）となっている。



図参 3-4 種類別の最終処分量

統計表

統計表目次

表 1	業種別・種類別の結果表＜平成 26 年度＞	53
表 1-1	発生量（業種別・種類別）	53
表 1-2	有償物量（業種別・種類別）	54
表 1-3	排出量（業種別・種類別）	55
表 1-4	搬出量（業種別・種類別：変換）	56
表 1-5	自己最終処分量（業種別・種類別：変換）	57
表 1-6	委託処理量（業種別・種類別：変換）	58
表 1-7	委託中間処理量（業種別・種類別：変換）	59
表 1-8	委託直接最終処分量（業種別・種類別：変換）	60
表 1-9	委託最終処分量（業種別・種類別：変換）	61
表 1-10	最終処分量（業種別・種類別：変換）	62
表 1-11	再生利用量（業種別・種類別：変換）	63
表 1-12	資源化量（業種別・種類別：変換）	64
表 1-13	排出量【南加賀地域】	65
表 1-14	排出量【石川中央地域南部区（金沢市を除く）】	66
表 1-15	排出量【石川中央地域北部区（金沢市を除く）】	67
表 1-16	排出量【金沢市】	68
表 1-17	排出量【能登中部地域】	69
表 1-18	排出量【能登北部地域】	70
表 1-19	自己最終処分量（業種別・種類別：無変換）	71
表 1-20	委託直接最終処分量（業種別・種類別：無変換）	72
表 1-21	委託最終処分量（業種別・種類別：無変換）	73
表 1-22	最終処分量（業種別・種類別：無変換）	74
表 2	発生量及び処理・処分量（種類別）＜平成 26 年度＞	76
表 2-1	種類別処理・処分状況（全業種）	76
表 2-2	種類別処理・処分状況（農業）	78
表 2-3	種類別処理・処分状況（鉱業）	80
表 2-4	種類別処理・処分状況（建設業）	82
表 2-5	種類別処理・処分状況（製造業）	84
表 2-6	種類別処理・処分状況（電気・水道業）	86
表 2-7	種類別処理・処分状況（卸・小売業）	88
表 2-8	種類別処理・処分状況（医療・福祉）	90
表 2-9	種類別処理・処分状況（サービス業）	92
表 2-10	種類別処理・処分状況（解体業・破砕前処理業）	94
表 2-11	種類別処理・処分状況（その他）	96
表 2-12	種類別処理・処分状況（全業種：無変換）	98
表 3	特別管理産業廃棄物の発生量及び処理・処分量（種類別）＜平成 26 年度＞	100
表 3-1	発生量（業種別・種類別：特別管理産業廃棄物）	100
表 3-2	排出量（業種別・種類別：特別管理産業廃棄物）	101
表 3-3	種類別処理・処分状況（特別管理産業廃棄物）	102
表 3-4	種類別処理・処分状況（特別管理産業廃棄物：無変換）	104

表 4	発生量及び処理・処分量（種類別）＜平成 26 年度＞	106
表 4-1	業種別処理・処分状況（南加賀地域）	106
表 4-2	業種別処理・処分状況（石川中央地域南部区（金沢市を除く））	108
表 4-3	業種別処理・処分状況（石川中央地域北部区（金沢市を除く））	110
表 4-4	業種別処理・処分状況（金沢市）	112
表 4-5	業種別処理・処分状況（能登中部地域）	114
表 4-6	業種別処理・処分状況（能登北部地域）	116
表 5	発生量及び処理・処分量（業種別）＜平成 26 年度＞	118
表 5-1	種類別処理・処分状況（南加賀地域）	118
表 5-2	種類別処理・処分状況（石川中央地域南部区（金沢市を除く））	120
表 5-3	種類別処理・処分状況（石川中央地域北部区（金沢市を除く））	122
表 5-4	種類別処理・処分状況（金沢市）	124
表 5-5	種類別処理・処分状況（能登中部地域）	126
表 5-6	種類別処理・処分状況（能登北部地域）	128
表 6	発生量及び処理・処分量（業種別：無変換）＜平成 26 年度＞	130
表 6-1	業種別処理・処分状況（全種類）	130
表 6-2	業種別処理・処分状況（燃え殻）	132
表 6-3	業種別処理・処分状況（汚泥）	134
表 6-4	業種別処理・処分状況（廃油）	136
表 6-5	業種別処理・処分状況（廃酸）	138
表 6-6	業種別処理・処分状況（廃アルカリ）	140
表 6-7	業種別処理・処分状況（廃プラスチック）	142
表 6-8	業種別処理・処分状況（紙くず）	144
表 6-9	業種別処理・処分状況（木くず）	146
表 6-10	業種別処理・処分状況（繊維くず）	148
表 6-11	業種別処理・処分状況（動植物性残さ）	150
表 6-12	業種別処理・処分状況（動物系固形不要物）	152
表 6-13	業種別処理・処分状況（ゴムくず）	154
表 6-14	業種別処理・処分状況（金属くず）	156
表 6-15	業種別処理・処分状況（ガラス陶磁器くず）	158
表 6-16	業種別処理・処分状況（鋳さい）	160
表 6-17	業種別処理・処分状況（がれき類）	162
表 6-18	業種別処理・処分状況（動物のふん尿）	164
表 6-19	業種別処理・処分状況（ばいじん）	166
表 7	産業廃棄物処分業者の実績集計結果＜平成 26 年度＞	168
表 7-1	種類別の中間処理・最終処分量	168
表 7-2	種類別、処理方法別の中間処理量	169
表 7-3	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の処分量）	170
表 7-4	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の中間処理量）	171
表 7-5	産業廃棄物の処理状況（種類別、県内地域別の最終処分量）	172
表 7-6	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の処分量）	173
表 7-7	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の中間処理量）	177
表 7-8	産業廃棄物の県内搬入状況（種類別、都道府県別の最終処分量）	181

表2-1 種類別処理・処分状況（全業種）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量								
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H)	(I) (E2+G2)	(J) (E2+G2)				
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)							委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)				自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
種別	3,491	222	3,269	1,552	359	170	5	177	7	0	0	1,717	13	1	1,680	18	5	1,893	6	6				
燃え殻	47	22	25	0	3	0	0	0	3	0	0	25	0	1	24	0	0	28	1	1				
汚泥	1,338	74	1,265	1,209	72	18	5	46	4	0	0	55	1	1	49	2	3	108	5	5				
有機性汚泥	1,082		1,082	1,068	47	3	1	41	3	0	0	14	1	1	9	1	3	57	1	1				
無機性汚泥	256	74	183	141	25	15	4	5	1	0	0	41	1	1	40	1	0	51	4	4				
廃油	37	3	34	13	1	0		1				21	2		19		0	20						
一般廃油	32	2	30	12	1	0		1				18	1		16		0	17						
廃溶剤	4	1	3	1	0			0				2	0		2		0	2						
固形油	1	0	0									0	0		0		0	0						
油でい	0	0	0									0	0		0		0	0						
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃酸	21	2	19	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0				
廃アルカリ	12		12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0				
廃プラスチック類	65	4	61	2	2	1	0	0	0	0	0	59	1	1	55	3	0	58	0	0				
廃プラスチック	60	4	56	2	2	1	0	0	0	0	0	54	1	1	50	3	0	54	0	0				
廃タイヤ	5	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0				
紙くず	13	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	7	0	0				
木くず	86	5	82	21	4	2	0	2	0	0	0	61	0	0	60	0	1	63	0	0				
繊維くず	11	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0				
動植物性残さ	13	0	13	3	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0				
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
金属くず	121	70	51	2	2	1	1	1	1	0	0	50	0	0	49	0	0	50	0	0				
ガラス陶磁器くず	117	0	117	9	7	1	6	6	0	0	0	108	0	0	106	2	0	114	0	0				
鉱さい	7	1	7									7			6		0	7						
がれき類	1,033	15	1,018	82	81	42	39	39	0	0	0	936	6	6	922	7	2	970						
コンクリート片	630		630	14	14	5	9	9	0	0	0	616	4	4	609	1	1	621						
廃アスファルト	343	15	328	67	67	37	29	29	0	0	0	261	2	2	259	0	0	289						
その他	60	60	60	1	1		0	0	0	0	0	59			54	6	6	60						
動物のふん尿	177		177	136	101	101						41	3	3	38			38						
動物の死体																								
ばいじん	340	18	322	60	73		73	73				261			261	1	1	334						
その他の産業廃棄物	52	2	50	15	13	3	9	9	0	0	0	35	0	0	34	2	0	45						
感染性廃棄物	4		4									4			4	0	0	4						
使用済自動車	27	1	27	14	12	3						12			12			21						
混合物等	21	1	20	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	18	2	0	20						

(単位：千t/年)

表2-1 種類別処理・処分状況（全業種）【平成26年度】（その2）

区分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					再生利用量					最終処分量				その他量						
	(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)		(X)				
	(O+L)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)	(AL)		
合計	1,882	25	19	6	24	1	1,857	1,839	18	1,401	456	1,720	1,682	39	1,865	69	6	9	55	6	6	2,087									
燃え殻	27	3	2	1	3	0	24	24	0	1	23	39	32	7	35	15	2	6	7	0	0	57									
汚泥	100	5	3	3	5	0	95	78	17	71	24	34	29	5	45	11	4	0	7	3	3	119									
有機性汚泥	53	4	1	3	3	0	50	33	17	37	13	14	13	2	14	2	2	2	2	3	3	14									
無機性汚泥	47	2	2	0	2	0	45	45	0	34	11	19	16	3	31	9	4	0	4	0	0	105									
廃油	20						20	20	0	10	10	10	10	0	12	0						15									
一般廃油	17						17	17	0	9	8	8	8	0	10	0						11									
廃溶剤	2						2	2	1	1	1	1	1	0	2	0						3									
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0									
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0									
油付着物類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0									
廃酸	19	0	0	0	0	0	19	19	4	15	1	1	1	1	1	1						3									
廃アルカリ	12	0	0	0	0	0	12	12	11	1	1	1	1	1	1	1						1									
廃プラスチック類	58	3	1	2	3	0	55	55	0	48	7	38	33	6	35	9	2	7	0	0	39										
廃プラスチック	54	3	1	2	3	0	51	50	0	44	7	34	28	6	30	9	2	7	0	0	34										
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	5										
紙くず	7	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	6	6	6	6	6					12										
木くず	62	0	0	0	0	0	62	61	0	58	3	52	52	0	54	0	0	0	0	0	58										
繊維くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	9	0	1	1	1	1	1					2										
動植物性残さ	10	0	0	0	0	0	10	10	0	4	6	9	9	9	10	10					10										
動物系固形不要物	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0										
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0										
金属くず	50	0	0	0	0	0	50	50	0	42	8	50	49	1	50	1	0	0	1	0	120										
ガラス陶磁器くず	114	2	2	0	2	0	112	112	0	107	5	112	107	5	108	8	0	0	8	0	108										
鉱さい	7	0	0	0	0	0	6	6	0	0	6	6	6	0	6	1					6										
がれき類	988	7	7	7	7	0	961	961	0	957	3	961	953	8	1,001	15	0	15	2	2	1,016										
コンクリート片	620	1	1	1	1	1	619	619	0	616	3	619	617	1	626	2	0	2	1	1	626										
廃アスファルト	288	0	0	0	0	0	288	288	0	288	0	288	287	1	326	1	326	1	1	0	341										
その他	60	6	6	6	6	0	54	54	54	1	55	49	6	6	49	12					49										
動物のふん尿	38						38	38		38		30	30	30	134						134										
動物の死体																															
ばいじん	334	1	1	1	1	1	333	333	10	324	334	334	334	0	334	1	0	1	1	1	351										
その他の産業廃棄物	45	2	2	0	2	0	43	43	0	23	20	37	30	7	34	8	0	8	0	35											
感染性廃棄物	4	0	0	0	0	0	4	4	3	3	0	0	0	0	0	0					0										
使用済自動車	21						21	21	3	18	21	21	21	21	25						25										
混合物等	20	2	2	0	2	0	18	18	0	16	1	15	9	7	9	8	0	8	0	0	10										

(単位：千t/年)

表2-4 種類別処理・処分状況（建設業）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				(A)	(B)	(C)	(D)	(自己中間処理後)		(自己中間処理)		(E)	(F)	(G)	(自己未処理)		(自己最終処分)		(H)	(処理先地域の内訳)			
								再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(I)	(E2+G2)
(B+C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(E2+G2)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)					
種別	1,230	29	1,201	64	63	0	42	0	0	0	1,137	6	1,117	12	2	1,172	0	0					
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
汚泥	26	0	26	0	0	0	0	0	0	26	0	0	26	0	0	26	0	0					
有機性汚泥																							
無機性汚泥	26	0	26	0	0	0	0	0	0	26	0	0	26	0	0	26	0	0					
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃溶剤																							
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
廃プラスチック類	13	0	13	0	0	0	0	0	0	12	0	0	10	2	0	13	0	0					
廃プラスチック	13	0	13	0	0	0	0	0	0	12	0	0	10	2	0	13	0	0					
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
紙くず	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0					
木くず	56	3	52	4	3	2	0	0	0	49	0	0	48	0	0	50	0	0					
繊維くず	8	0	8	0	0	0	0	0	0	8	0	0	8	0	0	8	0	0					
動物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	24	11	13	1	1	0	1	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0					
ガラス陶磁器くず	95	0	95	0	0	0	0	0	0	95	0	0	93	1	0	95	0	0					
鉱さい																							
がれき類	990	15	975	59	58	19	39	0	0	916	6	6	902	6	2	949	0	0					
コンクリート片	611	0	611	14	14	5	9	0	0	597	4	4	591	0	1	602	0	0					
廃アスファルト	320	15	305	45	44	15	29	0	0	261	2	2	258	0	0	288	0	0					
その他	58	0	58	1	1	0	0	0	0	58	0	0	52	6	0	58	0	0					
動物のふん尿																							
動物の死体																							
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
その他の産業廃棄物	15	0	15	0	0	0	0	0	0	15	0	0	13	2	0	15	0	0					
感染性廃棄物																							
使用済自動車																							
混合物等	15	0	15	0	0	0	0	0	0	15	0	0	13	2	0	15	0	0					

表2-4 種類別処理・処分状況（建設業）【平成26年度】（その2）

区 分 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量 (B+R)
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	処理主体の内訳		(S)		
	業者		自治体			県内		県外			業者		自治体			県内		県外									(01)	(02)		(03)	
	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)	(AL)			
合計	1,171	12	11	2	12	1	1,158	1,158	0	1,150	9	1,128	1,107	21	1,134	34	0	2	32	2	1,163										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	1	3	1	0	0	0	1	0	3										
汚泥	26	0	0	0	0	0	26	26	26	0	12	11	0	11	1	1	1	1	1	1	11										
有機性汚泥																															
無機性汚泥	26	0	0	0	0	0	26	26	26	0	12	11	0	11	1	1	1	1	1	1	11										
廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
一般廃油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃溶剤																															
固形油	0						0	0	0	0	0																				
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油付着物類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃プラスチック類	13	2	1	2	2	0	10	10	0	10	1	9	8	2	8	4	2	2	2	2	8										
廃プラスチック	13	2	1	2	2	0	10	10	0	10	1	9	8	2	8	4	2	2	2	2	8										
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
紙くず	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
木くず	50	0	0	0	0	0	50	49	0	47	2	41	41	0	43	0	0	0	0	0	46										
繊維くず	8	0	0	0	0	0	8	8	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
動植物性残さ																															
動物系固形不要物																															
ゴムくず																															
金属くず	13	0	0	0	0	0	13	13	13	13	0	13	13	0	13	0	13	0	0	0	24										
ガラス陶磁器くず	95	1	1	1	1	0	94	93	0	92	1	93	90	4	90	5	5	5	5	5	90										
鉱さい																															
がれき類	947	6	6	6	6	0	941	941	0	937	3	941	933	8	959	14	0	14	2	2	973										
コンクリート片	601	0	0	0	0	0	601	601	0	598	3	601	599	1	608	1	0	1	1	1	608										
廃アスファルト	288	0	0	0	0	0	287	287	0	287	0	287	287	1	303	1	1	1	1	1	318										
その他	58	6	6	6	6	0	53	53	53	52	1	53	47	6	47	12	12	12	12	12	47										
動物のふん尿																															
動物の死体																															
ばいじん	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
その他の産業廃棄物	15	2	2	2	2	0	13	13	13	13	0	11	6	6	6	7	7	7	7	7	6										
感染性廃棄物																															
使用済自動車																															
混合物等	15	2	2	2	2	0	13	13	13	13	0	11	6	6	6	7	7	7	7	7	6										

(単位：千t/年)

表2-5 種類別処理・処分状況（製造業）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量									
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(E)	(F)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H)	(I) (E2+G2)	(J) (K+L)	(M) (N+O)				
									再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)					自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
種別	530	76	454	289	53	27	0	21	5	0	164	2	0	157	4	1	189	0	0						
合計																									
燃え殻	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0						
汚泥	246	1	245	226	20	3	14	14	3	0	19	1	0	17	1	0	36	0	0						
有機性汚泥	197	1	197	193	16	3	11	11	3	0	4	0	0	4	0	0	17	0	0						
無機性汚泥	48	1	47	33	4	0	3	3	1	0	14	1	0	13	1	0	18	0	0						
廃油	30	2	27	13	1	0	0	0	0	0	15	2	0	13	0	0	14	0	0						
一般廃油	26	2	24	12	1	0	1	1	0	0	12	1	0	11	0	0	12	0	0						
廃溶剤	4	1	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0						
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
廃酸	21	2	19	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0						
廃アルカリ	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0						
廃プラスチック類	23	4	20	1	1	1	0	0	0	0	19	0	0	18	0	0	19	0	0						
廃プラスチック	23	4	20	1	1	1	0	0	0	0	19	0	0	18	0	0	19	0	0						
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
紙くず	11	6	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0						
木くず	27	1	26	16	0	0	0	0	0	0	10	0	0	9	0	1	10	0	0						
繊維くず	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0						
動物性残さ	13	0	13	3	1	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0						
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属くず	76	57	19	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	19	0	0	19	0	0						
ガラス陶磁器くず	17	0	16	8	6	0	6	6	0	0	9	0	0	8	1	1	15	0	0						
鉱さい	7	1	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	6	0	0	7	0	0						
がれき類	41	0	41	23	23	23	0	0	0	0	18	0	0	17	1	1	18	0	0						
コンクリート片	18	0	18	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	17	0	0	17	0	0						
廃アスファルト	23	0	23	23	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
動物のふん尿																									
動物の死体																									
ばいじん	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0						
その他の産業廃棄物	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0						
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
使用済自動車																									
混合物等	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0						

表2-5 種類別処理・処分状況（製造業）【平成26年度】（その2）

区分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理後量					委託中間処理後量					再生利用量					最終処分量				その他量						
	(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)		(X)				
	(O+L)	(K)	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	委託中間処理後量	(N)	再生利用量	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)			
合計	188	9	7	2	9	1	178	177	1	115	63	120	113	7	142	17	0	2	14	1	217										
燃え殻	2	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	5	4	1	7	5	0	2	3	0	7										
汚泥	36	4	2	2	4	0	31	31	0	13	18	13	10	2	10	4	0	0	4	0	11										
有機性汚泥	17	3	1	2	3	0	15	15	0	6	9	6	6	1	6	1	0	0	1	0	6										
無機性汚泥	18	1	1	0	1	0	17	17	0	7	9	7	5	2	5	4	0	0	3	0	5										
廃油	14						14	14	0	8	6	7	7	0	9	0	0	0	0	0	0										
一般廃油	12						12	12	0	8	4	6	6		7						7										
廃溶剤	2						2	2	1	1	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	2										
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油付着物類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃酸	19	0	0	0	0	0	19	19	4	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
廃アルカリ	12	0	0	0	0	0	12	12	11	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
廃プラスチック類	19	0	0	0	0	0	18	18	0	13	5	12	10	2	11	2	0	0	2	0	0										
廃プラスチック	18	0	0	0	0	0	18	18	0	13	5	12	10	2	11	2	0	0	2	0	0										
廃タイヤ	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
紙くず	4						4	4	4	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4										
木くず	10	0	0	0	0	0	9	9	0	9	1	8	8		8	0	0	0	0	0	0										
繊維くず	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0										
動植物性残さ	10	0	0	0	0	0	10	10	4	6	9	9	9		10																
動物系固形不要物																															
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
金属くず	19	0	0	0	0	0	19	19	16	3	19	19	19	0	19	0	0	0	0	0	0										
ガラス陶磁器くず	15	1	1	0	1	0	14	14	0	12	2	14	13	1	13	2	0	0	2	0	0										
鉱さい	7	0	0	0	0	0	6	6	0	6	6	6	6	0	6	1	0	0	1	0	0										
がれき類	18	1	1	1	1	1	18	18	17	0	18	17	17	0	40	1	0	0	1	0	0										
コンクリート片	18	1	1	1	1	1	17	17	17	0	17	17	17	0	17	1	0	0	1	0	0										
廃アスファルト	0						0	0	0	0	0	0	0	0	23																
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
動物のふん尿																															
動物の死体																															
ばいじん	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0										
その他の産業廃棄物	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0										
感染性廃棄物	0						0	0	0	0																					
使用済自動車																															
混合物等	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0										

(単位：千t/年)

表2-6 種類別処理・処分状況（電気・水道業）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(自己未処理の処理内訳)			(H)	(処理先地域の内訳)						
										再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(I)	(J+K+L)	(M+G2)
種別	1,397	113	1,284	993	112	2	5	104	2	0	292	1	1	286	0	3	401	6	6				
燃え殻	46	22	24		1				1		24		1	23			25	1	1				
汚泥	1,011	73	938	932	38	2	5	31	1	0	6	1	2	2	0	3	41	5	5				
有機性汚泥	881		881	875	31	0	1	30	0	0	6	1	2	2	0	3	36	1	1				
無機性汚泥	130	73	57	57	7	2	4	1	0	0	0		0	0	0	5	5	4	4				
廃油	0	0	0														0						
一般廃油	0	0	0														0						
廃溶剤																							
固形油																							
油でい																							
油付着物類	0	0	0														0						
廃酸	0	0	0														0						
廃アルカリ	0	0	0														0						
廃プラスチック類	0	0	0														0						
廃プラスチック	0	0	0														0						
廃タイヤ	0	0	0														0						
紙くず	0	0	0														0						
木くず	0	0	0														0						
繊維くず																							
動植物性残さ																							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	0	0	0														0						
ガラス陶磁器くず	0	0	0														0						
鉱さい	0	0	0														0						
がれき類	1		1														1						
コンクリート片	0	0	0														0						
廃アスファルト																							
その他	1		1														1						
動物のふん尿																							
動物の死体																							
ばいじん	338	18	321	60	73			73			260			260			333						
その他の産業廃棄物	0	0	0								0			0			0						
感染性廃棄物	0	0	0								0			0			0						
使用済自動車																							
混合物等	0	0	0								0			0			0						

(単位：千t/年)

表2-7 種類別処理・処分状況（卸・小売業）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量								
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(H)	(I) (E2+G2)				
							再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)							委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)			自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
種別	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(E2+G2)					
合計	33	1	32	2	1	1	1	1	1	0	30	0	0	30	0	0	0	31						
燃え殻	0	0	0								0	0	0	0	0	0	0	0						
汚泥	2	2	2	1	1						1	1		1			2	2						
有機性汚泥	0	0	0								0	0		0			0	0						
無機性汚泥	1	1	1	1	1						0	0		0			1	1						
廃油	4	0	4								4	4	0	4			4	4						
一般廃油	4	0	4								4	4	0	4			4	4						
廃溶剤	0	0	0								0	0		0			0	0						
固形油	0	0	0								0	0		0			0	0						
油でい	0	0	0								0	0		0			0	0						
油付着物類	0	0	0								0	0		0			0	0						
廃酸	0	0	0								0	0		0			0	0						
廃アルカリ	0	0	0								0	0		0			0	0						
廃プラスチック類	14	14	14								14	0	0	14	0	0	0	14						
廃プラスチック	11	11	11								11	0	0	11	0	0	0	11						
廃タイヤ	3	3	3								3			3			3	3						
紙くず																								
木くず	1	1	1	0	0						0	1	0	1			1	1						
繊維くず	0	0	0								0	0		0			0	0						
動植物性残さ																								
動物系固形不要物																								
ゴムくず																								
金属くず	7	1	6								6			6	0	0	6	6						
ガラス陶磁器くず	3	3	3	1	1	1					2			2	0	0	2	2						
鉱さい																								
がれき類	0	0	0								0			0			0	0						
コンクリート片																								
廃アスファルト																								
その他	0	0	0								0			0	0	0	0	0						
動物のふん尿																								
動物の死体																								
ばいじん																								
その他の産業廃棄物	1	0	1								1			1	0	0	1	1						
感染性廃棄物																								
使用済自動車																								
混合物等	1	0	1								1			1	0	0	1	1						

表2-8 種類別処理・処分状況（医療・福祉）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				
				自己中間処理後量		自己中間処理内訳		自己未処理後量		自己未処理内訳		自己最終処分内訳		自己最終処分内訳		
				再生利用量	自己最終処分量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内	県外
				(E)	(D)	(E)	(E)	(E4)	(E5)	(G1)	(G)	(G3)	(H)	(I)	(I+K+J)	(E2+G2)
種別	9	0	9					9				9				
合計																
燃え殻																
汚泥	2		2					2				2				
有機性汚泥	2		2					2				2				
無機性汚泥	0		0					0				0				
廃油	0		0					0				0				
一般廃油	0		0					0				0				
廃溶剤	0		0					0				0				
固形油																
油でい	0		0					0				0				
油付着物類																
廃酸	0		0					0				0				
廃アルカリ	0		0					0				0				
廃プラスチック類	2		2					2				2				
廃プラスチック	2		2					2				2				
廃タイヤ																
紙くず																
木くず	0		0					0				0				
繊維くず	0		0					0				0				
動植物性残さ																
動物系固形不要物																
ゴムくず																
金属くず	0		0					0				0				
ガラス陶磁器くず	2		2					2				2				
鉱さい																
がれき類	0		0					0				0				
コンクリート片																
廃アスファルト																
その他	0		0					0				0				
動物のふん尿																
動物の死体																
ばいじん																
その他の産業廃棄物	4	0	4					4				4			0	4
感染性廃棄物	4		4					4				4			0	4
使用済自動車																
混合物等	0	0	0					0				0			0	0

表2-10 種類別処理・処分状況（解体業・破砕前処理業）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量							
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H)					
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)						委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J+K+L)			
種別	36	3	33	14	12	3	9			19	0	19	0	0	0	0	28				
燃え殻																					
汚泥																					
有機性汚泥																					
無機性汚泥																					
廃油	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤																					
固形油																					
油でい																					
油付着物類																					
廃酸																					
廃アルカリ	0		0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック類	1	1	1							1	1	1	0	1	0	1	0				
廃プラスチック	0		0							0	0	0	0	0	0	0	0				
廃タイヤ	1	1	1							1	1	1	0	1	0	1	0				
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	7	1	6	0	0	0				6	6	6	0	6	0	6	0				
ガラス陶磁器くず																					
鉱さい																					
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん																					
その他の産業廃棄物	27	1	27	14	12	3	9			12	12	12	0	12	0	12	0	21			
感染性廃棄物																					
使用済自動車	27	1	27	14	12	3	9			12	12	12	0	12	0	12	0	21			
混合物等	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0			

(単位：千t/年)

表2-1-1 種類別処理・処分状況（その他）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量								
				(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H)	(I)	(E2+G2)				
										再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)				自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
種別	16	0	16	2	2	2	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	14							
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
燃え殻	1	1	1																					
汚泥	1	1	1																					
有機性汚泥	1	1	1																					
無機性汚泥	0	0	0																					
廃油	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1								
一般廃油	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1								
廃溶剤	0	0	0																					
固形油	0	0	0																					
油でい	0	0	0																					
油付着物類	0	0	0																					
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
廃プラスチック類	7	0	7	1	1	1	0	0	0	6	0	6	0	0	0	6								
廃プラスチック	6	0	6	1	1	1	0	0	0	5	0	5	0	0	0	5								
廃タイヤ	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
紙くず	2	0	2							2	0	2	0	0	0	2								
木くず	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
繊維くず																								
動植物性残さ																								
動物系固形不要物																								
ゴムくず	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
金属くず	2	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1								
ガラス陶磁器くず	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1								
鉢さい																								
がれき類	2		2							2		2				2								
コンクリート片	1		1							1		1				1								
廃アスファルト	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
その他	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
動物のふん尿																								
動物の死体																								
ばいじん																								
その他の産業廃棄物	1		1							1		1			0	1								
感染性廃棄物	0	0	0							0	0	0	0	0	0	0								
使用済自動車																								
混合物等	1		1							1		1			0	1								

(単位：千t/年)

表2-1-2 種類別処理・処分状況（全業種：無変換）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量										搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量					自己中間処理量					自己未処理後量					自己未処理量					(I) (E2+G2)	(H) (I+K+J)	(J)(処理先地域の内訳)	(K)(県外)
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			(E3)	(E2)	(E1)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)				
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)																委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)		
種別	3,491	222	3,269	1,552	359	170	5	177	7	0	1,717	13	1	1,680	18	5	1,893	6	6								
合計	47	22	25								25	1	1	24	0	0	25	1	1								
燃え殻	1,338	74	1,265	1,209	73	18	5	46	5	0	55	1	0	49	2	3	109	5	5								
汚泥	1,082		1,082	1,068	49	3	1	41	4	0	14	1	0	9	1	3	58	1	1								
有機性汚泥	256	74	183	141	25	15	4	5	1	0	41	1	0	40	1	1	51	4	4								
無機性汚泥	37	3	34	13	1	0	0	1	0	0	21	2	0	19		0	20										
廃油	32	2	30	12	1	0	0	1	0	0	18	1	0	16		0	17										
一般廃油	4	1	3	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2		0	2										
廃溶剤	1	0	0								0	0	0	0		0	0										
固形油	0	0	0								0	0	0	0		0	0										
油でい	0	0	0								0	0	0	0		0	0										
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0										
廃酸	21	2	19	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	19	0	0	19										
廃アルカリ	12		12	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12	0	0	12										
廃プラスチック類	65	4	61	2	2	1	0	0	0	0	59	1	0	55	3	0	58										
廃プラスチック	60	4	56	2	2	1	0	0	0	0	54	1	0	50	3	0	54										
廃タイヤ	5	1	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	5										
紙くず	13	6	7	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	7										
木くず	86	5	82	21	6	2	0	2	2	0	61	0	0	60	0	1	65										
繊維くず	11	2	10	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	9										
動植物性残さ	13	0	13	3	1	0	0	0	0	0	10	0	0	10	0	0	10										
動物系固形不要物	0	0	0								0	0	0	0		0	0										
ゴムくず	0	0	0								0	0	0	0		0	0										
金属くず	121	70	51	2	2	1	1	1	1	0	50	0	0	49	0	0	50										
ガラス陶磁器くず	117	0	117	9	7	1	6	6	0	0	108	0	0	106	2	0	114										
鉱さい	7	1	7								7	0	0	6	0	0	7										
がれき類	1,033	15	1,018	82	81	42	39	39	0	0	936	6	0	922	7	2	970										
コンクリート片	630		630	14	14	5	9	9	0	0	616	4	0	609	1	1	621										
廃アスファルト	343	15	328	67	67	37	29	29	0	0	261	2	0	259	0	0	289										
その他	60	60	0	1	1	101	0	0	0	0	59	3	0	54	6	0	60										
動物のふん尿	177		177	136	101	101	38	38			41	3	0	38		0	38										
動物の死体																											
ばいじん	340	18	322	60	73		73	73			261			261	1		334										
その他の産業廃棄物	52	2	50	15	13	3	9	9	0	0	35	0	0	34	2	0	45										
感染性廃棄物	4		4								4			4	0	0	4										
使用済自動車	27	1	27	14	12	3	9	9			12			12			21										
混合物等	21	1	20	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	18	2	0	20										

表2-1-2 種類別処理・処分状況（全業種：無変換）【平成26年度】（その2）

区分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					再生利用量					最終処分量				その他量						
	(K)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)						
	(O+L)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)			
合計	1,882	25	19	6	24	1	1,857	1,839	18	1,401	456	1,720	1,682	39	1,865	69	6	9	55	6	6	2,087									
燃え殻	24	0	0	0	0	0	24	24	0	1	23	24	24	0	24	1	1	1	0	0	0	46									
汚泥	102	7	3	4	6	0	95	78	17	71	24	41	34	7	53	19	5	7	8	3	127										
有機性汚泥	55	5	1	4	5	0	50	33	17	37	13	19	14	5	18	11	1	6	4	3	18										
無機性汚泥	47	2	2	0	2	0	45	45	0	34	11	22	20	2	35	8	4	0	4	0	109										
廃油	20						20	20	0	10	10	10	10	0	12	0	0	0	0	0	15										
一般廃油	17						17	17	0	9	8	10	10	0	11	0	0	0	0	0	13										
廃溶剤	2						2	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2										
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
油付着物類	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
廃酸	19	0	0	0	0	0	19	19	4	15	3	1	2	1	1	2	1	2	2	3	3										
廃アルカリ	12	0	0	0	0	0	12	12	11	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1										
廃プラスチック類	58	3	1	2	3	0	55	55	0	48	7	40	34	6	36	9	2	2	7	0	40										
廃プラスチック	54	3	1	2	3	0	51	50	0	44	7	35	29	6	31	9	2	2	7	0	35										
廃タイヤ	5	0	0	0	0	0	5	5	0	4	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	5										
紙くず	7	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	6	6	0	6	0	0	0	0	0	12										
木くず	64	2	2	0	2	0	62	61	0	58	3	53	52	0	54	3	0	0	0	0	59										
繊維くず	9	0	0	0	0	0	9	9	0	9	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	2										
動植物性残さ	10	0	0	0	0	0	10	10	0	4	6	9	9	0	10	0	0	0	0	0	10										
動物系固形不要物	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
金属くず	50	0	0	0	0	0	50	50	0	42	8	50	49	1	50	1	0	0	1	0	120										
ガラス陶磁器くず	114	2	2	0	2	0	112	112	0	107	5	112	107	5	108	7	0	0	7	0	108										
鉱さい	7	0	0	0	0	0	7	6	0	0	6	6	6	0	6	1	1	1	1	6	6										
がれき類	988	7	7	0	7	0	981	961	0	957	3	961	953	8	1,000	15	0	0	15	2	1,015										
コンクリート片	620	1	1	1	1	1	619	619	0	616	3	619	617	1	626	2	0	0	2	1	626										
廃アスファルト	288	0	0	0	0	0	288	288	0	288	0	288	287	1	326	1	1	1	1	0	341										
その他	60	6	6	6	6	0	54	54	1	54	1	54	48	6	48	12	12	12	12	48	48										
動物のふん尿	38						38	38		38		30	30		134						134										
動物の死体																															
ばいじん	334	1	1	1	1	1	333	333	10	324	333	333	333	0	333	1	1	1	1	351	351										
その他の産業廃棄物	45	2	2	0	2	0	43	43	0	23	20	39	32	7	35	9	0	0	9	0	36										
感染性廃棄物	4	0	0	0	0	0	4	4	3	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
使用済自動車	21						21	21	3	18	21	21	21	21	25	25	25	25	25	25	25										
混合物等	20	2	2	0	2	0	18	18	0	16	1	17	10	7	10	9	0	0	9	0	11										

(単位：千t/年)

表3-3 種類別処理・処分状況(特別管理産業廃棄物)【平成26年度】(その1)

区 分 種 類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量				
				再 生 利 用 量 (E1)	自 己 最 終 処 分 量 (E2)	委 託 中 間 処 理 量 (E3)	委 託 直 接 最 終 処 分 量 (E4)	そ の 他 量 (E5)	(G)	再 生 利 用 量 (G1)	自 己 最 終 処 分 量 (G2)	委 託 中 間 処 理 量 (G3)	委 託 直 接 最 終 処 分 量 (G4)	そ の 他 量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域 の内訳)			
																	県内	県外		
(E)	(D)	(E)	(E)	(E)	(E)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)							
合 計	43.8	1.0	42.8	12.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.4	1.4	28.5	0.4	0.1	30.0	30.0		
特別管理産業廃棄物計	43.8	1.0	42.8	12.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.4	1.4	28.5	0.4	0.1	30.0	30.0		
引火性廃油	7.4	1.0	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	6.2	0.0	0.0	6.2	6.2		
腐食性廃酸	15.1		15.1									15.1		15.1			15.1	15.1		
腐食性廃アルカリ	0.7		0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6		
感染性廃棄物	3.9		3.9									3.9	3.9	3.8	0.0	0.1	3.9	3.9		
特定有害産業廃棄物	16.6		16.6	12.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	4.4	1.2	2.8	0.4	0.0	4.1	4.1		
銻さい																				
廃石綿等	0.5		0.5									0.5	0.5	0.1	0.4	0.0	0.5	0.5		
ばいじん	0.0		0.0									0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
燃え殻	0.0		0.0									0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
廃油	13.7		13.7	12.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	1.5	1.2	0.3	0.0	0.0	1.2	1.2		
汚泥	1.3		1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3		
廃酸	0.9		0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9		
廃アルカリ	0.1		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1		
分類不能	0.0		0.0									0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
廃PCB等	0.1		0.1									0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1		
非特別産業廃棄物					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

(単位:千t/年)

表3-3 種類別の処理・処分状況(特別管理産業廃棄物)【平成26年度】(その2)

区 分 種 類	委託処理量		委託処理量の内訳				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生 利用量 (E1+G1+M1) (R)	最終処分量			その他 量		資源化 量		
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(M)	(処理後の処理内訳)			(Q) (H+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)			
			処理業者 自治体	県外	県内	県外		処理業者 自治体	県内	再生 利用量 (M1)	最終 処分量 (M2)												
													処理業者	自治体								県内	県外
29.9	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	29.5	29.5	6.2	15.1	6.2	12.2	17.4	9.5	7.2	2.3	8.6	2.7	0.0	2.7	0.1		
特別管理産業廃棄物計	29.9	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	29.5	29.5	6.2	15.1	6.2	12.2	17.4	6.3	6.1	0.1	7.6	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	8.2
引火性廃油	6.2						6.2	6.2	4.7	1.5	4.1	4.7	1.5	4.1	4.1		4.3						5.0
腐食性廃酸	15.1						15.1	15.1	1.2	13.9	0.8	1.2	13.9	0.8	0.8		0.8						0.8
腐食性廃アルカリ	0.6						0.6	0.6	0.4	0.2	0.1	0.4	0.2	0.1	0.1		0.1						0.1
感染性廃棄物	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	3.5	0.3	0.4	3.5	0.3	0.4	0.4		0.4						0.4
特定有害産業廃棄物	4.1	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	3.8	3.8	2.4	1.4	0.9	2.4	1.4	0.9	0.8	0.1	2.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	2.0
鉱さい																							
廃石綿等	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0
ばいじん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
燃え殻	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃油	1.2						1.2	1.2	1.0	0.3	0.1	1.0	0.3	0.1	0.1	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
汚泥	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃酸	0.9						0.9	0.9	0.9	0.0	0.2	0.1	0.8	0.2	0.2	0.0	0.2						0.2
廃アルカリ	0.1						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0						0.0
分類不能	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0										0.0
廃PCB等	0.1						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非特別産業廃棄物	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	1.0	2.2	1.0	2.2	2.2	1.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.1	1.4

(単位:千t/年)

表3-4 種類別の処理・処分状況(特別管理産業廃棄物:無変換)【平成26年度】(その1)

区 分 種 類	発生量		有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量	
	(A)	(B+C)			(E)	(D)	(自己中間処理後の処理内訳)				(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の 内訳)	
			再生 利用量 (E1)	自己 最終 処分量 (E2)			委託 中間 処理量 (E3)	委託 直接 最終 処分量 (E4)	その他 量 (E5)	再生 利用量 (G1)		自己 最終 処分量 (G2)	委託 中間 処理量 (G3)	委託 直接 最終 処分量 (G4)			その他 量 (G5)	県内
	(A)	(B+C)	(E)	(D)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	県内
合計	43.8	1.0	42.8	12.4	1.0	1.0	1.0	1.0	30.4	1.4	28.5	0.4	0.4	0.1	30.0			
特別管理産業廃棄物計	43.8	1.0	42.8	12.4	1.0	1.0	1.0	1.0	30.4	1.4	28.5	0.4	0.4	0.1	30.0			
引火性廃油	7.4	1.0	6.4	0.0					6.4	0.2	6.2				6.2			
腐食性廃酸	15.1		15.1						15.1		15.1				15.1			
腐食性廃アルカリ	0.7		0.7	0.2	0.0	0.0			0.6		0.6				0.6			
感染性廃棄物	3.9		3.9						3.9		3.8	0.0	0.0	0.1	3.9			
特定有害産業廃棄物	16.6		16.6	12.2	1.0	1.0			4.4	1.2	2.8	0.4	0.4	0.0	4.2			
銻さい																		
廃石綿等	0.5		0.5						0.5		0.1	0.4			0.5			
ばいじん	0.0		0.0						0.0		0.0	0.0			0.0			
燃え殻	0.0		0.0						0.0		0.0	0.0			0.0			
廃油	13.7		13.7	12.2	1.0	1.0			1.5	1.2	0.3				1.3			
汚泥	1.3		1.3	0.0	0.0	0.0			1.3		1.3	0.0	0.0		1.3			
廃酸	0.9		0.9	0.0	0.0	0.0			0.9		0.9				0.9			
廃アルカリ	0.1		0.1	0.0	0.0	0.0			0.1		0.1				0.1			
分類不能	0.0		0.0						0.0		0.0				0.0			
廃PCB等	0.1		0.1						0.1		0.1			0.0	0.1			
非特別産業廃棄物																		

(単位:千t/年)

表3-4 種類別の処理・処分状況(特別管理産業廃棄物:無変換)【平成26年度】(その2)

区 分 種 類	委託処理量		委託処理量の内訳				委託中間処理量				委託中間処理後量				再生 利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (H+O+M2)	事業者 自治体 処理業者 (Q1) (Q2) (Q3)			その他 量 (J) (E5+G5)	資源化 量 (S) (B+F)						
	(K) (O+L)	(O)	(処理主体 の内訳)		(処理先地域 の内訳)		(L)	(M)	(処理後の処理内訳)		(M1)	(M2)	(処理主体の内訳)														
			処理業者 自治体	県外	県内	県外			再生 利用量	最終 処分量			事業者	自治体			処理業者										
																		処理業者 自治体	県内			県外					
29.9	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	29.5	29.5	6.2	15.1	6.2	29.5	29.5	12.2	17.4	9.5	7.2	2.3	8.6	2.7	0.0	2.7	0.1	9.6			
特別管理産業廃棄物計	29.9	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	29.5	29.5	6.2	15.1	6.2	29.5	29.5	12.2	17.4	9.5	7.2	2.3	8.6	2.7	0.0	2.7	0.1	9.6		
引火性廃油	6.2									4.1	4.1	4.1			4.7	1.5	4.1	4.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	
腐食性廃酸	15.1									2.7	0.9	2.7			1.2	13.9	2.7	0.9	1.8	0.9	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.9	
腐食性廃アルカリ	0.6									0.1	0.1	0.1			0.4	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
感染性廃棄物	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8	0.8	0.4	0.4			3.5	0.3	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	
特定有害産業廃棄物	4.2	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	3.8	3.8	1.8	1.7	0.1			2.4	1.4	1.8	1.7	0.1	2.9	0.5	0.5	0.5	0.0	0.5	2.9	
鉱さい																											
廃石綿等	0.5	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1			0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
ばいじん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
燃え殻	0.0							0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃油	1.3							1.3	1.3	1.1	1.1	1.1			1.0	0.3	1.1	1.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	
汚泥	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	0.4	0.4	0.4			1.3	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	
廃酸	0.9							0.9	0.9	0.2	0.2	0.2			0.1	0.8	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
廃アルカリ	0.1							0.1	0.1	0.0	0.0	0.0			0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
分類不能	0.0							0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
廃PCB等	0.1							0.1	0.1	0.0	0.0	0.0			0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非特別産業廃棄物																											

(単位:千t/年)

表4-1 種類別処理・処分状況（南加賀地域）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己未処理後量				自己最終処分量				(処理先地域の内訳)				
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(G)	(H)	(I+K+J)	(I)	(E2+G2)	県内	県外								
																					(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)
																					(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)
種別	565	54	511	256	34	8	1	25	0	0	0	254	1	2	0	279	1	1										
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
汚泥	230	0	230	218	12	4	1	7	0	0	12	12	0	0	0	20	1	1										
有機性汚泥	191	0	191	190	8	3	1	5	0	0	1	1	0	0	0	7	1	1										
無機性汚泥	39	0	39	28	3	1	2	2	0	0	11	11	0	0	0	13												
廃油	18	1	17	12	1	1	1	1			5	5	0	0	0	6												
一般廃油	17	0	17	12	1	1	1	1			5	5	0	0	0	6												
廃溶剤	1	0	0								0	0	0	0	0	0												
固形油	0	0	0								0	0	0	0	0	0												
油でい	0	0	0								0	0	0	0	0	0												
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
廃酸	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	17	17	0	0	0	17												
廃アルカリ	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1												
廃プラスチック類	12	1	10	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	10												
廃プラスチック	11	1	10	0	0	0	0	0	0	0	10	10	0	0	0	9												
廃タイヤ	0	0	0								0	0	0	0	0	0												
紙くず	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	3												
木くず	12	1	11	1	1	1	1	1	0	0	10	10	0	0	0	11												
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
動植物性残さ	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0												
動物系固形不要物																												
ゴムくず	0	0	0								0	0	0	0	0	0												
金属くず	45	36	8	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	0	0	8												
ガラス陶磁器くず	18	0	18	7	5	1	4	4	0	0	12	12	1	1	0	16												
鉱さい	2	0	2								2	2	0	0	0	2												
がれき類	188	15	173	6	6	1	5	5	0	0	167	167	0	0	0	172												
コンクリート片	94	0	94	1	1	0	1	1	0	0	93	93	0	0	0	94												
廃アスファルト	87	15	72	5	5	1	4	4	0	0	67	67	0	0	0	71												
その他	7	0	7	0	0	0	2	2	0	0	7	7	0	0	0	7												
動物のふん尿	5	0	5	4	2	2	2	2	0	0	1	1	0	0	0	1												
動物の死体																												
ばいじん	1	0	1								1	1	0	0	0	1												
その他の産業廃棄物	12	0	12	7	7	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	12												
感染性廃棄物	1	0	1								1	1	0	0	0	1												
使用済自動車	7	0	7	7	7	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	7												
混合物等	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	4												

表4-1 種類別処理・処分状況（南加賀地域）【平成26年度】（その2）

区 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量 (B+R)
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	処理主体の内訳		(S)		
	業者		自治体			県内		県外			業者		自治体			県内		県外									(01)	(02)		(03)	
	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)					
(O+L)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)	(AL)			
合計	278	2	2	0	2	0	276	276	41	243	236	7	245	10	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	299			
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	5	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5			
汚泥	19	0	0	0	0	0	19	19	8	9	7	2	8	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
有機性汚泥	6	0	0	0	0	0	6	6	3	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
無機性汚泥	13	0	0	0	0	0	13	13	5	6	4	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5			
廃油	6	0	0	0	0	0	6	6	4	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
一般廃油	6	0	0	0	0	0	6	6	3	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃酸	17	0	0	0	0	0	17	17	3	14	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
廃アルカリ	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック類	10	0	0	0	0	0	9	9	7	2	7	6	1	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9			
廃プラスチック	9	0	0	0	0	0	9	9	7	2	7	6	1	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8			
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
紙くず	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
木くず	10	0	0	0	0	0	10	10	9	1	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10			
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属くず	8	0	0	0	0	0	8	8	8	1	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45			
ガラス陶磁器くず	16	1	1	0	1	0	15	15	2	13	14	1	15	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16			
鉱さい	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
がれき類	172	1	1	1	1	0	171	171	170	1	171	171	0	172	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	187			
コンクリート片	94	0	0	0	0	0	94	94	93	0	94	94	0	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94			
廃アスファルト	71	0	0	0	0	0	71	71	71	0	71	71	0	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86			
その他	7	0	0	0	0	0	6	6	6	0	7	6	0	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6			
動物のふん尿	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ばいじん	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
その他の産業廃棄物	12	0	0	0	0	0	12	12	8	4	11	9	2	9	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9			
感染性廃棄物	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
使用済自動車	7	0	0	0	0	0	7	7	7	0	7	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7			
混合物等	4	0	0	0	0	0	4	4	3	1	4	2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			

(単位：千t/年)

表4-3 種類別処理・処分状況（石川中央地域北部区（金沢市を除く））【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量										自己未処理量						搬出量		自己最終処分量		(処理先地域の内訳)	
				自己中間処理後量					自己未処理後量					再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	(自己未処理の処理内訳) 委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外			
				自己中間処理量 (D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)			自己最終 処分量 (E2)	(E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託直接 最終処分量 (E5)	その他量 (E6)												
						再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)																	
種別	249	3	246	129	55	47	0	8	0	0	0	0	117	0	114	3	0	0	125	0	0				
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
汚泥	73	73	72	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	2	0	0	0	6	6	0				
有機性汚泥	71	71	71	4	4	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	4	4	0				
無機性汚泥	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	2	2	0				
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃プラスチック類	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	2	0	0	5	5	0				
廃プラスチック	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	3	2	0	0	5	5	0				
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
木くず	6	0	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	0	5	0	0	0	5	5	0				
繊維くず	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0				
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
金属くず	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0	3	3	0				
ガラス陶磁器くず	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	1	0	0	4	4	0				
鉱さい	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	2	0				
がれき類	119	119	119	28	28	24	4	4	4	4	4	4	91	0	90	1	0	0	94	94	0				
コンクリート片	65	65	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0	64	0	0	0	65	65	0				
廃アスファルト	45	45	45	28	28	24	4	4	4	4	4	18	0	18	0	0	0	0	21	21	0				
その他	9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	8	1	0	0	0	9	9	0				
動物のふん尿	32	32	32	28	22	22	22	22	22	22	22	3	0	3	3	0	0	0	3	3	0				
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0				
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
使用済自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
混合物等	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0				

表4-3 種類別処理・処分状況（石川中央地域北部区（金沢市を除く））【平成26年度】（その2）

区 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量				最終処分量				その他量		資源化量 (B+R)								
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(M)	(R)	(Q)	(01)	(02)	(03)	(J)	(S)											
	業者		自治体			県内		県外			業者		自治体			県内		県外																					
	(K)	(O)	(L)	(M)	(N)	(M1)	(M2)	(E1+G1+M1)	(1+O+M2)	(E5+G5)																													
合計	125	3	2	1	3	0	117	4	118	4	116	113	3	159	6	0	2	4	162	0	0	0	0	0	0	0	0												
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
汚泥	6	0	0	0	0	0	6	2	4	6	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
有機性汚泥	4	0	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0										
無機性汚泥	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
一般廃油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
廃溶剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
固形油	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
油でい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
油付着物類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
廃プラスチック類	5	2	0	1	2	0	3	3	0	3	1	3	2	1	2	3	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃プラスチック	5	2	0	1	2	0	3	3	0	3	1	3	2	1	2	3	1	1	2	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
廃タイヤ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
木くず	5	0	0	0	0	0	5	5	0	5	0	4	4	0	5	0	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維くず	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属くず	3	0	0	0	0	0	3	3	2	0	3	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガラス陶磁器くず	4	1	1	0	1	0	4	4	0	3	0	4	3	0	3	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱さい	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	2	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
がれき類	94	1	1	1	1	1	94	94	93	0	94	93	0	117	1	1	1	1	117	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
コンクリート片	65	0	0	0	0	0	65	65	65	0	65	64	0	65	0	65	0	65	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
廃アスファルト	21	0	0	0	0	0	21	21	21	0	21	21	0	21	0	21	0	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	9	1	1	1	1	1	8	8	8	0	8	8	0	8	1	8	1	8	1	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
動物のふん尿	3	0	0	0	0	0	3	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染性廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
使用済自動車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
混合物等	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(単位：千t/年)

表4-4 種類別処理・処分状況（金沢市）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量				
				(A)	(B)	(C)	(D)	自己中間処理後量		自己中間処理後量		(E)	(F)	自己未処理量		自己未処理量		(H)	自己最終処分量	
								再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	再生利用量 (F1)	自己最終 処分量 (F2)			(G)	(G1)	（自己未処理の処理内訳）			(I)	(E2+G2)
																委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)			
(B+C)	(D)	(E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(F)	(F1)	(F2)	(F3)	(F4)	(F5)	(H)	(I)	(E2+G2)			
種別	1,142	19	1,123	594	49	36	4	0	0	528	0	7	1	569						
燃え殻	1		1		1		0	0	0	1		0	0	2						
汚泥	584		584	567	21	18	3	0	18	18		1	0	38						
有機性汚泥	568		568	561	20	17	3	0	7	7		1	0	27						
無機性汚泥	17		17	6	1	0	0	0	11	11		0	0	11						
廃油	4	0	4	0	0	0			4	4		0	0	4						
一般廃油	4	0	4	0	0	0			3	3		0	0	3						
廃溶剤	0		0						0	0		0	0	0						
固形油	0	0	0						0	0		0	0	0						
油でい	0	0	0						0	0		0	0	0						
油付着物類	0		0						0	0		0	0	0						
廃酸	1		1	0	0	0			1	1		0	0	1						
廃アルカリ	1		1	0	0	0			1	1		0	0	1						
廃プラスチック類	29	1	28	0	0	0	0	0	28	0		1	0	28						
廃プラスチック	27	1	26	0	0	0	0	0	26	0		1	0	26						
廃タイヤ	2		2	0	0	0			2	0		0	0	2						
紙くず	5	3	2	0	0	0			2	2		0	0	2						
木くず	23	3	20	1	1	0			20	0		0	0	20						
繊維くず	0		0	0	0	0			0	0		0	0	0						
動植物性残さ	6	0	6	0	0	0		0	6	0		0	0	6						
動物系固形不要物	0		0						0	0		0	0	0						
ゴムくず	0		0						0	0		0	0	0						
金属くず	28	12	16	0	0	0			16	0		0	0	16						
ガラス陶磁器くず	69		69	2	2	2	0	0	67	0		0	0	69						
鉱さい	0		0						0	0		0	0	0						
がれき類	374	0	374	21	21	16			352	0		3	0	368						
コンクリート片	258		258	10	10	7			248	0		0	0	255						
廃アスファルト	84	0	84	11	11	8			74	0		0	0	82						
その他	31		31	0	0	0			31	0		3	0	31						
動物のふん尿	1		1	1	1	1			1	0		0	0	1						
動物の死体																				
ばいじん	1		1						1	0		1	0	1						
その他の産業廃棄物	15	0	14	3	3	0			12	0		0	0	12						
感染性廃棄物	2		2						2	0		0	0	2						
使用済自動車	4		4	3	3				2	0		2	0	2						
混合物等	8	0	8	0	0	0			8	0		0	0	8						

(単位：千t/年)

表 4-4 種類別処理・処分状況（金沢市）【平成26年度】（その2）

区 種 類	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (B+R)
	委託直接最終処分量 (処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(委託処理後の処理内訳)					(R) (E1+G+M1)	(Q) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)				
	業者		自治体			県内		県外			業者		自治体			県内		県外					(O1) (01)	(O2) (02)		(O3) (03)			
	(K) (O+L)	(O)	(L)	(M)	(N)	(M1)	(M2)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)	(M)									
合計	568	11	6	5	10	0	557	547	11	541	17	518	499	19	509	29	6	23	1	528									
燃え殻	2	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	7	3	4	3	8	6	2	0	3									
汚泥	38	4	1	3	4	0	34	24	10	31	3	10	8	2	8	3	0	2	0	8									
有機性汚泥	26	3	1	3	3	0	23	13	10	21	2	5	4	2	4	2	4	2	0	4									
無機性汚泥	11	1	0	0	1	0	11	11	10	10	1	4	4	0	5	1	0	0	5										
廃油	4						4	4	0	1	3	2	2		2				2										
一般廃油	3						3	3	0	1	2	2	2		2				2										
廃溶剤	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
固形油	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
油でい	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
油付着物類	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
廃酸	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0		0				0										
廃アルカリ	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0		0				0										
廃プラスチック類	28	1	0	0	1	0	27	27	0	26	1	16	14	2	14	3	0	2	0	15									
廃プラスチック	26	1	0	0	1	0	25	25	0	24	1	14	12	2	12	3	0	2	0	13									
廃タイヤ	2						2	2	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2									
紙くず	2	0	0	0	2	0	2	2	2	2	0	2	2	2	2	2				5									
木くず	20	0	0	0	0	0	20	20	19	19	1	17	17	0	17	0	0	0	0	20									
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				0										
動植物性残さ	6	0	0	0	0	0	6	6	0	1	5	5	5		5				0	5									
動物系固形不要物	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
ゴムくず	0						0	0	0	0	0	0	0		0				0										
金属くず	16	0	0	0	0	0	16	16	16	16	0	16	15	1	15	1	0	1	0	27									
ガラス陶磁器くず	69	0	0	0	0	0	69	69	69	69	1	69	66	3	66	3	0	3	0	66									
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0				0										
がれき類	368	3	3	3	3	0	365	365	364	364	1	365	360	5	365	9				365									
コンクリート片	255	0	0	0	0	0	255	255	254	254	1	255	255	1	257	1				257									
廃アスファルト	82	0	0	0	0	0	82	82	82	82	0	82	81	1	83	1				84									
その他	31	3	3	3	3	0	28	28	28	28	0	28	25	4	25	7				25									
動物のふん尿	1						1	1	1	1	1	0	0		1					1									
動物の死体																													
ばいじん	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0					0									
その他の産業廃棄物	11	0	0	0	0	0	11	11	11	11	0	9	6	3	8	3	0	3	0	9									
感染性廃棄物	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0		0					0									
使用済自動車	2						2	2	2	2	2	2	2		2					4									
混合物等	8	0	0	0	0	0	8	8	8	7	0	6	4	3	4	3	0	3	0	4									

(単位：千 t/年)

表4-6 種類別処理・処分状況（能登北部地域）【平成26年度】（その1）

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				自己最終処分量							
				(D)	(E)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E1)	(E2)	(E3)	(自己未処理の処理内訳)		(G1)	(G2)	(G3)	(自己最終処分の処理内訳)		(H)	(I) (E2+G2)				
						再生利用量	自己最終 処分量				委託中間 処理量	委託直接 最終処分量				その他量	再生利用量			自己最終 処分量	委託中間 処理量	委託直接 最終処分量	その他量
種別	226	1	225	102	50	46	3	0	0	0	0	123	2	119	1	1	124						
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
汚泥	47	47	47	46	2	0	1	0	0	0	2	1	0	1	1	3							
有機性汚泥	44	44	44	43	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	2							
無機性汚泥	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0							
廃油	2	0	1								1	0	0	1	1	1							
一般廃油	1	0	1								1	0	0	1	1	1							
廃溶剤	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
固形油	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
油でい																							
油付着物類	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
廃酸	0	0	0	0	0	0					0	0	0	0	0	0							
廃アルカリ	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
廃プラスチック類	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2							
廃プラスチック	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2							
廃タイヤ	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
紙くず	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
木くず	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	8	0	8							
繊維くず	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	8	0	8							
動植物性残さ	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
動物系固形不要物																							
ゴムくず																							
金属くず	2	1	2								2	2	0	2	0	2							
ガラス陶磁器くず	3		3								3	3	0	3	0	3							
鉢さい																							
がれき類	76		76	3	3	1	2				72	72	0	72	1	75							
コンクリート片	45		45	0	0	0	0				45	45	0	45	0	45							
廃アスファルト	28		28	3	3	1	2				25	25	0	25	0	27							
その他	2		2								2	2	1	1	1	2							
動物のふん尿	77		77	53	45	45					24	24	2	22		22							
動物の死体																							
ばいじん																							
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0	0	0				1	1	0	1	0	1							
感染性廃棄物	0	0	0								0	0	0	0	0	0							
使用済自動車																							
混合物等	0	0	0	0	0	0	0				0	0	0	0	0	0							

(単位：千t/年)

表5-1 業種別処理・処分状況（南加賀地域）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量			排出量 (H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)	
				(D)	(E)	(F)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H)	(I)		(J)	
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)					自己最終 処分量 (G2)
合計	565	54	511	256	34	8	1	25	0	0	254	1	251	2	0	279	1	1
農業、林業	5		5	4	2	2					1	0	1	0	0	1		
漁業																		
鉱業																		
建設業	209	15	193	7	7	1		6	0	186	0	185	1	0	192			
製造業	227	38	190	130	13	3		10	0	59	0	57	1	0	69			
食品	1		1	0	0			0	0	1	0	1	0	0	1			
飲料・飼料	0		0							0	0	0	0	0	0			
繊維	62	1	61	56	1			1		5	0	5	0	0	6			
木材	4	1	3							3		3		0	3			
家具	6	2	4	1	0			0		3		3		0	3			
ハルブ・紙	0	0	0							0		0		0	0			
印刷	4		4	1	0			0		2		2		0	2			
化学	3	1	3							3		3		0	3			
石油・石炭	0	0	0							0		0		0	0			
プラスチック	2	0	1	0	0	0		0		1		1		0	1			
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	26	0	26	6	5			5	0	20		19	1	0	24			
鉄鋼	9	7	2	0	0			0	0	2		2		0	2			
非鉄金属	4	4	0							0		0		0	0			
金属	7	4	3	0	0			0		3		2		0	2			
はん用機器	19	5	14	12	1			1		3		2		0	3			
生産用機器	15	6	9	3	0			0		6		6		0	6			
業務用機器	0	0	0							0		0		0	0			
電子部品	51	0	51	46	5	3		3		5		5		0	8			
電気機器	0		0							0		0		0	0			
情報通信機器	0		0							0		0		0	0			
輸送機器	14	7	7	5	1			1		3		2		0	3			
その他	0	0	0	0	0			0		0		0		0	0			
電気・水道業	107	0	107	107	4	1	1	2		0		0		0	3	1	1	
電気業																		
ガス業	0	0	0							0		0		0	0			
上水道業	6		6	6	1	1				0		0		0	0			
下水道業	101		101	101	3		1	2		0		0		0	3	1	1	
情報通信業																		
運輸業	1		1							1		1		0	1			
卸・小売業	5	1	5	1	1	1		1		4		4		0	4			
学術研究・専門サービス業	0		0	0	0			0		0		0		0	0			
飲食・宿泊業	1	0	1	0	0			0		1		1		0	1			
生活関連サービス業	0		0							0		0		0	0			
教育	0	0	0							0		0		0	0			
医療・福祉	1		1							1		1		0	1			
サービス業	0		0							0		0		0	0			
解体業・破砕前処理業	8	0	8	7	7			7		1		1		0	8			

表5-1 業種別処理・処分状況（南加賀地域）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量										最終処分量			その他量		資源化量 (単位：千t/年)
	委託直接最終処分量					委託中間処分量					(処理先地域の内訳)					委託中間処理後量					(O)	(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)	
	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	再生利用量		再生利用後の処理内訳		(01)	(02)	(03)									
	業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)														
(K) (O+L)	(O)	2	0	2	0	276	276	0	235	41	243	236	7	245	10	1	0	9	0	299						
農 業	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0						
林 業																										
漁 業																										
硫 業																										
建設業	192	1	1	0	191	191	0	189	2	189	186	3	187	3	0	3	0	3	0	203						
製造業	69	1	1	0	67	67	0	38	30	40	36	4	39	5	0	5	0	5	0	77						
食品	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
飲料・飼料																										
繊維	6	0	0	0	6	6	0	4	2	3	3	0	3	0	0	0	0	0	0	4						
木材	3				3	3		3	0	3	3		3							4						
家具	3				3	3		2	1	2	2		2							4						
ハルブ・紙	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
印刷	2				2	2		2	0	2	2		2							2						
化学	3				3	3		1	1	1	1		1							2						
石油・石炭	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
プラスチック	1				1	1		0	0	1	1		1							1						
ゴム																										
皮革																										
窯業・土石	24	1	1	0	23	23		8	15	10	8	2	8	3	0	3	0	3	0	8						
鉄鋼	2	0	0	0	2	2		1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8						
非鉄金属	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4						
金属	2				2	2		1	1	1	1		1							6						
はん用機器	3	0	0	0	3	3		1	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	7						
生産用機器	6	0	0	0	6	6		5	1	5	4	0	4	0	0	0	0	0	0	11						
業務用機器	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
電子部品	8				8	8		5	3	4	4	0	7	0	0	0	0	0	0	0						
電気機器	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
情報通信機器	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
輸送機器	3	0	0	0	3	3		3	1	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	9						
その他	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
電気・水道業	2	0	0	0	2	2		1	1	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2						
電気業																										
ガス業	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
上水道業	0				0	0		0	0	0	0		1							1						
下水道業	2				2	2		1	1	1	1		1							1						
情報通信業																										
運輸業	1				1	1		1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1						
卸・小売業	4	0	0	0	4	4		3	1	3	3	0	4	0	0	0	0	0	0	5						
学術研究・専門サービス業	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
飲食・宿泊業	1	0	0	0	1	1		0	0	0	0		0							0						
生活関連サービス業	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
教育	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
医療・福祉	1	0	0	0	1	1		1	0	0	0		0							0						
サービス業	0				0	0		0	0	0	0		0							0						
解体業・破砕前処理業	8				8	8		1	7	7	7		8	8	0	0	0	0	0	8						

表5-2 業種別処理・処分状況（石川中央地域南部区（金沢市を除く））【平成26年度】（その1）

区分 業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+6)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量							
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E5)	(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	自己最終 処分量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	県内	県外	
																					(E)
合計	403	22	381	163	34	12	9	9	21	1	0	218	3	1	2	0	0	237	0	0	
農業、林業	13		13	10	9																
漁業																					
鉱業																					
建設業	163	1	162	12	11				11	0	0	151		0	148	1	2	161			
製造業	96	20	75	33	5	0	0	0	4	0	0	42	2	2	39	1	0	45	0	0	
食品	4	1	4	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2			
飲料・飼料	0		0									0			0			0			
繊維	18	2	16	15	2				2	0		1			1			3			
木材	2	0	1	0	0				0	0		1			1		0	1	0	0	
家具	0	0	0									0			0			0			
ハルブ・紙	2	0	2	2	0				0	0		0			0			1			
印刷	4	3	1									1			1			1			
化学	31	1	31	13	1				1		0	18	2	2	16	0		17			
石油・石炭																					
プラスチック	0	0	0									0			0			0			
ゴム	0		0									0			0			0			
皮革																					
窯業・土石	4		4	2	1				1			1	0	0	1	1		2			
鉄鋼	0		0									0			0			0			
非鉄金属	5	4	1									1	1	0	1	0		1			
金属	1	0	0									0			0			0			
はん用機器	1	0	0									0			0			0			
生産用機器	11	6	6									6	0	0	6	0		6			
業務用機器	1	1										1			1			1			
電子部品	0	0	0									0			0			0			
電気機器	2	0	2									2			2	0		2			
情報通信機器	2	2	0									0			0			0			
輸送機器	6	0	6									6			6			6			
その他	0		0									0			0			0			
電気・水道業	101		101	100	4				3	0		2			0		1	5			
電気業																					
ガス業																					
上水道業	5		5	5	1				1			0			0		0	1			
下水道業	97		97	95	3				3	0		1					1	4			
情報通信業	0		0									0			0			0			
運輸業	4	0	4	2	2				0			1			0		0	2			
卸・小売業	4	4	0	0	0							4	0	0	4	0	0	4			
学術研究・専門サービス業	0		0									0			0			0			
飲食・宿泊業	0		0									0			0			0			
生活関連サービス業	0		0									0			0			0			
教育	0		0									0			0			0			
医療・福祉	0		0									0			0			0			
サービス業	1	0	0	0	0				0			0			0			0			
解体業・破砕前処理業	21	0	20	5	3				3			15	0	0	15		0	17			

(単位：千t/年)

表5-2 業種別処理・処分状況（石川中央地域南部区（金沢市を除く））【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	委託直接最終処分量			委託先地域の内訳			(L)	委託中間処理量			委託先地域の内訳		(M)	再生利用後の処理内訳		(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)										
		(O)	業者		県内	県外	業者		自治体	県内	県外	(M1)	再生利用量		(O2)	(O3)															
			(K)	自治体			業者						自治体						業者	自治体		(M2)	(O1)	(O2)	(O3)						
(O+L)	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	自治体	業者	県内	県外	(O)	(O1)	(O2)	(O3)	(J)						
合計	233	2	2	2	0	231	228	3	203	28	205	200	1	1	0	215	8	0	0	0	0	8	0	0	4	237					
農業、林業	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11					
漁業																															
鉱業																															
建設業	160	1	1	1	0	159	158	0	158	1	154	150	3	150	4	150	4	0	0	0	4	2	4	2	151						
製造業	45	1	1	1	0	43	43	0	33	10	25	24	1	25	3	25	3	0	0	0	3	0	3	0	46						
食品	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
飲料・飼料																															
繊維	3	0	0	0	0	3	3	0	1	2	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
木材	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ハルブ・紙	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
印刷	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
化学	17	0	0	0	0	17	17	0	13	4	5	5	0	7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	8						
石油・石炭																															
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
皮革																															
窯業・土石	2	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1					
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
非鉄金属	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5						
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
生産用機器	6	0	0	0	0	6	6	0	4	2	4	4	0	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
業務用機器	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電気機器	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
輸送機器	6	0	0	0	0	6	6	0	6	0	5	5	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電気・水道業	4	0	0	0	0	4	4	1	3	4	3	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
電気業																															
ガス業																															
上下水道業	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
下水道業	3	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
運輸業	2	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
卸・小売業	4	0	0	0	0	4	4	0	3	1	3	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
解体業・破砕処理業	17					17	17		16	1	17	17		17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0						

(単位：千t/年)

表5-3 業種別処理・処分状況（石川中央地域北部区（金沢市を除く））【平成26年度】（その1）

区 業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+6)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				
				(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)		
																	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)
合計	249	3	246	129	55	47	0	8	0	117	0	114	3	0	0	125	0	0
農業、林業	33		33	28	22	22				4		4	0	0	4			
漁業																		
鉱業																		
建設業	113	1	112	6	6	2	0	4	0	106	0	103	3	0	110	0	0	
製造業	31	2	29	24	23	23	0	0	0	6	0	6	0	0	6	0	0	
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石油・石炭	23		23	23	23	23												
プラスチック																		
ゴム	0		0							0		0			0			
皮革	0		0															
窯業・土石	0		0							0		0			0			
鉄鋼	2		2							2		2			2			
非鉄金属	0		0							0		0			0			
金属	1		1	1	0	0				0		0			0			
はん用機器	0		0							0		0			0			
生産用機器	1		1							1		1			1			
業務用機器	0		0							0		0			0			
電子部品	0		0							0		0			0			
電気機器	0		0							0		0			0			
情報通信機器	1		1							1		1			1			
輸送機器	0		0							0		0			0			
その他	1		1							1		1			1			
電気・水道業	71		71	71	4	4									4			
電気業																		
ガス業																		
上下水道業																		
下水道業	71		71	71	4	4									4			
情報通信業	0		0							0		0			0			
運輸業	0		0							0		0			0			
卸・小売業	0		0							0		0			0			
学術研究・専門サービス業	0		0							0		0			0			
飲食・宿泊業	0		0							0		0			0			
生活関連サービス業	0		0							0		0			0			
教育	0		0							0		0			0			
医療・福祉	1		1							1		1			1			
サービス業	0		0							0		0			0			
解体業・破砕前処理業	0		0							0		0			0			

(単位：千t/年)

表5-4 業種別処理・処分状況（金沢市）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E+G)	自己中間処理後量				自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				(処理先地域の内訳) 県内 県外
				再生利用量 (E1)	自己中間処理後の処理内訳			再生利用量 (G1)	自己未処理の処理内訳			再生利用量 (G)	自己未処理の処理内訳			再生利用量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (1) (E2+G2)			
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)		自己最終 処分量 (H)	委託中間 処理量 (I)	委託直接 最終処分量 (K)					
																		その他量 (E5)	その他量 (G5)	
合計	1,142	19	1,123	49	594	9	36	4	0	528	0	521	7	1	569					
農業、林業	2		2	1	1	1				1	0	1	0	0	1					
漁業	0		0							0		0			0					
鉱業	0		0							0		0			0					
建設業	477	11	466	22	22	5	17	0	445	0	440	4	461							
製造業	112	8	104	70	8	0	5	2	34	0	33	1	42							
食品	9	0	9	0	0	0	0	0	8	0	8	0	9							
飲料・飼料	0		0						0		0		0		0					
繊維	4	0	4	3	0			0	1		1		1		1					
木材	0		0	0	0			0	0		0		0		0					
家具	0		0	0	0			0	0		0		0		0					
ハルブ・紙	65	0	65	63	5		3	2	2		1	1	6							
印刷	4	3	1						1		1	0	1		1					
化学	0		0						0		0		0		0					
石油・石炭	0		0	0	0				0		0		0		0					
プラスチック	1	0	0	0	0				0		0		0		0					
ゴム	0		0	0	0				0		0		0		0					
皮革																				
窯業・土石	7		7	2	2		2	0	5		5	0	7							
鉄鋼	0		0						0		0		0		0					
非鉄金属	0		0						0		0		0		0					
金属	14	1	13	1	0		0		13		13	0	13							
はん用機器	0		0						0		0		0		0					
生産用機器	3	2	1						1		1		1		1					
業務用機器	1	0	1	0	0		0	0	1		1		1		1					
電子部品	0		0	0	0				0		0		0		0					
電気機器	0		0						0		0		0		0					
情報通信機器																				
輸送機器	1	0	1	0	0		0		1		1		1		1					
その他	0		0	0	0		0		0		0		0		0					
電気・水道業	503	0	502	499	16	1	14	2	3		3	0	0	0	19					
電気業	1	0	1						1		1		1		1					
ガス業	0		0						0		0		0		0					
上水道業	5		5	5	1	1			0		0		0		0					
下水道業	496		496	494	16		14	2	2		2	0	0	0	18					
情報通信業	0		0						0		0		0		0					
運輸業	3	0	3						3		3	0	0	0	3					
卸・小売業	21	0	21						21		21	0	0	0	21					
学術研究・専門サービス業	0		0						0		0		0		0					
飲食・宿泊業	1	0	1						1		1		1		1					
生活関連サービス業	3		3						3		3		3		3					
教育	2	2	0	0			0		2		2		2		2					
医療・福祉	5		5						5		5		5		5					
サービス業	9	0	9	0	0		0		9		9		9		9					
解体業・破砕前処理業	5	0	5	3	3	3			2		2		2		2					

(単位：千t/年)

表5-4 業種別処理・処分状況（金沢市）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (B+R)
	委託直接最終処分量					委託中間処理量					(処理先地域の内訳)					(委託処理後の処理内訳)					(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)				
	(K) (O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	再生利用量		最終処分量		(01)	(02)	(03)											
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)	(0)	(0)														
合計	568	11	6	5	10	0	557	547	11	541	17	518	499	19	509	29	6	23	1	528									
農業、林業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1									
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
建設業	461	4	4	0	4	0	457	457	0	453	4	448	437	11	442	16	0	15	0	453									
製造業	42	4	2	2	4	0	38	37	1	29	8	33	32	1	32	5	2	3	0	40									
食品	9	0	0	0	0	0	8	8	0	3	5	6	6	0	6	0	0	0	0	6									
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
繊維	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
ハルブ・紙	6	3	1	2	3	0	4	4	0	2	1	4	4	0	4	3	2	1	0	4									
印刷	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
窯業・土石	7	0	0	0	0	0	7	7	0	7	0	7	7	0	7	0	0	0	0	7									
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
金属	13	0	0	0	0	0	13	13	0	12	0	12	12	0	12	0	0	0	0	13									
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
生産用機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
業務用機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
輸送機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
電気・水道業	19	2	0	2	2	0	17	7	10	17	0	5	1	4	2	5	4	2	0	2									
ガス業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
下水道業	18	2	0	2	2	0	16	6	10	16	0	4	0	4	0	5	4	2	0	1									
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
運輸業	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	3	3	0	3	0	0	0	0	3									
卸・小売業	21	0	0	0	0	0	21	21	0	17	3	14	13	1	13	1	1	0	0	13									
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
飲食・宿泊業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1									
生活関連サービス業	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3									
教育	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2									
医療・福祉	5	0	0	0	0	0	5	5	0	5	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5									
サービス業	9	0	0	0	0	0	9	9	0	9	0	8	8	0	8	0	0	0	0	9									
解体業・破砕前処理業	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	2									

(単位：千t/年)

表 5-5 業種別処理・処分状況（能登中部地域）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量			排出量		自己最終処分量		
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H)	(I)	(J)	(K)	(L)		
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)			委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)						再生利用量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)
合計	907	124	783	307	137	48	4	83	2	0	477	7	1	465	3	0	0	559	5	5
農業、林業	49	0	49	40	23	23	0	0	0	0	9	0	0	9	0	0	0	9	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	50	0	50	50	13	13	0	2	0	0	158	6	0	150	2	0	0	154	0	0
建設業	172	1	171	13	13	11	0	1	2	0	18	0	0	18	1	0	0	22	0	0
製造業	56	8	48	30	4	1	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
食品	8	0	8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0
木材	15	0	15	15	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	5	0	5	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0
鉄鋼	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0
非鉄金属	5	3	3	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0
金属	8	2	6	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0
はん用機器	5	1	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0	0
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電子部品	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	4	0	0
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・水道業	571	112	458	173	83	79	4	79	0	0	286	1	1	283	0	0	0	367	5	5
電気業	499	112	386	102	77	73	4	73	0	0	284	1	1	283	0	0	0	361	5	5
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	72	0	72	71	6	6	0	6	0	0	1	1	0	0	0	0	0	6	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	2	0	2	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療・福祉	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体業・破砕前処理業	3	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0

(単位：千t/年)

表5-6 業種別処理・処分状況（能登北部地域）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+6)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内 県外				
				自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の処理内訳)		委託中間 処理量 (H)	委託直接 最終処分量 (H)	その他量 (H)							
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)								自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)
合計	226	1	225	102	50	46	3	0	0	123	2	119	1	1	22	0	0	0	0	22	0	0		
農業、林業	77	0	77	53	45	45				24	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
漁業	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱業	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
建設業	95	0	95	3	3	1	2	0	0	92	0	91	1	0	94	0	0	0	0	94	0	0	0	
製造業	8	1	7	2	0	0	0	0	0	5	0	5	0	0	5	0	0	0	0	5	0	0	0	
食品	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
繊維	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
木材	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家具																								
ハルブ・紙																								
印刷	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石油・石炭	0	0	0	0	0	0				0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
プラスチック																								
ゴム																								
皮革																								
窯業・土石	2		2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
鉄鋼																								
非鉄金属																								
金属	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
はん用機器	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生産用機器																								
業務用機器																								
電子部品	4	1	3	1	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
電気機器	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信機器																								
輸送機器	1	0	1	1	0	0				1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気・水道業	44		44	44	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
電気業																								
ガス業																								
上水道業	1		1	1	0	0				0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	44		44	43	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
情報通信業																								
運輸業	0		0																					
卸・小売業	1	0	0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術研究・専門サービス業	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊業	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業																								
教育																								
医療・福祉	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業	0		0							0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体業・破砕前処理業																								

(単位：千 t / 年)

表 6-1 業種別処理・処分状況（全種類）【平成26年度】（その1）

業種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+6)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				(単位：千t/年)	
				排出量 (D)	自己中間処理後量		再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)		再生利用量 (G1)	自己未処理量		再生利用量 (G1)	自己最終処分量		排出量 (H) (I+K+J)			
					(E)	(E)		(E)	(E)		(E)	(E)		(E)	(E)		(E)		(E)
合計	3,491	222	3,269	1,552	359	170	5	177	7	0	1,717	13	1	1,680	18	5	1,893	6	6
農 業	179	0	179	136	101	101	0	0	0	0	43	3	0	39	0	0	39	0	0
漁 業	50	0	50	50	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	1,230	29	1,201	64	63	21	0	42	0	1,137	6	0	0	1,117	12	2	1,172	0	0
製造業	530	76	454	289	53	27	0	21	5	164	2	0	0	157	4	1	189	0	0
食品	22	1	21	8	2	1	0	1	0	13	0	0	0	13	0	0	14	0	0
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維	87	3	84	75	4	4	0	4	0	9	0	0	0	9	0	0	13	0	0
木材	21	1	20	15	2	0	0	0	2	5	0	0	0	4	0	1	7	0	0
家具	7	3	5	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	4	0	0
ハルブ・紙	68	0	67	65	5	3	2	3	2	2	0	0	0	1	1	0	8	0	0
印刷	12	6	5	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	4	0	0
化学	35	1	34	13	1	0	0	1	0	21	2	0	0	19	0	0	20	0	0
石油・石炭	23	0	23	23	23	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック	4	1	2	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窯業・土石	44	0	44	15	8	8	0	8	0	29	0	0	0	27	2	0	37	0	0
鉄鋼	13	7	6	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	5	0	0
非鉄金属	14	11	3	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0
金属	31	8	23	6	1	0	0	0	0	17	0	0	0	17	0	0	17	0	0
はん用機器	25	6	19	12	1	1	0	1	0	8	0	0	0	7	1	0	8	0	0
生産用機器	31	14	17	3	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14	0	0	14	0	0
業務用機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0
電子部品	59	1	58	47	6	3	0	3	0	11	0	0	0	11	0	0	14	0	0
電気機器	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0
情報通信機器	3	2	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
輸送機器	23	7	15	5	1	0	0	1	0	11	0	0	0	10	0	0	11	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
電気・水道業	1,397	113	1,284	993	112	2	5	104	2	292	1	1	1	286	0	3	401	6	6
電気業	500	113	387	102	77	4	0	73	0	285	0	0	0	284	0	0	362	5	5
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下水道業	16	0	16	16	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	881	0	881	875	33	0	1	30	2	0	6	1	0	2	0	3	37	1	1
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	9	0	8	2	2	2	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	6	0	0
卸・小売業	33	1	32	2	2	1	0	1	0	30	0	0	0	30	0	0	31	0	0
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食・宿泊業	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
生活関連サービス業	3	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0
教 育	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0
医療・福祉	9	0	9	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	9	0	0	9	0	0
サービス業	11	0	10	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	0	0	10	0	0
解体業・破砕前処理業	36	3	33	14	12	3	0	9	0	19	0	0	0	19	0	0	28	0	0

表 6-1 業種別処理・処分状況（全種類）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量										委託先地域の内訳				再生利用量				最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)		
	(K) (O+L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)		(X)		(Y)							
	業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種		業種					
	(O)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	(AC)	(AD)	(AE)	(AF)	(AG)	(AH)	(AI)	(AJ)	(AK)	(AL)	(AM)	(AN)						
合計	1,882	25	19	6	24	1	1,857	1,839	18	1,401	456	1,720	1,682	39	1,865	69	6	9	55	6	2,087															
農 業	39	0	0	0	0	0	39	39	0	39	0	31	30	1	135	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
林 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
漁 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
建設業	1,171	12	11	2	12	1	1,158	1,158	0	1,150	9	1,128	1,107	21	1,134	34	0	2	32	2	1,163															
製造業	188	9	7	2	9	1	178	177	1	115	63	120	113	7	142	17	0	2	14	1	217															
食品	14	0	0	0	0	0	14	13	1	7	7	10	10	0	10	0	0	0	0	0	11															
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
繊維	13	0	0	0	0	0	12	12	0	7	5	7	7	0	7	0	0	0	0	0	11															
木材	6	2	2	0	2	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	0	5															
家具	4	0	0	0	0	0	4	4	0	2	2	3	3	1	3	1	0	0	0	0	4															
ハルブ・紙	8	3	1	2	3	0	4	4	0	3	2	4	4	0	4	0	0	0	0	0	10															
印刷	4	0	0	0	0	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	0	10															
化学	20	0	0	0	0	0	20	20	0	15	5	7	7	0	8	0	0	0	0	0	10															
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	23															
プラスチック	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3															
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
窯業・土石	37	2	2	0	2	0	35	35	0	19	16	20	17	3	17	5	0	0	5	0	17															
鉄鋼	5	0	0	0	0	0	5	5	0	1	4	4	4	0	4	0	0	0	0	0	11															
非鉄金属	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	3	3	0	3	0	0	0	0	0	14															
金属	17	0	0	0	0	0	17	17	0	15	3	14	14	1	14	1	0	0	0	0	22															
はん用機器	8	1	1	0	0	0	8	8	0	4	4	6	6	0	6	1	0	0	1	0	12															
生産用機器	14	0	0	0	0	0	14	14	0	11	3	10	10	0	10	0	0	0	0	0	23															
業務用機器	2	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1															
電子部品	14	0	0	0	0	0	14	14	0	8	6	7	7	0	9	0	0	0	0	0	11															
電気機器	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	2															
情報通信機器	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3															
輸送機器	11	0	0	0	0	0	11	11	0	9	2	9	9	0	9	0	0	0	0	0	16															
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1															
電気・水道業	392	2	0	2	2	0	390	373	17	40	350	369	364	5	367	13	6	4	3	3	480															
ガス業	357	0	0	0	0	0	357	357	0	11	347	357	357	0	357	0	5	5	0	0	470															
下水道業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
下水道業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
下水道業	34	2	0	2	2	0	32	15	17	28	4	11	7	5	8	7	1	4	2	3	8															
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
運輸業	6	0	0	0	0	0	6	6	0	6	0	6	6	0	7	0	0	0	0	0	7															
運輸業	31	0	0	0	0	0	31	31	0	25	6	23	21	2	22	2	0	0	2	0	23															
卸・小売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
飲食・宿泊業	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1															
生活関連サービス業	3	0	0	0	0	0	3	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0															
教育	2	0	0	0	0	0	2	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0															
医療・福祉	9	0	0	0	0	0	9	9	0	7	2	4	2	1	2	1	0	0	0	0	2															
サービス業	10	0	0	0	0	0	10	10	0	9	1	9	9	0	9	0	0	0	0	0	9															
解体業・破砕処理業	28	0	0	0	0	0	28	28	0	5	23	28	28	0	31	0	0	0	0	0	0															

(単位：千 t/年)

表 6-2 業種別処理・処分状況（燃え殻）【平成26年度】（その1）

(単位：千t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己未処理の処理内訳				排出量		自己最終処分量	
				(D)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E5)	(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外			
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)					自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)
合計	47	22	25					25	1	24	0	0	0	25	1	1					
農業、林業																					
漁業																					
鉱業																					
建設業	0		0					0		0	0	0	0								
製造業	0		0					0		0	0	0	0								
食品	0		0					0		0	0	0	0								
飲料・飼料																					
繊維	0		0					0		0	0	0	0								
木材																					
家具	0		0					0		0	0	0	0								
ハルブ・紙																					
印刷																					
化学																					
石油・石炭																					
プラスチック																					
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石	0		0					0		0	0	0	0								
鉄鋼																					
非鉄金属																					
金属	0		0					0		0	0	0	0								
はん用機器																					
生産用機器	0		0					0		0	0	0	0								
業務用機器	0		0					0		0	0	0	0								
電子部品																					
電気機器																					
情報通信機器																					
輸送機器																					
その他																					
電気・水道業	46	22	24					24	1	23	0	0	0	24	1	1					
電気業	46	22	24					24	1	23	0	0	0	24	1	1					
ガス業																					
上水道業																					
下水道業																					
情報通信業																					
運輸業	0		0					0		0	0	0	0								
卸・小売業	0		0					0		0	0	0	0								
学術研究・専門サービス業																					
飲食・宿泊業																					
生活関連サービス業	0		0					0		0	0	0	0								
教育	0		0					0		0	0	0	0								
医療・福祉																					
サービス業	0		0					0		0	0	0	0								
解体業・破砕前処理業																					

表 6-3 業種別処理・処分状況（汚泥）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E+G)	自己中間処理後量			自己中間処理量			自己未処理量			自己最終処分量			(処理先地域の内訳) 県内 県外		
				再生利用量 (E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)		再生利用量 (G1)	(自己未処理の処理内訳)				
					自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)		自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)		自己最終 処分量 (H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)
合計	1,338	74	1,265	1,209	73	18	5	46	5	0	55	1	49	2	3	109	5	5
農業、林業																		
漁業																		
鉱業	50		50	50	13	13												
建設業	26		26	0	0	0		0			26		26	0		26		
製造業	246	1	245	226	20	3		14	3		19		17	1		36		
食品	8		8	5	1			1			2		2	0		3		
飲料・飼料	0		0								0		0	0		0		
繊維	75		75	75	4			4	0		0		0	0		4		
木材																		
家具	1		1	0	0			0			0		0			0		
ハルブ・紙	64		64	64	5			3	2		0		0	0		5		
印刷	1		1	1	0			0			0		0	0		0		
化学	14	0	14	13	1			1			1		1			3		
石油・石炭																		
プラスチック	0		0								0		0			0		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	11		11	7	2			1	0		4		3	0		5		
鉄鋼	1		1	0	0			0			1		1	0		1		
非鉄金属	3	1	2	2							2		2			2		
金属	7		7	6	1			0	0		1		1			2		
はん用機器	13		13	12	1			1			1		1	0		2		
生産用機器	4		4	3	0			0			2		2	0		2		
業務用機器	0		0								0		0	0		0		
電子部品	37		37	35	5			2			3		3			5		
電気機器	0		0								0		0			0		
情報通信機器	0		0								0		0			0		
輸送機器	5		5	5	1			1			1		1	0		2		
その他	0		0	0	0			0			0		0			0		
電気・水道業	1,011	73	938	932	39	2	5	31	2	0	6	1	2	0	3	42	5	5
電気業	114	73	41	41	4			4			0		0	0		4	4	4
ガス業																		
上下水道業	16		16	16	2			1	0		0		0	0		1		
下水道業	881		881	875	33	0	1	30	2	0	6	1	2	0	3	37	1	1
情報通信業	0		0								0		0	0		0		
運輸業	0		0								0		0	0		0		
卸・小売業	2		2	1	1			1			1		1			2		
学術研究・専門サービス業	0		0								0		0	0		0		
飲食・宿泊業	0		0								0		0	0		0		
生活関連サービス業	0		0								0		0	0		0		
教育	0		0								0		0	0		0		
医療・福祉	2		2								2		2	0		2		
サービス業	0		0								0		0	0		0		
解体業・破砕前処理業																		

(単位：千 t / 年)

表 6-4 業種別処理・処分状況（廃油）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己未処理の処理内訳				排出量		自己最終処分量	
				(D)	(E)	(F)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)												
合計	37	3	34	13	1	0	0	1	0	0	21	2	19	0	0	20					
農業、林業																					
漁業	0		0								0		0								
鉱業																					
建設業	0		0	0	0																
製造業	30	2	27	13	1	0	1	15	2	0	13	0	0	0	14						
食品	0	0	0	0	0	0															
飲料・飼料																					
繊維	1	0	1								1		0								
木材																					
家具	0	0	0								0		0								
ハルブ・紙	1			1	0						0		0								
印刷	0		0																		
化学	8	1	7	0	0	0					7	2	6	0	6						
石油・石炭	0		0								0		0		0						
プラスチック	0		0								0		0		0						
ゴム	0		0								0		0		0						
皮革	0		0								0		0		0						
窯業・土石	0		0								0		0		0						
鉄鋼	0		0								0		0		0						
非鉄金属	0		0								0		0		0						
金属	1	0	1								1		1		1						
はん用機器	1	0	1								1		1		1						
生産用機器	2	0	2	0	0	0					0		0		0						
業務用機器	0	0	0								0		0		0						
電子部品	13	0	13	12	1						1		1		2						
電気機器	0	0	0								0		0		0						
情報通信機器	0	0	0								0		0		0						
輸送機器	2	0	2								2		2		2						
その他	0		0								0		0		0						
電気・水道業	0	0	0								0		0		0						
電気業	0	0	0								0		0		0						
ガス業	0		0								0		0		0						
上水道業	0		0								0		0		0						
下水道業	0		0								0		0		0						
情報通信業																					
運輸業	0		0								0		0		0						
卸・小売業	4	0	4								4	0	4		4						
学術研究・専門サービス業	0		0								0		0		0						
飲食・宿泊業	1	0	1	0	0						1		1		1						
生活関連サービス業	0		0								0		0		0						
教育	0		0								0		0		0						
医療・福祉	0		0								0		0		0						
サービス業	1	0	1	0	0	0					1	0	1		1						
解体業・破砕前処理業	0	0	0								0		0		0						

表 6-5 業種別処理・処分状況（廃酸）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			（処理先地域の内訳）				
				自己中間処理量 (D)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (E1)	（自己未処理の処理内訳）			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
										(E)	(E)	(E)									
合計	21	2	19	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0	0	0	19	19				
農業、林業																					
漁業																					
鉱業																					
建設業	0		0							0					0	0					
製造業	21	2	19	0	0	0	0	0	0	19	19	0	0	0	19	19					
食品	0		0							0					0	0					
飲料・飼料	0		0							0					0	0					
繊維	1		1							1					1	1					
木材																					
家具																					
ハルブ・紙	0		0							0					0	0					
印刷	0		0							0					0	0					
化学	0		0							0					0	0					
石油・石炭																					
プラスチック																					
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石	13		13							13	13				13	13					
鉄鋼	1		1							1	1				1	1					
非鉄金属	2	2	0							0	0				0	0					
金属	0		0							0	0				0	0					
はん用機器	0		0							0	0				0	0					
生産用機器	0		0							0	0				0	0					
業務用機器	0		0							0	0				0	0					
電気機器	2		2							2	2				2	2					
電子部品	0		0							0	0				0	0					
電気機器	0		0							0	0				0	0					
情報通信機器	0		0							0	0				0	0					
輸送機器	1	0	1							1	1				1	1					
その他																					
電気・水道業	0		0							0	0				0	0					
電気業																					
ガス業																					
上水道業	0		0							0	0				0	0					
下水道業	0		0							0	0				0	0					
情報通信業																					
運輸業	0		0							0	0				0	0					
卸・小売業	0		0							0	0				0	0					
学術研究・専門サービス業	0		0							0	0				0	0					
飲食・宿泊業																					
生活関連サービス業																					
教育	0		0							0	0				0	0					
医療・福祉	0		0							0	0				0	0					
サービス業																					
解体業・破砕前処理業																					

（単位：千 t / 年）

表 6-6 業種別処理・処分状況（廃アルカリ）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量								
				(D)	(E)	(F)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)					
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)			その他 (E5)	再生利用量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)		委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	県内	県外		
合計	12		12	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12			
農業、林業																						
漁業																						
鉱業																						
建設業	0		0						0					0					0			
製造業	12		12	0	0				12					12	0				12			
食品	0		0						0					0					0			
飲料・飼料	0		0						0					0					0			
繊維	0		0						0					0					0			
木材	0		0						0					0					0			
家具	0		0						0					0					0			
ハルブ・紙	0		0						0					0					0			
印刷	0		0						0					0					0			
化学	9		9						9					9					9			
石油・石炭	0		0						0					0					0			
プラスチック	0		0						0					0					0			
ゴム																						
皮革																						
窯業・土石	0		0						0					0					0			
鉄鋼																						
非鉄金属	0		0						0					0					0			
金属	0		0						0					0					0			
はん用機器	0		0						0					0					0			
生産用機器	1		1						1					1					1			
業務用機器	0		0						0					0					0			
電子部品	1		1						1					1					1			
電気機器	0		0						0					0					0			
情報通信機器	0		0						0					0					0			
輸送機器	1		1						1					1					1			
その他																						
電気・水道業	0		0						0					0					0			
電気業																						
ガス業																						
上水道業	0		0						0					0					0			
下水道業																						
情報通信業																						
運輸業	0		0						0					0					0			
卸・小売業	0		0						0					0					0			
学術研究・専門サービス業	0		0						0					0					0			
飲食・宿泊業																						
生活関連サービス業																						
教育	0		0						0					0					0			
医療・福祉	0		0						0					0					0			
サービス業	0		0						0					0					0			
解体業・破砕前処理業	0		0						0					0					0			

表 6-6 業種別処理・処分状況（廃アルカリ）【平成26年度】（その2）

区 分 業 種	委託処理量										委託中間処理量										委託直接最終処分量			委託先地域の内訳				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)		業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(L)		業者 自治体		(処理先地域の内訳) 県内 県外		(M)		(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 最終処分量 (M1) (M2)		(O) (I+O+M2)		(R) (E1+G1+M1)		(01) (02)		(03) (03)		(J) (E5+G5)															
	0		0		0		0		12		12		0		1		1		1		0		0		0		0													
	12		0		0		0		12		11		1		1		1		1		0		0		0		0													
合計	12	0	0	0	0	0	0	12	12	11	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1													
農業、林業																																								
漁業																																								
鉱業																																								
建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
製造業	12	0	0	0	0	0	0	12	12	11	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1													
食品	0																																							
飲料・飼料	0																																							
繊維	0																																							
木材	0																																							
家具	0																																							
ハルブ・紙	0																																							
印刷	0																																							
化学	9							9	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
石油・石炭																																								
プラスチック	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
ゴム																																								
皮革																																								
窯業・土石	0							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
鉄鋼																																								
非鉄金属	0																																							
金属	0																																							
はん用機器	0																																							
生産用機器	1							1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
業務用機器	0																																							
電子部品	1							1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
電気機器	0																																							
情報通信機器	0																																							
輸送機器	1							1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
その他																																								
電気・水道業	0																																							
電気業																																								
ガス業																																								
上水道業	0																																							
下水道業																																								
情報通信業																																								
運輸業	0																																							
卸・小売業	0																																							
学術研究・専門サービス業	0																																							
飲食・宿泊業																																								
生活関連サービス業																																								
教育	0																																							
医療・福祉	0																																							
サービス業	0																																							
解体業・破砕前処理業	0																																							

(単位：千t/年)

表 6-7 業種別処理・処分状況（廃プラスチック）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理の処理内訳			自己最終処分量		(単位：千 t / 年)	
				(D)	(E)	(F)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H)	(処理先地域の内訳)					
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	自己最終 処分量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	再生利用量 (I)	県内		県外
合計	65	4	61	2	2	1	0	0	0	59	1	55	3	0	0	58			
農業、林業	1		1							1		1	0	0	0	1			
漁業	0		0	0	0					0		0	0	0	0	0			
鉱業	0		0							0		0	0	0	0	0			
建設業	13	0	13	0	0				12	0	10	2	0	0	13				
製造業	23	4	20	1	1	1	0	0	19	0	18	0	0	0	19				
食品	2		2	0	0				2	0	2	0	0	0	2				
飲料・飼料	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
繊維	6	1	5						5	0	5	0	0	0	5				
木材	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0				
家具	1	0	1						1	1	1	0	0	0	1				
ハルブ・紙	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0				
印刷	1	0	1						0	0	0	0	0	0	0				
化学	1	0	1	0	0				1	1	1				1				
石油・石炭	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
プラスチック	3	1	2	1	1	1			1	1	1	0	0	0	1				
ゴム	0		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0				
皮革	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
窯業・土石	1		1						1	1	1	0	0	0	1				
鉄鋼	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
非鉄金属	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
金属	1	0	1						1	0	1	0	0	0	1				
はん用機器	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
生産用機器	1	0	1	0	0				0	0	0	0	0	0	0				
業務用機器	1	0	1						1	0	1	0	0	0	1				
電子部品	4	0	3	0	0				3	0	3	0	0	0	3				
電気機器	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
情報通信機器	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0				
輸送機器	1		1						1	1	1	0	0	0	1				
その他	0	0	0						0	0	0	0	0	0	0				
電気・水道業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
電気業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
ガス業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
上水道業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
下水道業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
情報通信業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
運輸業	3	0	3	1	1	1			2	0	2	0	0	0	2				
卸・小売業	14		14						14	0	14	0	0	0	14				
学術研究・専門サービス業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
飲食・宿泊業	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
生活関連サービス業	3		3						3	3	3	0	0	0	3				
教育	0		0						0	0	0	0	0	0	0				
医療・福祉	2		2						2	2	2	0	0	0	2				
サービス業	4		4	0	0				4	4	4	0	0	0	4				
解体業・破砕前処理業	1	1	1						1	1	1	0	0	0	1				

表 6-7 業種別処理・処分状況（廃プラスチック）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後の内訳				最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)		(O)		業者		自治体		(処理先地域の内訳)		(L)		(処理主体の内訳)		(M)		(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)		(O) (I+O+M2)		(J) (E5+G5)					
	委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		業者		自治体		(処理先地域の内訳)		県内		県外		業者		自治体		県内		県外		自己処分		処理主体の内訳			
	(O+L)		自治体		業者		自治体		県内		県外		業者		自治体		県内		県外		(M1)		(M2)		(O1)		(O2)	
合計	58	3	1	2	3	0	55	0	48	7	40	34	6	36	9	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	40		
農業、林業	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建設業	13	2	1	2	2	0	10	0	10	1	10	8	2	8	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8		
製造業	19	0	0	0	0	0	18	0	13	5	13	11	2	12	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15		
食品	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
繊維	5	0	0	0	0	0	5	0	4	1	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
家具	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
化学	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
プラスチック	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
窯業・土石	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
業務用機器	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
電子部品	3	0	0	3	3	0	3	0	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
輸送機器	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
運輸業	2	0	0	2	2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
卸・小売業	14	0	0	14	14	0	14	0	13	1	9	8	1	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8		
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生活関連サービス業	3	0	0	3	3	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
医療・福祉	2	0	0	2	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
サービス業	4	0	0	4	4	0	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
解体業・破砕前処理業	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		

(単位：千t/年)

表 6-8 業種別処理・処分状況（紙くず）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己未処理の内訳			搬出量		自己最終処分量	
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(処理先地域の内訳)		
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)									委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	県内
合計	13	6	7	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	7	0	0	0		
農業、林業																				
漁業																				
鉱業																				
建設業	2	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	0	0	0			
製造業	11	6	4						4	4				4						
飲料・飼料																				
繊維																				
木材																				
家具																				
ハルブ・紙	1	0	1						1	1				1						
印刷	9	6	3						3	3				3						
化学																				
石油・石炭																				
プラスチック																				
ゴム																				
皮革																				
窯業・土石																				
鉄鋼																				
非鉄金属																				
金属																				
はん用機器																				
生産用機器																				
業務用機器																				
電子部品																				
電気機器																				
情報通信機器																				
輸送機器																				
その他																				
電気・水道業																				
電気業																				
ガス業																				
上水道業																				
下水道業																				
情報通信業																				
運輸業																				
卸・小売業																				
学術研究・専門サービス業																				
飲食・宿泊業																				
生活関連サービス業																				
教育																				
医療・福祉																				
サービス業																				
廃棄物処理業																				

表 6-8 業種別処理・処分状況（紙くず）【平成26年度】（その2）

区分 業種	委託処理量		委託中間処理量				委託中間処理後量				最終処分量			再生利用量		処理主体の内訳			その他量		資源化量 (単位：千t/年)		
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳) 再生利用量 (M1)	(委託処理後の処理内訳) 最終処分量 (M2)	(O)	(R) (E1+G1+M1)	(0)	(1+O+M2)	(01)	(02)	(03)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
			業者	自治体	県内	県外	業者	自治体														県内	県外
			(L)	(L)	(L)	(L)	(L)	(L)														(L)	(L)
合計	7	0	0	0	7	7	0	0	0	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	0	12		
農業、林業																							
漁業																							
鉱業																							
建設業	2	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
製造業	4				4	4	0	0	4	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	11		
食料品																							
飲料・飼料																							
繊維																							
木材																							
家具																							
ハルブ・紙	1				1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
印刷	3				3	3	0	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	9		
化学																							
石油・石炭																							
プラスチック																							
ゴム																							
皮革																							
窯業・土石																							
鉄鋼																							
非鉄金属																							
金属																							
はん用機器																							
生産用機器																							
業務用機器																							
電器部品																							
電気機器																							
情報通信機器																							
輸送機器																							
その他																							
電気・水道業																							
電気業																							
ガス業																							
上水道業																							
下水道業																							
情報通信業																							
運輸業																							
卸・小売業																							
学術研究・専門サービス業																							
飲食・宿泊業																							
生活関連サービス業																							
教育																							
医療・福祉																							
サービス業																							
解体業・破砕前処理業																							

表 6-9 業種別処理・処分状況（木くず）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				排出量		自己最終処分量	
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(自己未処理の処理内訳)		(H)	(I)	(H)	(I)	(E2+G2)	(J)
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)					委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)						
合計	86	5	82	21	6	2	0	2	2	0	0	61	0	0	1	65	0	0	0	0	
農業、林業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉱業	56	3	52	4	3	2	0	2	0	49	0	0	0	0	0	50	0	0	0	0	
建設業	27	1	26	16	2	0	0	0	0	10	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	
製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲料・飼料	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
繊維	19	1	18	15	2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	
木材	2	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生産用機器	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸送機器	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
運輸業	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
卸・小売業	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
解体業・破砕前処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表 6-9 業種別処理・処分状況（木くず）【平成26年度】（その2）

区 分 業 種	委託処理量										委託中間処理量			委託先地域の内訳			委託中間処理後量			再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)	
	(K) (O+L)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)	(X)			
	業者		自治体		県内		県外		業者		自治体		県内		県外		再生利用量		最終処分量		自己処分		処理主体の内訳				(Y)		(Z)
	(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)		(T)		(U)		(V)		(W)		(X)		(Y)		(Z)						
合計	64	2	0	2	0	2	0	0	61	0	58	3	53	0	52	0	54	3	0	0	0	0	0	0	1	59			
農業、林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
建設業	50	0	0	0	0	0	0	49	0	47	2	42	0	42	0	43	1	0	0	0	0	0	0	0	0	47			
製造業	11	2	0	2	0	2	0	10	9	9	1	8	0	8	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9			
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木材	4	2	0	2	0	2	0	2	2	2	0	2	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
家具	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ゴム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
窯業・土石	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
業務用機器	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
輸送機器	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
運輸業	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
卸・小売業	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
解体業・破砕前処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

(単位：千t/年)

表 6-1-10 業種別処理・処分状況（繊維くず）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t / 年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			(処理先地域の内訳)		
				自己中間処理量 (D)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の処理内訳)		委託直接 最終処分量 (H4)	その他量 (H5)	排出量 (H) (I+K+J)	(1) (E2+G2)	県内	県外
							委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)						
合計	11	2	10	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9	0				
農業、林業																			
漁業	0		0						0					0					
鉱業																			
建設業	8		8	0	0	0	0	0	8					8					
製造業	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1					
食品	0		0						0					0					
飲料・飼料																			
繊維	2	2	1	0	0	0	0	0	0					0					
木材																			
家具	0		0						0					0					
ハルブ・紙																			
印刷																			
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック																			
ゴム																			
皮革																			
窯業・土石																			
鉄鋼																			
非鉄金属																			
金属																			
はん用機器																			
生産用機器	0		0						0	0	0	0	0	0					
業務用機器																			
電子部品																			
電気機器																			
情報通信機器																			
輸送機器																			
その他	0		0						0					0					
電気・水道業																			
電気業																			
ガス業																			
上水道業																			
下水道業																			
情報通信業																			
運輸業																			
卸・小売業	0		0						0					0					
学術研究・専門サービス業																			
飲食・宿泊業																			
生活関連サービス業	0		0						0					0					
教育																			
医療・福祉	0		0						0					0					
サービス業																			
解体業・破砕前処理業																			

表 6-1-10 業種別処理・処分状況（繊維くず）【平成26年度】（その2）

区 分 業 種	委託処理量 (0+L)			委託中間処理量			委託先地域の内訳			委託先地域の内訳			委託中間処理後量			最終処分量			再生利用量			その他量			資源化量 (S) (B+R)
	(K)	(O+L)		業者	自治体		(L)	自治体		業者	自治体		(M)	再生利用量		(R)	自己処分		(O)	処理主体の内訳		(J)			
		(0)	県内		県外	自治体		県内			県外	(M1)		(M2)			(01)	(02)		(03)					
			(0)					県内	県外					(01)	(02)						(03)				
合計	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	
農業、林業																									
漁業																								0	
鉱業																									
建設業	8	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
製造業	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
食品	0						0						0												
飲料・飼料																									
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
木材																									
家具	0						0					0												0	
ハルブ・紙																									
印刷																									
化学																									
石油・石炭																									
プラスチック																									
ゴム																									
皮革																									
窯業・土石																									
鉄鋼																									
非鉄金属																									
金属																									
はん用機器																									
生産用機器	0						0					0												0	
業務用機器																									
電子部品																									
電気機器																									
情報通信機器																									
輸送機器																									
その他	0						0					0												0	
電気・水道業																									
電気業																									
ガス業																									
上水道業																									
下水道業																									
情報通信業																									
運輸業																									
卸・小売業	0						0					0												0	
学術研究・専門サービス業																									
飲食・宿泊業																									
生活関連サービス業	0						0					0												0	
教育																									
医療・福祉	0						0					0												0	
サービス業																									
解体業・破砕前処理業																									

(単位：千t/年)

表 6-1-1 業種別処理・処分状況（動植物性残さ）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			(処理先地域の内訳)	
				自己中間処理量 (D)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	(自己中間処理後の処理内訳)		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	(自己未処理の処理内訳)		排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外	
							委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)				その他量 (E5)	委託中間 最終処分量 (G4)					その他量 (G5)
合計	13	0	13	3	1	0	0	0	10	10	0	0	10	10				
農業、林業																		
漁業																		
鉱業																		
建設業																		
製造業	13	0	13	3	1	0	0	0	10	10	0	0	10	10				
食品	11	0	11	3	1	0	0	0	8	8	0	0	8	8				
飲料・飼料	0	0	0						0	0	0	0	0	0				
繊維																		
木材																		
家具																		
ハルブ・紙																		
印刷																		
化学	2		2	0	0	0			2	2			2	2				
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石																		
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属																		
はん用機器																		
生産用機器																		
業務用機器																		
電子部品																		
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器																		
その他																		
電気・水道業																		
電気業																		
ガス業																		
上水道業																		
下水道業																		
情報通信業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
学術研究・専門サービス業																		
飲食・宿泊業																		
生活関連サービス業																		
教育																		
医療・福祉																		
サービス業																		
廃棄業・破砕前処理業																		

表 6-1-1 業種別処理・処分状況（動植物性残さ）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量				最終処分量			再生利用量			処理主体の内訳			その他		資源化量
	委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		再生利用量		最終処分量		再生利用量			最終処分量			処理主体の内訳			その他								
	(K)	(O+L)	業者	自治体	県内	県外	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(O)	(1+O+M2)	(R)	(E1+G1+M1)	(0)	(01)	(02)	(03)	(J)	(E5+G5)	(S)	(B+R)								
																											(0)	(0+L)						
合計	10	0	0	0	0	0	10	10	4	6	9	9	9	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10									
農業、林業																																		
漁業																																		
鉱業																																		
建設業																																		
製造業	10	0	0	0	0	10	10	10	4	6	9	9	0	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10									
食品	8	0	0	0	0	8	8	8	4	5	8	8	0	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8									
飲料・飼料	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
繊維																																		
木材																																		
家具																																		
ハルブ・紙																																		
印刷																																		
化学	2					2	2	2	1	1	2	2		2		2								2										
石油・石炭																																		
プラスチック																																		
ゴム																																		
皮革																																		
窯業・土石																																		
鉄鋼																																		
非鉄金属																																		
金属																																		
はん用機器																																		
生産用機器																																		
業務用機器																																		
電子部品																																		
電気機器																																		
情報通信機器																																		
輸送機器																																		
その他																																		
電気・水道業																																		
電気業																																		
ガス業																																		
上水道業																																		
下水道業																																		
情報通信業																																		
運輸業																																		
卸・小売業																																		
学術研究・専門サービス業																																		
飲食・宿泊業																																		
生活関連サービス業																																		
教育																																		
医療・福祉																																		
サービス業																																		
解体業・破砕前処理業																																		

(単位：千t/年)

表 6-1-2 業種別処理・処分状況（動物系固形不要物）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t / 年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			
				自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量		自己未処理量		再生利用量 (G1)	自己未処理の処理内訳			排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量			
					(E)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)		委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	(I)
合計	0		0			0			0			0			0		
農業、林業																	
漁業																	
鉱業																	
建設業																	
製造業																	
食料品																	
飲料・飼料																	
繊維																	
木材																	
家具																	
ハルブ・紙																	
印刷																	
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石																	
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属																	
はん用機器																	
生産用機器																	
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他																	
電気・水道業																	
電気業																	
ガス業																	
上水道業																	
下水道業																	
情報通信業																	
運輸業																	
卸・小売業																	
学術研究・専門サービス業																	
飲食・宿泊業																	
生活関連サービス業																	
教育																	
医療・福祉																	
サービス業	0		0														0
解体業・破砕前処理業																	

表 6-1-2 業種別処理・処分状況（動物系固形不要物）【平成26年度】（その2）

区 業種	委託処理量		委託中間処理量				委託中間処理後量				最終処分量			資源化量		
	委託直接最終処分量		（処理先地域の内訳）		（処理先地域の内訳）		（委託処理後の処理内訳）		再生利用量		最終処分量			その他		
	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	（委託処理後の処理内訳）	再生利用量	自己処分	処理主体の内訳	資源化量			
	(K)	(0+L)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(R)	(S)	(E1+G1+M1)	(O)	(01)	(02)	(03)	(J)	(E5+G5)	(B+R)
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業、林業																
漁業																
鉱業																
建設業																
製造業																
食品																
飲料・飼料																
繊維																
木材																
家具																
ハルブ・紙																
印刷																
化学																
石油・石炭																
プラスチック																
ゴム																
皮革																
窯業・土石																
鉄鋼																
非鉄金属																
金属																
はん用機器																
生産用機器																
業務用機器																
電子部品																
電気機器																
情報通信機器																
輸送機器																
その他																
電気・水道業																
電気業																
ガス業																
上水道業																
下水道業																
情報通信業																
運輸業																
卸・小売業																
学術研究・専門サービス業																
飲食・宿泊業																
生活関連サービス業																
教育																
医療・福祉																
サービス業	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解体業・破砕前処理業																

(単位：千 t / 年)

表 6-1-13 業種別処理・処分状況（ゴムくず）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			（処理先地域の内訳）	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処分量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処分量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(1)	（処理先地域の内訳）	
																	県内	県外
合計	0		0								0	0	0	0				
農業、林業																		
漁業																		
鉱業																		
建設業																		
製造業	0		0								0	0	0	0				
食料品																		
飲料・飼料																		
繊維	0		0								0	0	0	0				
木材																		
家具																		
ハルブ・紙	0		0								0	0	0	0				
印刷																		
化学																		
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石																		
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属	0		0								0	0	0	0				
はん用機器																		
生産用機器																		
業務用機器																		
電子部品	0		0								0	0	0	0				
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器																		
その他																		
電気・水道業																		
電気業																		
ガス業																		
上水道業																		
下水道業																		
情報通信業	0		0								0	0	0	0				
運輸業																		
卸・小売業																		
学術研究・専門サービス業																		
飲食・宿泊業																		
生活関連サービス業																		
教育																		
医療・福祉																		
サービス業																		
解体業・破砕前処理業																		

（単位：千 t / 年）

表 6-1-3 業種別処理・処分状況（ゴムくず）【平成26年度】（その2）

区 分 業 種	委託処理量		委託中間処理量				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(処理主体の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(O) (I+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)				
			県内	県外	自治体	業者		自治体	県内			県外	自己処分 (01)			自治体 (02)	処理業者 (03)		
																		再生利用量 (M1)	
(0+L)	(0)	(L)	(L)	(L)	(L)	(M)	(M)	(M)	(M)	(R)	(O)	(01)	(02)	(03)	(J)	(S) (B+R)			
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
農業、林業																			
漁業																			
鉱業																			
建設業																			
製造業																			
食料品																			
飲料・飼料																			
繊維																			
木材																			
家具																			
ハルブ・紙																			
印刷																			
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック																			
ゴム																			
皮革																			
窯業・土石																			
鉄鋼																			
非鉄金属																			
金属																			
はん用機器																			
生産用機器																			
業務用機器																			
電子部品																			
電気機器																			
情報通信機器																			
輸送機器																			
その他																			
電気・水道業																			
電気業																			
ガス業																			
上水道業																			
下水道業																			
情報通信業																			
情報通信業																			
運輸業																			
卸・小売業																			
学術研究・専門サービス業																			
飲食・宿泊業																			
生活関連サービス業																			
教育																			
医療・福祉																			
サービス業																			
解体業・破砕前処理業																			

(単位：千t/年)

表 6-1-15 業種別処理・処分状況（ガラス陶磁器くず）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t/年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			(処理先地域の内訳)	
				(D)	(E)	(F)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)		(E5)	(G)	(G1)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)				委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)				
合計	117	0	117	9	7	1	1	6	0	108	0	106	2	0	114	0	0	
農業、林業																		
漁業																		
鉱業																		
建設業	95		95	0	0			0		95	0	93	1		95	0	0	
製造業	17	0	16	8	6			6	0	9	0	8	1		15	0	0	
食品	0	0	0							0		0	0		0			
飲料・飼料	0									0		0	0		0			
繊維	0									0		0	0		0			
木材	0									0		0	0		0			
家具	1		1							1		1	0		1			
ハルブ・紙	0									0		0	0		0			
印刷	0									0		0	0		0			
化学	0									0		0	0		0			
石油・石炭																		
プラスチック	0									0		0	0		0			
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	14	0	13	8	6			6	0	6	0	5	1		12			
鉄鋼	0		0							0		0	0		0			
非鉄金属	0		0							0		0	0		0			
金属	0		0							0		0	0		0			
はん用機器	0		0							0		0	0		0			
生産用機器	0		0							0		0	0		0			
業務用機器	0		0							0		0	0		0			
電子部品	1		1							1		1	0		1			
電気機器	0		0							0		0	0		0			
情報通信機器	0		0							0		0	0		0			
輸送機器	0		0							0		0	0		0			
その他	0		0							0		0	0		0			
電気・水道業	0		0							0		0	0		0			
電気業	0		0							0		0	0		0			
ガス業																		
上水道業	0		0							0			0		0			
下水道業	0		0							0			0		0			
情報通信業	0		0							0		0	0		0			
運輸業	0		0					0		0		0	0		0			
卸・小売業	3		3	1	1					2		2	0		2			
学術研究・専門サービス業	0		0							0		0	0		0			
飲食・宿泊業	0		0							0		0	0		0			
生活関連サービス業	0		0							0		0	0		0			
教育	0		0							0		0	0		0			
医療・福祉	2		2							2		2	0		2			
サービス業	0		0							0		0	0		0			
解体業・破砕前処理業																		

表 6-1-15 業種別処理・処分状況（ガラス陶磁器くず）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量				最終処分量			その他量		資源化量 (S) (B+R)						
	(K) (O+L)		業者		自治体		(処理先地域の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)		業者		自治体		(処理先地域の内訳)		(M)		(M1)		(M2)		(O) (1+O+M2)	(J) (E5+65)	(R) (E1+G1+M1)		(0)	(03)				
	(0)	(0+L)	業者	自治体	県内	県外	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	再生利用量	再生利用後	再生利用後	再生利用後	再生利用後	再生利用後	再生利用後	自己処分							処理主体の 自治体	処理業者		
	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)	(0+L)	(0)		(0+L)	(0)	(0+L)			
合計	114	2	2	0	2	0	112	112	112	5	107	107	112	112	5	108	7	108	7	108	5	107	107	112	112	5	108	7	108	0	108			
農業、林業																																		
漁業																																		
鉱業																																		
建設業	95	1	1	0	1	0	94	93	93	1	92	90	94	93	4	90	4	90	4	90	5	90	90	94	93	4	90	5	90	5	90			
製造業	15	1	1	0	1	0	14	14	14	2	12	13	14	14	1	13	1	13	1	13	2	13	13	14	14	1	13	2	13	2	13			
食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
飲料・飼料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
木材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
家具	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0		
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
印刷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
化学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ゴム																																		
皮革																																		
窯業・土石	12	1	1	1	1	1	11	11	11	0	11	11	11	11	0	11	0	11	0	11	1	11	11	11	11	11	1	11	1	11	11	11		
鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
金属	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
はん用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
業務用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	
電子部品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
情報通信機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
輸送機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報通信業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運輸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卸・小売業	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	
学術研究・専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
飲食・宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生活関連サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
医療・福祉	2	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	2	2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	
サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
解体業・破砕前処理業																																		

(単位：千t/年)

表 6-1-16 業種別処理・処分状況（鉱さい）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			（処理先地域の内訳）	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	(G)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(1)	県外
合計	7	1	7						7	6	0	0	7	7	7			
農業、林業																		
漁業																		
鉱業																		
建設業	7	1	7						7	6	0	0	7	7				
製造業																		
食料品																		
飲料・飼料																		
繊維																		
木材																		
家具																		
ハルブ・紙	0		0						0				0					
印刷																		
化学																		
石油・石炭																		
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	0		0						0				0					
鉄鋼	3		3						3				3					
非鉄金属	1	1	1						1				1					
金属	0		0						0				0					
はん用機器	1		1						1				1					
生産用機器	2	0	2						2				2					
業務用機器																		
電子部品																		
電気機器																		
情報通信機器																		
輸送機器	0		0						0				0					
その他																		
電気・水道業	0		0						0				0					
電気業	0		0						0				0					
ガス業																		
上水道業																		
下水道業																		
情報通信業																		
運輸業																		
卸・小売業																		
学術研究・専門サービス業																		
飲食・宿泊業																		
生活関連サービス業																		
教育																		
医療・福祉																		
サービス業																		
解体業・破砕前処理業																		

（単位：千 t / 年）

表 6-1-16 業種別処理・処分状況（鉱さい）【平成26年度】（その2）

業種	委託処理量										委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量				再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	(K) (0+L)	(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)			(L)	(処理主体の内訳)			(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E1+G1+M1)	(O) (1+O+M2)	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)									
		業者	自治体	県外	県内	県外	県内		自治体	県外	県内	再生利用量	最終処分量		(01)	(02)			(03)												
																				(0)			(1)	(2)	(3)	(4)	(5)				
合計	7	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	6	0	6	6	6	1	1	1	1	6	6								
農業、林業																															
漁業																															
鉱業																															
建設業																															
製造業	7	0	0	0	0	0	6	6	6	6	6	6	6	0	6	6	6	1	1	1	1	6	6								
食品																															
飲料・飼料																															
繊維																															
木材																															
家具																															
ハルブ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
印刷																															
化学																															
石油・石炭																															
プラスチック																															
ゴム																															
皮革																															
窯業・土石	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
鉄鋼	3						3	3	3	3	3	3	3	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0								
非鉄金属	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
金属	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
はん用機器	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0								
生産用機器	2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0								
業務用機器																															
電子部品																															
電気機器																															
情報通信機器																															
輸送機器	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
その他																															
電気・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
電気業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
ガス業																															
上水道業																															
下水道業																															
情報通信業																															
運輸業																															
卸・小売業																															
学術研究・専門サービス業																															
飲食・宿泊業																															
生活関連サービス業																															
教育																															
医療・福祉																															
サービス業																															
解体業・破砕前処理業																															

(単位：千t/年)

表 6-1-17 業種別処理・処分状況（がれき類）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t / 年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+6)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量				
				(D)	(E)	(E)	(E1)	(自己中間処理後の処理内訳)			(G)	(自己未処理の処理内訳)			(H) (I+K+J)	(処理先地域の内訳)		
								自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)		その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)		委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)
(A)	(B)	(C) (D+6)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)	(E2+G2)
合計	1,033	15	1,018	82	81	42	39	0	0	937	6	922	7	2	2	970		
農業、林業																		
漁業																		
鉱業																		
建設業	990	15	975	59	58	19	39	0	0	916	6	902	6	2	2	949		
製造業	41		41	23	23	23	0			18		17	1			18		
食料品																		
飲料・飼料																		
繊維																		
木材	1		1							1		1				1		
家具	0		0							0		0				0		
ハルブ・紙																		
印刷																		
化学	0		0							0		0				0		
石油・石炭	23		23	23	23	23												
プラスチック																		
ゴム																		
皮革																		
窯業・土石	6		6	0	0		0			6		5	1			6		
鉄鋼																		
非鉄金属																		
金属	12		12							12		12	0			12		
はん用機器	0		0							0		0	0			0		
生産用機器	0		0							0		0	0			0		
業務用機器																		
電子部品																		
電気機器	0		0							0		0				0		
情報通信機器																		
輸送機器																		
その他	0		0							0		0				0		
電気・水道業	1		1	1						1		1				1		
電気業	1		1	1						1		1				1		
ガス業	0		0							0		0				0		
上水道業	0		0							0		0				0		
下水道業	0		0							0		0				0		
情報通信業																		
運輸業	2		2	2						2		2				2		
卸・小売業	0		0	0						0		0				0		
学術研究・専門サービス業	0		0	0						0		0				0		
飲食・宿泊業																		
生活関連サービス業																		
教育	0		0	0						0		0				0		
医療・福祉	0		0	0						0		0				0		
サービス業	0		0	0						0		0				0		
解体業・破砕前処理業																		

表 6-1-18 業種別処理・処分状況（動物のふん尿）【平成26年度】（その1）

(単位：千 t / 年)

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己最終処分量			排出先地域の内訳			
				自己中間処理量 (D)	再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他 (G5)	排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)		県内	県外
合計	177		177	136	101	101	101	101	41	3	38	38	38	38	38				
農業、林業	177		177	136	101	101	101	101	41	3	38	38	38	38					
漁業																			
鉱業																			
建設業																			
製造業																			
食品																			
飲料・飼料																			
繊維																			
木材																			
家具																			
ハルブ・紙																			
印刷																			
化学																			
石油・石炭																			
プラスチック																			
ゴム																			
皮革																			
窯業・土石																			
鉄鋼																			
非鉄金属																			
金属																			
はん用機器																			
生産用機器																			
業務用機器																			
電子部品																			
電気機器																			
情報通信機器																			
輸送機器																			
その他																			
電気・水道業																			
電気業																			
ガス業																			
上水道業																			
下水道業																			
情報通信業																			
運輸業																			
卸・小売業																			
学術研究・専門サービス業																			
飲食・宿泊業																			
生活関連サービス業																			
教育																			
医療・福祉																			
サービス業																			
娯楽業・破砕前処理業																			

表 6-1-18 業種別処理・処分状況（動物のふん尿）【平成26年度】（その2）

区 業種	委託処理量		委託中間処理量				委託中間処理後量			最終処分量			資源化量								
	委託直接最終処分量		（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）		（委託処理後の処理内訳）			再生利用量			その他								
	業者	自治体	県内	自治体	県内	県外	業者	自治体	県内	県外	(E1+G1+M1)	(R)	(O)	(01)	(02)	(03)	(J)	(S)	(B+R)		
	(K)	(O+L)	(L)	(M)	(N1)	(N2)	(E1+G1+M1)	(R)	(O)	(01)	(02)	(03)	(J)	(S)	(B+R)						
合計	38	38	38	38	38	38	38	38	38	30	30	134	134							134	
農業、林業	38																				134
漁業																					
鉱業																					
建設業																					
製造業																					
食品																					
飲料・飼料																					
繊維																					
木材																					
家具																					
ハルブ・紙																					
印刷																					
化学																					
石油・石炭																					
プラスチック																					
ゴム																					
皮革																					
窯業・土石																					
鉄鋼																					
非鉄金属																					
金属																					
はん用機器																					
生産用機器																					
業務用機器																					
電子部品																					
電気機器																					
情報通信機器																					
輸送機器																					
その他																					
電気・水道業																					
電気業																					
ガス業																					
上水道業																					
下水道業																					
情報通信業																					
運輸業																					
卸・小売業																					
学術研究・専門サービス業																					
飲食・宿泊業																					
生活関連サービス業																					
教育																					
医療・福祉																					
サービス業																					
解体業・破砕前処理業																					

(単位：千t/年)

表 6-1-19 業種別処理・処分状況（ばいじん）【平成26年度】（その1）

区 分 業 種	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量		自己中間処理後量			自己未処理量				自己最終処分量			（処理先地域の内訳）	
				自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	再生利用量 (E1)	（自己中間処理後の処理内訳）		再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処 理 量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	排出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	県内	県外
							自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処 理 量 (E3)									
合計	340	18	322	60	73			261	1	261	334						
農業、林業																	
漁業																	
鉱業																	
建設業	0		0					0			0						
製造業	1		1					1			1						
食品																	
飲料・飼料																	
繊維	1		1					1			1						
木材																	
家具																	
ハルブ・紙	1		1					1			1						
印刷																	
化学																	
石油・石炭																	
プラスチック																	
ゴム																	
皮革																	
窯業・土石	0		0					0			0						
鉄鋼																	
非鉄金属																	
金属																	
はん用機器	0		0					0			0						
生産用機器																	
業務用機器																	
電子部品																	
電気機器																	
情報通信機器																	
輸送機器																	
その他																	
電気・水道業	338	18	321	60	73			260			333						
電気業	338	18	321	60	73			260			333						
ガス業																	
上水道業																	
下水道業																	
情報通信業																	
運輸業																	
卸・小売業																	
学術研究・専門サービス業																	
飲食・宿泊業																	
生活関連サービス業																	
教育																	
医療・福祉																	
サービス業																	
解体業・破砕前処理業																	

（単位：千 t / 年）

表7-1 種類別の中間処理・最終処分量(石川県全体)

	平成24年度			平成25年度			平成26年度			増減(H26-H25)			
	処分量計		最終処分	処分量計		最終処分	処分量計		最終処分	処分量計		最終処分	
	中間処理	最終処分	中間処理	最終処分	中間処理	最終処分	中間処理	最終処分	中間処理	最終処分	最終処分		
総計	1,655,040	151,224	1,630,094	151,224	2,050,897	184,948	1,606,093	151,224	1,508,339	97,754	-444,804	-357,610	-87,194
産業廃棄物計	1,630,094	151,224	1,478,870	151,224	2,024,844	184,948	1,578,417	1,480,663	97,754	97,754	-446,427	-359,233	-87,194
燃え殻	10,535	9,816	719	9,816	11,962	11,172	754	501	253	253	-11,208	-289	-10,919
汚泥	92,001	20,725	71,276	20,725	107,162	26,441	73,852	73,437	415	415	-33,310	-7,285	-26,026
廃油	25,203	25,203	25,203	25,203	26,693	26,693	23,073	23,073	23,073	23,073	-3,620	-3,620	-3,620
廃酸	8,585	8,585	8,585	8,585	8,910	8,910	10,733	10,733	10,733	10,733	1,823	1,823	1,823
廃アルカリ	24,640	24,640	24,640	24,640	35,856	35,856	30,442	30,442	30,442	30,442	-5,414	-5,414	-5,414
廃プラスチック類	71,930	60,599	60,599	11,331	92,057	12,174	69,352	59,857	9,495	9,495	-22,704	-20,025	-2,679
紙くず	5,610	5,029	5,029	581	9,389	572	4,832	4,832	4,832	4,832	-4,557	-3,985	-572
木くず	90,398	88,570	88,570	1,828	96,349	1,630	69,967	69,679	288	288	-26,381	-25,039	-1,342
繊維くず	1,610	1,244	1,244	366	1,773	387	668	668	668	668	-1,105	-718	-387
動植物性残さ	3,472	3,472	3,472		3,844	15	4,574	4,574			730	745	-15
動物系固形不要物	194	194	194		194	194	175	175			-19	-19	-19
ゴムくず	33	14	14	19	28	14	14	14			-14	0	-14
金属くず	21,799	19,187	19,187	2,612	25,214	2,830	15,301	15,213	88	88	-9,913	-7,171	-2,742
ガラス陶磁器くず	45,264	29,188	29,188	16,076	58,302	16,643	72,419	65,528	6,891	6,891	14,116	23,869	-9,752
鋳さい	2,237	63	63	2,174	12,637	26	153	153			-12,484	127	-12,611
がれき類	1,119,955	1,058,996	1,058,996	60,959	1,423,343	70,915	1,137,647	1,068,690	68,957	68,957	-285,697	-283,738	-1,958
動物のふん尿	37,244	37,244	37,244		37,269	37,269	36,622	36,622			-647	-647	-647
動物の死体					0	0					0	0	0
ばいじん	9,531	7,599	7,599	1,932	9,818	1,687	9,951	9,873	78	78	133	1,742	-1,609
13号廃棄物													
混合廃棄物	59,853	37,048	37,048	22,805	64,043	27,855	17,888	6,599	11,289	11,289	-46,155	-29,589	-16,566
特別管理産業廃棄物計	24,946	24,946	24,946		26,053	26,053	27,676	27,676			1,623	1,623	1,623
引火性廃油	8,373	8,373	8,373		8,318	8,318	9,082	9,082			764	764	764
腐食性廃酸	7,069	7,069	7,069		6,550	6,550	6,482	6,482			-68	-68	-68
腐食性廃アルカリ	2,969	2,969	2,969		3,565	3,565	3,160	3,160			-405	-405	-405
感染性廃棄物	3,014	3,014	3,014		3,404	3,404	3,385	3,385			-19	-19	-19
特定有害鋳さい													
特定有害廃石綿等													
特定有害ばいじん	250	250	250		518	518	316	316			-202	-202	-202
特定有害燃え殻					0	0					0	0	0
特定有害廃油	975	975	975		1,678	1,678	1,696	1,696			18	18	18
特定有害汚泥	367	367	367		55	55	386	386			331	331	331
特定有害廃酸	826	826	826		1,101	1,101	1,809	1,809			708	708	708
特定有害廃アルカリ	1,103	1,103	1,103		864	864	1,184	1,184			320	320	320
13号特定有害廃棄物													
廃PCB等							176	176			176	176	176

(単位:t)

表7-2 種類別、処理方法別の中間処理量(石川県全体)

(単位:t)

	中間処理量 計											
	破砕・切断	中和	選別	堆肥化	焼却	混練	油水分離	圧縮	脱水・乾燥	混合	安定処理	その他
総計	1,508,339	51,999	48,405	42,883	44,654	17,586	17,483	29,680	39,463	9,880	22,961	11,892
産業廃棄物 計	1,480,663	39,649	48,405	42,883	37,346	16,892	17,463	29,680	39,458	3,013	22,961	11,460
燃え殻	501					501						
汚泥	73,437			4,180	4,925	15,407	128		18,349		22,961	7,487
廃油	23,073				2,563	44	17,335		184	2,885		62
廃酸	10,733	10,057			676							
廃アルカリ	30,442	29,592			722					128		
廃プラスチック類	59,857	19,971	9,414		9,339	464		17,757				2,912
紙くず	4,832	579	631		2,347		863					412
木くず	69,679	49,558	4,835	2	13,797			1,258				230
繊維くず	668	211	289		168							
動植物性残さ	4,574			2,079	2,279	148						68
動物系固形不要物	175				175							
ゴムくず	14				14							
金属くず	15,213	6,040	2,518		54	54		6,547				
ガラス陶磁器くず	65,528	56,937	8,115		242	6		228				
鉱さい	153					153						
かれき類	1,068,690	1,028,352	19,368		45			20,925				
動物のふん尿	36,622			36,622								
動物の死体												
ばいじん	9,873	9,758				115						
13号廃棄物												
混合廃棄物	6,599		3,235					3,027				289
特別管理産業廃棄物 計	27,676	12,350			7,308	694	20		5	6,867		432
引火性廃油	9,082				3,615		20			5,447		
腐食性廃酸	6,482	6,468			14							
腐食性廃アルカリ	3,160	3,097			63							
感染性廃棄物	3,385				2,953							432
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん	316					316						
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	1,696				276					1,420		
特定有害汚泥	386				3	378			5			
特定有害廃酸	1,809	1,808			1							
特定有害廃アルカリ	1,184	977			207							
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等	176				176							

表7-3 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの処分量)(石川県全体)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市内事業所	金沢市以外事業所	金沢市内事業所	金沢市以外事業所
総計	1,606,093	1,479,788	1,016,331	126,305	
産業廃棄物計	1,578,417	1,470,947	1,009,448	107,470	
燃え殻	754	218	98	536	
汚泥	73,852	54,272	16,044	19,580	
廃油	23,073	6,510	1,080	16,563	
廃酸	10,733	2,644	193	8,089	
廃アルカリ	30,442	3,538	154	26,904	
廃プラスチック類	69,352	49,609	25,196	19,743	
紙くず	4,832	4,721	1,352	111	
木くず	69,967	69,122	20,037	845	
繊維くず	668	631	280	37	
動植物性残さ	4,574	2,954	810	1,620	
動物系固形不要物	175	175	175		
ゴムくず	14	14	4	10	
金属くず	15,301	14,955	5,052	346	
ガラス陶磁器くず	72,419	70,234	13,065	2,184	
鉱さい	153			153	
がれき類	1,137,647	1,135,555	374,358	2,092	
動物のふん尿	36,622	36,622			
動物の死体					
ばいじん	9,951	9,758		193	
13号廃棄物					
混合廃棄物	17,888	9,414	3,601	8,474	
特別管理産業廃棄物計	27,676	8,841	1,958	18,835	
引火性廃油	9,082	2,656	153	6,426	
腐食性廃酸	6,482	1,268	1	5,214	
腐食性廃アルカリ	3,160	415	60	2,745	
感染性廃棄物	3,385	2,991	1,659	394	
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等	316			316	
特定有害ばいじん					
特定有害燃え殻					
特定有害廃油	1,696	947		749	
特定有害汚泥	386	364	7	22	
特定有害廃酸	1,809	119	28	1,690	
特定有害廃アルカリ	1,184	27	4	1,157	
13号特定有害廃棄物					
廃PCB等	176	54	46	122	

(単位:t)

表7-4 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの中間処理量)(石川県全体)

(単位:t)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市内事業所	金沢市以外事業所	金沢市内事業所	金沢市以外事業所
総計	1,508,339	404,207	992,823	404,207	111,310
産業廃棄物計	1,480,663	402,249	985,940	402,249	92,475
燃え殻	501	98	53	98	350
汚泥	73,437	16,044	37,814	16,044	19,579
廃油	23,073	1,080	5,430	1,080	16,563
廃酸	10,733	193	2,451	193	8,089
廃アルカリ	30,442	154	3,384	154	26,904
廃プラスチック類	59,857	22,594	23,060	22,594	14,203
紙くず	4,832	1,352	3,369	1,352	111
木くず	69,679	20,036	48,798	20,036	845
繊維くず	668	280	351	280	37
動植物性残さ	4,574	810	2,144	810	1,620
動物系固形不要物	175	175		175	
ゴムくず	14	4	10	4	
金属くず	15,213	4,990	9,882	4,990	341
ガラス陶磁器くず	65,528	8,176	56,582	8,176	769
鉱さい	153				153
がれき類	1,068,690	325,145	741,457	325,145	2,088
動物のふん尿	36,622		36,622		
動物の死体					
ばいじん	9,873		9,758		115
13号廃棄物					
混合廃棄物	6,599	1,117	4,774	1,117	708
特別管理産業廃棄物計	27,676	1,958	6,883	1,958	18,835
引火性廃油	9,082	153	2,503	153	6,426
腐食性廃酸	6,482	1	1,267	1	5,214
腐食性廃アルカリ	3,160	60	355	60	2,745
感染性廃棄物	3,385	1,659	1,332	1,659	394
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等					
特定有害ばいじん	316				316
特定有害燃え殻					
特定有害廃油	1,696	947	947		749
特定有害汚泥	386	7	357		22
特定有害廃酸	1,809	28	91		1,690
特定有害廃アルカリ	1,184	4	23		1,157
13号特定有害廃棄物					
廃PCB等	176	46	8	46	122

表7-5 産業廃棄物の処理状況(種類別、県内地域及び県外からの最終処分量)(石川県全体)

(単位:t)

	合計	県内→県内		県外→県内	
		金沢市内事業所	金沢市以外事業所	金沢市内事業所	金沢市以外事業所
総計	97,754	82,759	23,508	14,995	14,995
産業廃棄物計	97,754	82,759	23,508	14,995	14,995
燃え殻	253	67	67	186	186
汚泥	415	414	414	1	1
廃油					
廃酸					
廃アルカリ					
廃プラスチック類	9,495	3,955	1,353	5,540	5,540
紙くず					
木くず	288	288	1	287	
繊維くず					
動植物性残さ					
動物系固形不要物					
ゴムくず					
金属くず	88	83	62	21	5
ガラス陶磁器くず	6,891	5,476	4,889	587	1,415
鉱さい					
がれき類	68,957	68,953	49,213	19,740	4
動物のふん尿					
動物の死体					
ばいじん	78				78
13号廃棄物					
混合廃棄物	11,289	3,523	2,484	1,039	7,766
特別管理産業廃棄物計					
引火性廃油					
腐食性廃酸					
腐食性廃アルカリ					
感染性廃棄物					
特定有害鉱さい					
特定有害廃石綿等					
特定有害ばいじん					
特定有害燃え殻					
特定有害廃油					
特定有害汚泥					
特定有害廃酸					
特定有害廃アルカリ					
13号特定有害廃棄物					
廃PCB等					

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	126,305											57
産業廃棄物 計	107,470											57
燃え殻	536											
汚泥	19,580											
廃油	16,563											
廃酸	8,089											
廃アルカリ	26,904											
廃プラスチック類	19,743											34
紙くず	111											
木くず	845											
繊維くず	37											
動植物性残さ	1,620											
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	346											
ガラス陶磁器くず	2,184											
鉱さい	153											
がれき類	2,092											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	193											
13号廃棄物												
混合廃棄物	8,474											23
特別管理産業廃棄物 計	18,835											
引火性廃油	6,426											
腐食性廃酸	5,214											
腐食性廃アルカリ	2,745											
感染性廃棄物	394											
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん	316											
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	749											
特定有害汚泥	22											
特定有害廃酸	1,690											
特定有害廃アルカリ	1,157											
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等	122											

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その2)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計				10,027	31,686	—	25,204	160	5,301	1,013	4	5,000
産業廃棄物 計				8,725	25,776	—	22,124	160	5,075	632	2	5,000
燃え殻				30	193	—	106			186		
汚泥				1,648	6,728	—	6,729		118	69		310
廃油				1,505	5,365	—	2,490		677	33		
廃酸				857	3,779	—	2,046	1	3	161	2	
廃アルカリ				1,495	2,319	—	1,853		53	1		
廃プラスチック類				421	5,727	—	5,412		2,189	176		227
紙くず				9	4	—	98					
木くず					591	—	254					
繊維くず						—	37					
動植物性残さ					561	—	31					880
動物系固形不要物						—						
ゴムくず						—						
金属くず				4	51	—	183		13			31
ガラス陶磁器くず				233	72	—	515		131	2		1
鉱さい						—	153					
がれき類					256	—	1,677		155	4		
動物のふん尿						—						
動物の死体						—						
ばいじん						—	111					78
13号廃棄物						—						
混合廃棄物				2,523	130	—	429	159	1,736			3,473
特別管理産業廃棄物 計				1,302	5,910	—	3,080		226	381	2	
引火性廃油				580	3,605	—	1,430		221	51		
腐食性廃酸				171	1,583	—	291		2		2	
腐食性廃アルカリ				290	416	—	302		3			
感染性廃棄物					205	—	176			13		
特定有害鉱さい						—						
特定有害廃石綿等						—						
特定有害ばいじん						—				316		
特定有害燃え殻						—						
特定有害廃油				238	17	—	474					
特定有害汚泥				3		—	8					
特定有害廃酸				20	54	—	135			1		
特定有害廃アルカリ					20	—	264					
13号特定有害廃棄物						—						
廃PCB等					10	—						

(単位:t)

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その3)

(単位:t)

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	8,163	33,575	5,200	774	5	17	119					
産業廃棄物 計	8,163	27,459	3,745	460	5	17	70					
燃え殻		21										
汚泥		2,602	1,232	84	4	17	39					
廃油		4,452	1,870	139	1		31					
廃酸		1,109	130	1								
廃アルカリ	1,740	18,767	453	223								
廃プラスチック類	5,183	301	60	13								
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ		148										
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	10	54										
ガラス陶磁器くず	1,230											
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん		4										
13号廃棄物												
混合廃棄物		1										
特別管理産業廃棄物 計		6,116	1,455	314			49					
引火性廃油		217	185	88			49					
腐食性廃酸		3,159	6									
腐食性廃アルカリ		1,716	13	5								
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油				20								
特定有害汚泥		11										
特定有害廃酸		989	491									
特定有害廃アルカリ		24	760	89								
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等				112								

表7-6 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の処分量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計												
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等												

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	111,310											
産業廃棄物 計	92,475											
燃え殻	350											
汚泥	19,579											
廃油	16,563											
廃酸	8,089											
廃アルカリ	26,904											
廃プラスチック類	14,203											
紙くず	111											
木くず	845											
繊維くず	37											
動植物性残さ	1,620											
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	341											
ガラス陶磁器くず	769											
鉱さい	153											
がれき類	2,088											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	115											
13号廃棄物												
混合廃棄物	708											
特別管理産業廃棄物 計	18,835											
引火性廃油	6,426											
腐食性廃酸	5,214											
腐食性廃アルカリ	2,745											
感染性廃棄物	394											
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん	316											
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	749											
特定有害汚泥	22											
特定有害廃酸	1,690											
特定有害廃アルカリ	1,157											
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等	122											

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その2)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計				7,392	31,644	—	25,197	1	3,595	818	4	1,231
産業廃棄物 計				6,090	25,734	—	22,117	1	3,369	437	2	1,231
燃え殻				30	193	—	106					
汚泥				1,648	6,727	—	6,729		118	69		310
廃油				1,505	5,365	—	2,490		677	33		
廃酸				857	3,779	—	2,046	1	3	161	2	
廃アルカリ				1,495	2,319	—	1,853		53	1		
廃プラスチック類				375	5,686	—	5,405		2,189	172		9
紙くず				9	4	—	98					
木くず					591	—	254					
繊維くず						—	37					
動植物性残さ					561	—	31					880
動物系固形不要物						—						
ゴムくず						—						
金属くず				4	51	—	183		13			31
ガラス陶磁器くず				49	72	—	515		131	1		1
鉱さい						—	153					
がれき類					256	—	1,677		155			
動物のふん尿						—						
動物の死体						—						
ばいじん						—	111					
13号廃棄物						—						
混合廃棄物				118	130	—	429		30			
特別管理産業廃棄物 計				1,302	5,910	—	3,080		226	381	2	
引火性廃油				580	3,605	—	1,430		221	51		
腐食性廃酸				171	1,583	—	291		2		2	
腐食性廃アルカリ				290	416	—	302		3			
感染性廃棄物					205	—	176			13		
特定有害鉱さい						—						
特定有害廃石綿等						—						
特定有害ばいじん						—				316		
特定有害燃え殻						—						
特定有害廃油				238	17	—	474					
特定有害汚泥				3		—	8					
特定有害廃酸				20	54	—	135			1		
特定有害廃アルカリ					20	—	264					
13号特定有害廃棄物						—						
廃PCB等					10	—						

(単位:t)

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その3)

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	1,745	33,575	5,200	767	5	17	119					
産業廃棄物 計	1,745	27,459	3,745	453	5	17	70					
燃え殻		21										
汚泥		2,602	1,232	84	4	17	39					
廃油		4,452	1,870	139	1		31					
廃酸		1,109	130	1								
廃アルカリ	1,740	18,767	453	223								
廃プラスチック類		301	60	6								
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ		148										
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	5	54										
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん		4										
13号廃棄物												
混合廃棄物		1										
特別管理産業廃棄物 計		6,116	1,455	314			49					
引火性廃油		217	185	88			49					
腐食性廃酸		3,159	6									
腐食性廃アルカリ		1,716	13	5								
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油				20								
特定有害汚泥		11										
特定有害廃酸		989	491									
特定有害廃アルカリ		24	760	89								
13号特定有害廃棄物				112								
廃PCB等												

(単位:t)

表7-7 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の中間処理量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計												
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油												
廃酸												
廃アルカリ												
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油												
腐食性廃酸												
腐食性廃アルカリ												
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油												
特定有害汚泥												
特定有害廃酸												
特定有害廃アルカリ												
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等												

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その1)

(単位:t)

	合計	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
総計	14,995											57
産業廃棄物 計	14,995											57
燃え殻	186											
汚泥	1											
廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック類	5,540											34
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	5											
ガラス陶磁器くず	1,415											
鉱さい												
がれき類	4											
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん	78											
13号廃棄物												
混合廃棄物	7,766											23
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害汚泥												
特定有害廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等												

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その2)

(単位:t)

	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県
総計				2,635	42	—	7	159	1,706	195		3,769
産業廃棄物 計				2,635	42	—	7	159	1,706	195		3,769
燃え殻						—				186		
汚泥					1	—						
廃油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃酸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃アルカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廃プラスチック類				46	41	—	7	—	—	4	—	218
紙くず						—						
木くず						—						
繊維くず						—						
動植物性残さ						—						
動物系固形不要物						—						
ゴムくず						—						
金属くず						—						
ガラス陶磁器くず				184		—				1		
鉱さい						—						
がれき類						—				4		
動物のふん尿						—						
動物の死体						—						
ばいじん						—						78
13号廃棄物						—						
混合廃棄物				2,405		—		159	1,706			3,473
特別管理産業廃棄物 計						—						
引火性廃油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
腐食性廃酸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
腐食性廃アルカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性廃棄物						—						
特定有害鉱さい						—						
特定有害廃石綿等						—						
特定有害ばいじん						—						
特定有害燃え殻						—						
特定有害廃油	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定有害汚泥						—						
特定有害廃酸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定有害廃アルカリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13号特定有害廃棄物						—						
廃PCB等						—						

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その3)

	(単位:t)											
	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
総計	6,418			7								
産業廃棄物 計	6,418			7								
燃え殻												
汚泥												
廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック類	5,183			7								
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず	5											
ガラス陶磁器くず	1,230											
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害汚泥												
特定有害廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等												

表7-8 産業廃棄物の県内搬入状況(種類別、都道府県別の最終処分量)(石川県全体)(その4)

(単位:t)

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
総計												
産業廃棄物 計												
燃え殻												
汚泥												
廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廃プラスチック類												
紙くず												
木くず												
繊維くず												
動植物性残さ												
動物系固形不要物												
ゴムくず												
金属くず												
ガラス陶磁器くず												
鉱さい												
がれき類												
動物のふん尿												
動物の死体												
ばいじん												
13号廃棄物												
混合廃棄物												
特別管理産業廃棄物 計												
引火性廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腐食性廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性廃棄物												
特定有害鉱さい												
特定有害廃石綿等												
特定有害ばいじん												
特定有害燃え殻												
特定有害廃油	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害汚泥												
特定有害廃酸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定有害廃アルカリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13号特定有害廃棄物												
廃PCB等												

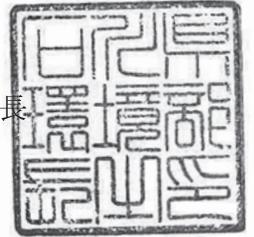
調 査 票 一 式



廃対第 3090 号
平成 28 年 1 月 29 日

調査対象事業者 各位

石川県環境部長



石川県廃棄物排出量実態調査について（依頼）

日頃から、廃棄物の適正処理につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の廃棄物処理を取り巻く状況は、各種リサイクル法の整備による循環型社会への転換、廃棄物処理法の改正による規制強化等大きく変化しております。

このため、県では廃棄物の排出、処理等の現状を的確に把握し、廃棄物に関する施策等の基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施することとし、その業務を応用技術株式会社に委託しました。

つきましては、誠に勝手ながら、その調査対象に貴事業所を選定させていただきましたので、ご多忙の折り恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、別紙「調査票の記入要領・記入例」に基づいて調査票にご記入の上、同封の返信用封筒により、平成 28 年 2 月 19 日（金）までに委託調査機関へご返送くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容につきましては、会社名や個人名を公表したり、この調査の目的以外に利用したりすることはありませんので、念のため申し添えます。

また、記入方法等にご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

【委託調査機関・お問い合わせ先・調査票送付先】

応用技術株式会社 エンジニアリング本部

〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西 2-4-12 梅田センタービル 10階

電 話： 0120-968-342（フリーコール）

受付時間： 9：00～17：00（12：00～13：00、土日・祝日除く。）

FAX： 06-6373-6126

【調査主体】

石川県 環境部 廃棄物対策課

〒920-8580 石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地

電 話： (076) 225-1472

回答票の電子ファイル（エクセルファイル）をWebページ（以下のURL参照）にアップロードしております。
調査票は「建設業」、「自動車解体・破砕業」、「廃棄物処分量」及び「その他の業種」の4種類ありますので、該当する調査票の電子ファイルをダウンロードしてご利用ください。

URL： <http://www.apptec.co.jp/sanpai/ishikawa.html>

なお、回答票を電子メールにより提出される場合は、以下の記入例を参考に宛名の下に記載しております
調査票番号（7桁コード）を件名に添えて送信ください。

件名（例）：「石川県産業廃棄物実態調査の回答（17X1234）」（調査票番号が17X1234の場合）
提出先： sanpai@apptec.co.jp

産業廃棄物実態調査票【その2】

＜平成26年度実績＞

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入して下さい。

②廃棄物の分類番号
別紙「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号の番号を記入して下さい。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量各、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、〇で囲んで下さい。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、〇で囲んで下さい。

⑥処理・処分方法
発生（自社で中間処理した場合、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名
処理・処分(⑥)に該当する)号を行なった先の名称を記入して下さい。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分(⑦)に該当する)号を行なった処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分方法」で「U1」（中間処理を委託）と回答された場合は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その番号を〇で囲んで下さい。
1. 再生利用・リサイクルしている。
2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分方法」で「V1、V2、W1、X1、R6」又は⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

●別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入して下さい。
●自社で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）全てが対象となります。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。

区分 行番	自社で発生した廃棄物等の発生量			自社での中間処理			自社処分・自社再利用・委託処理		委託中間処理		自社・委託での資源化	
	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量 百:十:万:千:百:十:一 万:千:百:十:一 単位	④方法番号 1次:2次:3次 処理:処理:処理	⑤中間処理後量 百:十:万:千:百:十:一 万:千:百:十:一 単位	⑥処理・処分方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次:2次:3次 処理:処理:処理	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

④中間処理方法コード表

A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 機械乾燥
E: 油水分離
F: 中和
G: 破砕

H: 分級
I: 圧縮
J: 溶解
K: 切断
L: 焼成
M: 堆肥化
(糞肥)

N: 鋸回収
O: カット固型化
V: 濃縮
W: 油化
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

具体的に

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理等>
V1: 自社(処理内)で再利用した。
V2: 自社(他工事項場等)で再利用した。
W1: 売却(利益があった)した。
Q1: 自社の処分場で埋立処分した。
Z1: 自社で保管している。
Z9: その他
具体的に

<市町村へ委託処理>
R1: 市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立処分した。
R5: 市町村等の清掃工場で焼却等の中間処理をした。
R6: 市町村等の清掃工場でリサイクルした。

<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
U1: 処理業者が中間処理(資源化・リサイクルを含む)を委託した。
X1: 廃品(資源)回収業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1: 処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1: 処理業者で直接埋立処分した。

⑨委託中間処理方法コード表

H: 分級
I: 圧縮
J: 溶解
K: 切断
L: 焼成
M: 堆肥化
(糞肥)

N: 鋸回収
O: カット固型化
V: 濃縮
W: 油化
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 機械乾燥
E: 油水分離
F: 中和
G: 破砕

具体的に

⑪資源化用途コード表

10: 鉄鋼原料
20: 非鉄金属等原料
30: 燃料
50: 再生タイヤ
90: セメント原料
91: 再生油・再生溶剤
92: 中和剤
93: 高炉還元剤
51: 再生木材・合板
60: パルプ・紙原料

70: グラス原料
80: プラスチック原料
81: 再生タイヤ
90: セメント原料
91: 再生油・再生溶剤
92: 中和剤
93: 高炉還元剤
51: 再生木材・合板
60: パルプ・紙原料

⑩-⑪に該当するものがない場合、⑩の枠中に具体的な用途を直接記入して下さい。

<調査票の記入要領・記入例>

調査対象期間

- この調査の対象工事は、平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）に施工した建設工事です。
- この期間中の廃棄物の発生と処理・処分状況を質問①～④までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする工事と廃棄物

- この調査では、県内で施工した元請工事から発生した副産物（産業廃棄物、有機・無機引渡物）が記入の対象となります。
- 廃棄物がどのような状態に分類されているかを必ずために、裏面に「**廃棄物分類表**」を掲げてありますので参考にしてください。

発生量について

発生量について「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」、「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。

○**自社で焼却している場合**、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。（記入例Cを参考にしてください）

木くず、紙くず、鉄くず、プラスチック等が焼却している場合は「③年間発生量」は、**焼却前の量**です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、**焼却前の名称とその分類番号**となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○**自社で脱水している場合**の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。（記入例Eを参考にしてください）

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。

$$\text{<式>} : (\text{脱水前の汚泥量}) \times (100\% - \text{脱水後の含水率}\%) = (\text{100}\% - \text{脱水前の含水率}\%)$$

調査票（その2）の記入例

本紙の裏面の「**廃棄物分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

微量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合には、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに〇をつけて下さい。

区分 行 番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量			④方法番号			⑤中間処理後量	⑥処理・ 処分の 方法	⑦処理・処分又は 再生利用先の所在地	⑧処理・処分又は 再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次:2次:3次 処理:処理:処理	⑩資源化用途
			百 万	千	百	十	一	1次						
記入例:A	鉄筋くず	1.2	1.0	0	0	0	0	0	W	焼却	焼却	1	70	
記入例:B	木くず	0.8	1.0	3	0	0	0	0	U	焼却	焼却	0	30	
記入例:C	廃プラスチック	0.6	0.0	1	0	0	0	0	S	焼却	焼却	0	30	
記入例:D	廃プラスチック	0.6	0.0	5	0	0	0	0	U	焼却	焼却	0	30	
記入例:E	ベントナイト汚泥	0.2	2.3	6	0	0	0	0	U	焼却	焼却	0	50	
記入例:F	コンクリートのがれき	1.5	0.1	1	2	0	0	0	U	焼却	焼却	0	50	
記入例:G	石綿含有(緑膿菌性)のがれき	2.4	4.0	5	0	0	0	0	S	焼却	焼却	0	50	

ここでは、中間処理業者等（運搬先の名称）を記入して下さい。廃棄物が中間処理後に再委託されていたり、最終処分されている場合は、最初の中間処理業者の名称と所在地を記入して下さい。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有機・無機引渡物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問⑩の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認しううえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

- A:焼却
B:脱水
C:木屑乾燥
D:土質改良材
E:泥水分離
F:中和
G:破砕
H:分級
I:選別
J:選別
K:切断
L:堆肥化(保種)
M:堆肥化(保種)
N:固液分離
O:圧縮
P:圧縮
Q:圧縮
R:圧縮
S:圧縮
T:圧縮
U:圧縮
V:圧縮
W:圧縮
X:圧縮
Y:圧縮
Z:その他

⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>
V1:自社(県内)で再利用した。
V2:自社(県外)で再利用した。
W1:自社の工場等で焼却した。
W2:自社の工場等で焼却した。
Z1:自社で焼却している。
Z2:自社で焼却している。
<産業廃棄物処理業者等へ委託処理>
X1:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X2:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X3:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X4:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X5:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X6:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X7:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X8:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X9:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。
X0:委託先(焼却)の回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に委託して焼却した。

⑨委託中間処理方法コード表

- A:焼却
B:脱水
C:木屑乾燥
D:土質改良材
E:泥水分離
F:中和
G:破砕
H:分級
I:選別
J:選別
K:切断
L:堆肥化(保種)
M:堆肥化(保種)
N:固液分離
O:圧縮
P:圧縮
Q:圧縮
R:圧縮
S:圧縮
T:圧縮
U:圧縮
V:圧縮
W:圧縮
X:圧縮
Y:圧縮
Z:その他

⑩資源化用途コード表

- 10:鉄屑原料
20:非鉄金属屑原料
30:燃料
40:肥料
41:飼料
42:肥料
43:土壌改良材
50:土木・建設用材
60:木材・建築用材
70:ガラスチップ原料
80:プラスチック原料
90:セメント原料
91:セメント原料
92:セメント原料
93:高炉原料
98:その他

⑩処理後の処分方法
1:再利用・再生利用している
2:埋立処分している
3:海投処分している

記入例:A

- ・工事現場から鉄筋くずが年間9t発生したが、すべて焼却した。
- ・相手が先で、鉄鋼材として再生利用している。

記入例:B

- ・工事現場から建設木くずが年間2t発生したが、すべて30分(すべて高杯)発生した。
- ・1台当たりの重量が1程度であるため、重量に換算すると、30tである。
- ・これは、〇×市にある〇×商店に料金を払って処理を委託した。相手先では、破砕チップ化、燃料として再生利用している。

記入例:C

- ・工事現場から廃プラスチックが年間10t発生した。
- ・すべて自社の焼却炉で焼却した。その灰の量は年間1t程度であり、〇×町にある〇×の処分場で埋立処分した。

記入例:D

- ・工事現場からプラスチックくずが年間5t発生した。
- ・これは、〇×市にある〇×の焼却炉に中間処理を委託した。
- ・委託先では圧縮して固形燃料を製造している。

記入例:E

- ・工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
- ・脱水後の汚泥量は、100t(含水率70%)であった。
- ・脱水前の量は、把握していないので正確ではないが、脱水前の含水率が95%であるため、計算すると600tとなる。(100t × (100 - 70) ÷ (100 - 95) = 600t)
- ・処理後の汚泥は、〇×市にある〇×の焼却炉に委託しており、焼却炉では機械乾燥後、埋立処分しているとの事である。

記入例:F

- ・工事現場からコンクリートのがれき等が10t発生したが、重量に換算すると120t程度である。
- ・これは、〇×市に破砕プラントを保有する〇×の焼却炉に中間処理を委託した。〇×の焼却炉では破砕後、骨材として再生利用している。

記入例:G

- ・工事現場から石綿(非飛散性)が含まれたがれき等が50t発生した。
- ・これは、石綿含有産業廃棄物の処理が定められた〇×市にある〇×の焼却炉を保有する〇×の焼却炉に委託して埋立処分した。

廃棄物分類表

1. 産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物を除く)

廃棄物の種類	分類番号	具体例
燃え殻	0100	
焼却灰	0110	石灰、産業物の焼却灰など【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の産業物の種類で記入】
廃カーボン・活性炭	0120	廃カーボン、廃活性炭など
汚泥(泥状のもの)	0200	
有機性汚泥	0210	ビルビット汚泥、余剰汚泥、糊かすなどの有機性産業物
無機性汚泥	0220	めっき汚泥、凝集沈殿汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性産業物
建設汚泥	0223	建設汚泥、ベントナイト汚泥等【注：建設発生土は除く】
廃油	0300	
一般廃油	0310	
鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、絶縁油、塗料(液状)など
動植物性油	0312	魚油、鯨油、なたね油、やし油、ひまし油、大豆油、豚脂、牛脂など
廃溶剤	0320	有機化合物を含まない溶剤、アルコール、ケトン、洗浄油など
固形油	0330	アスファルト、ターピッシュ類、固形石けんなど
油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの(タンクスラッジ、オイルスラッジなど)
油付着物	0350	油のしみたウエス、油紙くず、オイルフィルターなど
廃酸	0400	酸性を示す液状物(エッチング廃液、pH2.0以上の塩酸、硫酸など)
写真定着廃液	0401	レントゲン、銀塩写真等の定着廃液(現像液は廃アルカリ)
有機性廃酸	0402	ギ酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸など
廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物(写真現像液、検査廃液、不凍液など)
写真現像廃液	0501	レントゲン、銀塩写真等の現像廃液(定着液は廃酸)
廃プラスチック類	0600	
廃タイヤ	0601	廃タイヤ
自動車用プラスチックバンパー	0602	自動車用プラスチックバンパー
廃農業用ビニール	0603	廃農業用ビニール
プラスチック製廃容器包装	0604	プラスチック製廃容器包装
発泡プラスチック	0605	発泡スチロール、発泡ポリスチレン、発泡ウレタン等
塩化ビニル製建設資材	0606	塩化ビニル製建設資材
ポリオマス廃プラスチック	0607	石油などの化学物質からではなく、トワモロコシやサトウキビ等の生物資源(バイオマス)から作られたプラスチック
石綿含有物(普通産廃)	2430	石綿の含有量が0.1%を超えるもの(ビニル床タイルなど)
紙くず	0700	
建設工事の紙くず	0710	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた紙くず(壁紙、障子紙、紙袋など)
ダンボール	0711	ダンボール
石綿含有物(普通産廃)	2450	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
木くず	0800	
建設工事の木くず	0810	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた木くず(型枠、足場材、伐採材など)
伐採材・伐根材	0811	伐採材・伐根材
パレット	0820	パレット
石綿含有物(普通産廃)	2460	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
繊維くず(天然繊維くず)	0900	
建設工事の繊維くず	0910	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた繊維くず(畳、紙巻、カーテンなど)【注：合成繊維は廃プラスチック類に該当】
石綿含有物(普通産廃)	2470	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
ゴムくず(天然ゴムくず)	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラスチック類に該当】

1. 産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物を除く)

廃棄物の種類	分類番号	具体例
金属くず	1200	鉄鋼または非鉄金属の破片、研削くず、切削くずなど
鉄くず	1210	鉄くず
非鉄金属くず	1220	非鉄金属くず
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300	
ガラスくず	1310	窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス製品くず、白熱電球(蛍光灯は廃電気機械器具に該当)など
陶磁器くず	1320	セラミックスくず、レンガ、瓦、陶器など
コンクリートくず(がれき類を除く)	1321	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
石膏ボード	1322	石膏ボードくず
石綿含有物(普通産廃)	2420	石綿の含有量が0.1%を超えるもの(スレート板、パーライト板、石綿セメント円筒など)
鉱さい	1400	鑄砂、不良鉱石、サンドブラスト塵砂、キューポラのノロなど
スラグ	1401	高炉・転炉・電気炉等の残さ
がれき類	1500	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片など
コンクリート破片	1501	コンクリート破片
アスファルト・コンクリート破片	1502	アスファルト・コンクリート破片
石綿含有物(普通産廃)	2440	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
ばいじん	1800	大気汚染防止法第2条第2項のばいじん発生施設及び汚泥、廃油等の産業廃棄物の焼却施設の集じん施設で回収したもの
建設混合廃棄物	2000	建設廃棄物のうち工事現場内及び自社にて分別不可能なもの
安定型建設混合廃棄物	2010	安定型産業廃棄物(廃プラ、金属くず、ガラスくずなど)が混在しているもの
管理型建設混合廃棄物	2020	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物が混在しているもの
石綿含有物(普通産廃)	2410	石綿の含有量が0.1%を超えるものが混在しているもの
廃自動車	3000	自動車(バイク)以外の対象外の廃自動車(小型特殊自動車、抜けけん引車等)
廃二輪車	3010	廃バイク、廃自転車
廃電気機械器具	3100	家電(マイク)以外の対象機器を除く電気機械器具
廃電池類	3500	廃電池、廃バッテリーなど

2. 特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	分類番号	具体例
廃油	7000	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油
廃酸	7100	pH2.0以下の酸性廃液
廃アルカリ	7200	pH12.5以上のアルカリ性廃液
感染性廃棄物	7300	血液や体液、病原性微生物等が付着したガーゼ、注射器、手袋、衣類等
特定有害産業廃棄物	7400	
廃石綿等(飛散性)	7421	吹き付け石綿、石棉含有保温材料、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
指定下水汚泥	7422	下水道法施行令第13条の4の規定により指定された汚泥
鉱さい(有害物質を含む)	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
燃え殻(有害物質を含む)	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
廃油(有害物質を含む)	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油・廃溶剤
汚泥(有害物質を含む)	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥
廃酸(有害物質を含む)	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
廃アルカリ(有害物質を含む)	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
ばいじん(有害物質を含む)	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
廃PCB・PCB廃棄物	7801	廃PCB、PCB使用電気機器、PCB汚染物など
微量PCB含有廃棄物	7802	微量PCB含有廃棄物、低濃度PCB使用電気機器(蛍光灯安定器など)

産業廃棄物実態調査票【その1】

石川県

調査票番号

1. 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。

2. 本調査の対象期間は平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）です。

3. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場、関連施設等があってもそれは調査の対象となりません。

4. 調査票（その2）に貴事業所から発生する産業廃棄物等の状況について記入して下さい。産業廃棄物等が調査の対象期間中に何れも発生しなかった場合は、本調査票（その1）の「事業所の概要」、「事業の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。

事業所の概要		事業所名	製造品出荷額(製造業のみ記入)		事業所の形態	
所在地	記入者氏名	平成27年3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。	平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間の額(平成26年分でも可。消費税を含む)を記入して下さい。		貴事業所の形態に対する番号に○を付けて下さい。	
記入者部課	記入年月日	千 百 十 万 円	千 百 十 万 円	① 工場・作業所・鉱業所		
電話番号 (向合せ先)	平成	億 円	億 円	② 開発研究のみ		
	年	人	万 円/年	③ 事務所のみ		
	月			④ 医療機関		
	日			⑤ その他 ()		
事業の概要		病床数 (医療機関のみ記入)	販売額(卸売業、小売業のみ記入)			
		平成27年3月31日現在の病床数を記入して下さい。	平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間の額(平成26年分でも可。消費税を含む)を記入して下さい。			
		千 百 十 万 床	千 百 十 万 円			
		億 円	億 円			
		床	万 円/年			
事業内容 (具体的に)						

次へ

平成26年度の1年間に産業廃棄物等は発生しましたが、該当する番号に○を付けて下さい。
※再生利用された物、有償等で引き渡している副産物も対象として下さい。

① 発生した。

② 発生しなかった。

次へ

裏面の「その2」へ

「事業所の概要」「事業の概要」の記入を確認したら、そのまま返送して下さい。

産業廃棄物実態調査票【その2】

<平成26年度実績>

その他の業種

- 別紙「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入して下さい。再生利用、売却をしている場合も記入して下さい。
- 自社で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）全てが対象となります。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入して下さい。

②廃棄物の分類番号
別紙「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入して下さい。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量（焼却や脱水などの中間処理をする前の量）で記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、〇で囲んで下さい。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残存量を記入して下さい。なお、単位は該当するものを選び、〇で囲んで下さい。

⑥処理・処分方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入して下さい。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称
処理・処分（⑥）に該当する先の名前を記入して下さい。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑦）に該当する先を記した処理・処分施設のある所在地を記入して下さい。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分方法」で「U1（中間処理を委託）」と回答された場合は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入して下さい。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その番号を〇で囲んで下さい。
1. 再生利用・リサイクルしている。
2. 埋立処分している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分方法」で「V1、V2、W1、X1、R6」又は⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入して下さい。

区分	自社で発生した廃棄物等の発生量			自社での中間処理			自社処分・自社再生利用、委託処理		委託中間処理		自社・委託での資源化	
	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量 百: 十: 万: 千: 百: 十: 一: 単位	④方法番号 1次: 2次: 3次: 処理: 処理: 処理: 単位	⑤中間処理後量 百: 十: 万: 千: 百: 十: 一: 単位	⑥処理・処分方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次: 2次: 3次: 処理: 処理: 処理: 単位	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途	
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

④中間処理方法コード表

J: 溶融
K: 切断
L: 焼成
M: 焼成(原料)
N: 選別
O: 固形燃料化
P: 固形燃料化
Q: 固形燃料化
R: ターブル
S: 薬物消滅
V: 濃縮
W: 油化
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

⑥処理・処分方法コード表

<自己処理等>
V1: 自社（事業所内）で再処理した。
V2: 自社（他事業所）で再処理した。
W1: 売却（処分場があった）した。
Q1: 自社の処分場で埋立処分した。
Z1: 自社で保管している。
Z9: その他

<再町村へ委託処理>
R1: 市町村等が設置する一般廃棄物処分場で埋立処分した。
R2: 市町村等の清掃工場で焼却の中間処理をした。
R6: 市町村等の清掃工場でリサイクルした。
U1: 処理業者へ委託処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X1: 産品（資源）回収業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1: 処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1: 処理業者で直接埋立処分した。

⑨委託中間処理方法コード表

J: 溶融
K: 切断
L: 焼成
M: 焼成(原料)
N: 選別
O: 固形燃料化
P: 固形燃料化
Q: 固形燃料化
R: ターブル
S: 薬物消滅
V: 濃縮
W: 油化
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

⑪資源化用途コード表

10: 鉄鋼原料
20: 非鉄金属等原料
30: 燃料
40: 肥料
41: 飼料
42: 肥料
43: 土壌改良材
50: 土木・建設資材
51: 再生木材・合板
60: ハルブ・紙質原料
70: ガラス原料
80: プラスチック原料
81: 再生タイヤ
90: セメント原料
91: 再生油・再生溶剤
92: 中和剤
93: 高炉還元
98: その他

<調査票の記入要領・記入例>

調査対象期間

- この調査の調査期間は、平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の1年間です。
- この期間中の廃棄物の発生と処理・処分状況を調査票①～④までを添付して記入して下さい。

調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した副産物（産業廃棄物、有機・無機汚泥物）だけ記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「**廃棄物分類表**」を掲げておきますので参考にしてください。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の両方に、「**焼却**」、「**脱水**」、「**焼却**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。
- 自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。（記入欄Dを参考にしてください）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、**焼却前**の量です。従って「①廃棄物の名称」と「②分類番号」は、**焼却前**の名称とその分類番号となります。なお、**焼却後の底**の量が「⑤中間処理量」となります。
- 自社で脱水**している場合の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。（記入欄Eを参考にしてください）
汚泥の発生量、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、**脱水前**の重量を把握していない場合は、下記の式より計算して下さい。

$$\text{発生量} = (\text{脱水前の汚泥発生量}) \times (100\% - \text{脱水後の含水率}) \div (100\% - \text{脱水前の含水率})$$
- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。
○**廃油**、**廃アクリル**を公共水域（河川、公共下水道等）へ放流するために中間処理した場合、→ 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
○**含油廃水**を油水分離した場合、→ 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（それぞれ1行ずつ）発生量とします。

調査票（その2）の記入例

区分	①廃棄物の名称	②分類番号		③年間発生量			④方法番号			⑤中間処理量	⑥処理・処分方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途	
		百	十	万	千	百	十	万	千								百
記入例A	鉄板くず	1	2	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	70
記入例B	機械油	0	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
記入例C	廃タイヤ	0	6	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
記入例D	木くず	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
記入例E	汚水処理汚泥	0	2	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
記入例F	感染性廃棄物	7	3	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90

本紙の裏面の「**廃棄物分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

重量又は容積換算廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに〇を付けて下さい。

廃棄物を委託処理している場合で、委託後の具体的な処理・処分方法を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不特定の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかるところで記入して下さい。

ここで、中間処理業者等（運搬先の名称）を記入して下さい。廃棄物が中間処理後に再委託されていたり、最終処分されている場合は、最初の中間処理業者の名称と所在地を記入して下さい。

記入例：A

- ・鉄板の加工の際に鉄板くずが年間12t発生した。
- ・これを、〇〇市にある堺口に売却した。
- ・堺口では鉄鋼材料として利用している。

記入例：B

- ・月平均で一斗缶5本ぐらいの機械油が発生した。
- ・重量換算すると年間に1080kgである（18kg×5本×12ヶ月）。
- ・これを、▲×県〇×市の再生業者へ売却した。
- ・▲×県〇×市の再生業者は、再生タイヤとして利用している。
- ・××商店では、油水分離後、燃料として再利用している。

記入例：C

- ・年間に廃タイヤが400kg発生した。
- ・廃タイヤは、納入業者である〇〇町の■■■■タイヤ販売に渡した。
- ・■■■■タイヤ販売では再生タイヤとして利用している。

記入例：D

- ・木くずが年間10t発生した。
- ・これは、自社の焼却炉で全焼却した。
- ・焼却灰が、500kg程度発生し、これを××市に処分場を保有する■×▼で直接処理処分した。

記入例：E

- ・無機性の排水処理汚泥が発生した。
- ・自社の施設で脱水→乾燥を行い、乾燥後の残さが10t（含水率85%）であった。
- ・排水前の量は、把握していないので正確ではないが、排水前の含水率が97%であるため、計算すると50t程度となる。

$$(10 \times (100 - 85)) \div (100 - 97) = 50 \text{ t}$$
- ・処理後の汚泥は、〇×県〇市にある□×■セメント製造工場に処理した。委託先では、セメント原料として再生利用している。

記入例：F

- ・感染性廃棄物が年間1,200リットル発生した。
- ・専用のダストボックスで保管した後、××市に処理施設を保有する△△産業に委託し、焼却処理してもらった。
- ・焼却後の燃え殻は埋立処分しているとのことである。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有機あるいは無機汚泥物である副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マネージャーストンプ等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認しううえで記入して下さい。

④処理・処分方法コード表

- ＜自己処理＞
 V1：自社（従業員等）で再利用した。
 W1：自社（従業員等）で売却した。
 W2：自社（従業員等）で処分した。
 G1：自社の処分場で埋立処分した。
 Z1：自社の処分場にて焼却した。
 U1：産業廃棄物処理業者（委託先）へ委託処理した。
 X1：廃品（資源）回収業者、あるいは納入業者、関連企業等に再生処理を委託した。
 M：担別（鉄屑）
 N：担別（その他）
 O：コンクリート製材
 P：乾燥機
 R1：市街地等が設置する一般廃棄物処分場で埋立処分した。
 R5：市街地等の清掃工場等が設置する一般廃棄物処分場で埋立処分した。
 R6：市街地等の清掃工場でリサイクルした。
 Z9：その他

⑥処理・処分方法コード表

- ＜委託中間処理方法＞
 A：焼却
 B：脱水
 C：天日乾燥
 D：天日焼却
 E：油水分離
 F：中和
 G：破砕
 H：分級
 I：圧縮
 J：溶融
 K：切削（セメント原料用）
 M：担別（鉄屑）
 N：担別（その他）
 O：コンクリート製材
 P：乾燥機
 Q：煮沸
 R：オートクレーブ
 S：薬液処理
 W：担別
 X：選別
 Y：固形燃料化
 Z：その他

⑩資源化用途コード表

- 10：鉄鋼原料
 20：非鉄金属等原料
 30：燃料
 40：肥料
 41：飼料
 42：飼料
 43：工業原料
 50：土木、建設材料
 51：再生木材、合板
 60：丸木、紙原料
 70：丸木、紙原料
 80：再生紙原料
 90：再生油、再生溶剤
 91：再生油、再生溶剤
 92：中核材
 93：高炉渣
 コークス炉化学原料
 98：その他

⑩処理後の処分方法

- 1：再利用・再生利用している
 2：埋立処分している
 3：焼却処分している

廃棄物を委託処理している場合で、委託後の具体的な処理・処分方法を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不特定の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかるところで記入して下さい。

重量又は容積換算廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに〇を付けて下さい。

本紙の裏面の「**廃棄物分類表**」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

廃棄物分類表

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）つづき

廃棄物の種類	分類番号	具体例
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300	
ガラスくず	1310	窓ガラス、びん類、ガラスワールガラス製品くず、白熱電球（蛍光灯は廃電気機械器具に該当）など
陶磁器くず	1320	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
コンクリートくず（かれき類を除く）	1321	コンクリート製品のくず、コンクリートから、裏りコンクリートなど
石膏ボード	1322	石膏ボードくず
石綿含有物（普通産廃）	2420	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（スレート板、パライット板、石綿セメント円筒など）
鉱さい	1400	鍾物砂、不良鉱石、サンドブラスト廃砂、キューボラのノロなど
スラグ	1401	高炉・転炉・電気炉等の残さ
がれき類	1500	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片など
コンクリート破片	1501	コンクリート破片
アスファルト・コンクリート破片	1502	アスファルト・コンクリート破片
石綿含有物（普通産廃）	2440	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
動物のふん尿	1600	畜産農業から排出されるもの
動物の死体	1700	畜産農業から排出されるもの
ばいじん	1800	大気汚染防止法第2条第2項のばい煙発生施設及び汚泥、廃油等の産業廃棄物の焼却施設の集じん施設で回収したもの
混合廃棄物	2000	
安定型混合廃棄物	2010	安定型産業廃棄物（廃ガラス、金属くず、ガラスくずなど）が混在しているもの
管理型混合廃棄物	2020	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物が混在しているもの
石綿含有物（普通産廃）	2410	石綿の含有量が0.1%を超えるものが混在しているもの
シュレッダーダスト	2300	廃電気機械器具の破砕物
廃自動車	3000	自動車リサイクル法の対象外の廃自動車（小型特殊自動車、被けん引車等）
使用済み自動車	3001	自動車リサイクル法による使用済み自動車
廃二輪車	3010	廃バイク、廃自転車
廃電気機械器具	3100	家電リサイクル法の対象機器を除く廃電気機械器具
廃電池類	3500	廃電池、廃バッテリーなど

2. 特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	分類番号	具体例
廃油	7000	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油
廃酸	7100	pH2.0以下の酸性廃液
廃アルカリ	7200	pH12.5以上のアルカリ性廃液
感染性産業廃棄物	7300	血液や体液、病原性微生物等が付着したガーゼ、注射器、手袋、衣類等
特定有害産業廃棄物	7400	
廃石綿等（飛散性）	7421	吹き付け石綿、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
指定下水汚泥	7422	下水道法施行令第13条の4の規定により指定された汚泥
鉱さい（有害物質を含む）	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
燃え殻（有害物質を含む）	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
廃油（有害物質を含む）	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油・廃溶剤
汚泥（有害物質を含む）	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥
廃酸（有害物質を含む）	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
廃アルカリ（有害物質を含む）	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
ばいじん（有害物質を含む）	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
廃PCB・PCB廃棄物	7801	廃PCB、PCB使用電気機器、PCB汚染物など
微量PCB含有廃棄物	7802	微量PCB含有廃棄物

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）

廃棄物の種類	分類番号	具体例
燃え殻	0100	
焼却灰	0110	石炭灰、廃棄物の焼却灰など【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合は、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入】
廃カーボン・活性炭	0120	廃カーボン、廃活性炭など
汚泥（泥状のもの）	0200	
有機性汚泥	0210	製紙スラッジ、ピルピット汚泥、余剰汚泥、糊かす、うるしかすなど
下水汚泥	0211	排水処理や下水処理の各過程で発生した汚泥
無機性汚泥	0220	めつき汚泥、凝集沈殿汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
上水汚泥	0221	浄水処理の各過程で発生した汚泥、沈砂
廃油	0300	
一般廃油	0310	
鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリズ、絶縁油、廃塗料（液状）など
動物性油脂	0312	魚油、鯨油、なたね油、やし油、ひまし油、大豆油、豚脂、牛脂など
廃溶剤	0320	有機化合物を含まない溶剤、アルコール、ケトン、洗浄油など
固形油	0330	アスファルト、ターペルピッチ類、固形石けんなど
油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接埋立処分できないもの（タンクスラッジ、オイルスラッジなど）
油付着物	0350	油のしみたウエス、油紙くず、オイルフィルターなど
廃酸	0400	酸性を示す液状物（エッチング廃液、pH2.0以上の塩酸、硫酸など）
写真定着液	0401	レントゲン、銀塩写真等の定着廃液（現像液は廃アルカリ）
有機性廃酸	0402	乙酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸など
廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物（写真現像液、検査廃液、不凍液など）
写真現像液	0501	レントゲン、銀塩写真等の現像廃液（定着液は硫酸）
廃プラスチック類	0600	
廃タイヤ	0601	廃タイヤ
自動車用プラスチックバンパー	0602	自動車用プラスチックバンパー
農業用ビニール	0603	農業用ビニール（ビニールハウス、畝のマルチング用ビニール）
プラスチック製廃容器包装	0604	プラスチック製廃容器包装
発泡プラスチック	0605	発泡スチロール、発泡ポリスチレン、発泡ウレタン等
塩化ビニル製建設資材	0606	塩化ビニル製建設資材
バイオマス廃プラスチック	0607	石油などの化学物質からではなく、トウモロコシやサトウキビ等の生物資源（バイオマス）から作られたプラスチック
石綿含有物（普通産廃）	2430	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（ビニル床タイルなど）
紙くず	0700	紙・紙加工品製造業、製本業等から排出される紙くず
木くず	0800	木材・木製品製造業、パルプ製造業等から排出される木くず
パレット	0820	パレット
繊維くず（天然繊維くず）	0900	綿、絹、羊毛等の繊維製品製造業から排出される天然繊維くず【注：ナイロン、ポリエステル等の合成繊維は廃プラスチックに該当】
動物性残渣	1000	食品製造業等から排出される、原料として使用した動物体に係る固形物の不要物
動物系固形不要物	4000	と畜場、食鳥処理場から排出される食鳥に係る固形物の不要物
ゴムくず（天然ゴムくず）	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラスチックに該当】
金属くず	1200	鉄鋼または非鉄金属の破片、研磨くず、切欠くずなど
鉄くず	1210	鉄くず
非鉄金属くず	1220	非鉄金属くず

産業廃棄物実態等調査票【その1】

石川県

調査票番号

1. 本調査は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物の全てが対象となります。
2. 本調査の対象期間は**平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）**です。
3. 本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関して以下の質問にお答え下さい。そのため、貴事業所以外に貴社の本社、工場、関連施設等があってもそれは調査の対象とありません。
4. 調査票（その2）に貴事業所から発生する産業廃棄物の状況について記入して下さい。**産業廃棄物が調査の対象期間中に何も発生しなかった場合は、本調査票（その1）の「事業所の概要」、「事業の概要」欄をご回答の上、ご返送下さい。**

事業所名		記入者氏名	
所在地		記入年月日	
記入者部課			
電話番号 (問合せ先)			

事業の概要

平成26年度の1年間に廃自動車等の解体・破碎を実施しましたか。
該当する番号に○を付けて下さい。
※**廃自動車は自動車リサイクル法の対象となる廃自動車に限り**ます。

① 解体・破碎処理した。 ② 解体・破碎処理しなかった。

年間解体台数	年間破碎台数
平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間で解体した台数を記入して下さい。	平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間で、破碎・プレスした台数を記入して下さい。
台	台

「事業所の概要」「事業の概要」を記入し、返送して下さい。

裏面の調査票（その2）に貴事業所から発生した産業廃棄物等について記入して下さい。

<調査票の記入要領・記入例>

調査対象期間

- この調査の**知覚期間**は、平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理、処分状況を知覚①～②までの流れに従って記入して下さい。

調査対象とする事業所と廃棄物

- この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した副産物(産業廃棄物、有機・無機引渡物)だけが記入の対象となります。
- 廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「**廃棄物分類表**」を掲げてありますので参考にしてください。

発生量について

- 発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「**焼却**」、「**脱水**」等の処理を行う前の「**名称**」と「**数量**」をお答え下さい。
- 自社で焼却**している場合、発生した廃棄物とは**焼却前のもの**です。(記入例Dを参考して下さい)
- この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。
- 自社で脱水**している場合の発生した廃棄物とは**脱水前のもの**です。(記入例Eを参考にしてください)
- この調査では、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された1年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の重量を把握していない場合は、下記の式により計算して下さい。

$$\text{＜式＞} : (\text{脱水前の汚泥発生量}) \times (100\% - \text{脱水後の含水率}) \div (100\% - \text{脱水前の含水率})$$

- ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。
- 焼却、焼アリカリを公共水域(河川、公共下水道等)へ放流するために中和処理した場合、→中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
- 含油廃水を油分離した場合、→油分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に(それぞれ1行ずつ)発生量とします。

調査票(その2)の記入例

本紙の裏面に「廃棄物分類表」を参照して下さい。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

廃棄物又は液体廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgに〇を付けて下さい。

区分	①廃棄物の名称	②分類番号		③年間発生量		④方法番号		⑤中間処理後量
		百	十	千	百	十	百	
記入例A	解体自動車(廃車ガラ)	3	0	0	1	9	7	5
記入例B	廃油(エンジンオイル)	0	8	1	0	2	4	0
記入例C	廃機油(廃機油)	7	0	0	0	5	0	0
記入例D	廃タイヤ	0	6	0	1	7	5	0
記入例E	鉄くず(部品くず)	1	2	1	0	1	2	0
記入例F	廃プラスチック(パバー等)	0	6	0	2	5	0	0
7	ガラスくず	1	3	1	0			
8	廃バッテリー	3	5	0	0			
9	クーラント液(LCC)							

⑥処理・処分方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次:2次:3次 処理:処理:処理	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途
U7	(株)△△	都道府県	G	①	10
U7	□□(有)	都道府県	E	②	30
V7		都道府県		③	30
U7	(株)XX	都道府県	G	④	30
W7	□□商店	都道府県	G	⑤	10
S7	△△産業(株)	都道府県	I	⑥	

ここでは、中間処理業者等(運搬先の名称)を記入して下さい。廃棄物が中間処理後に再委託されていたり、最終処分されている場合は、最初の中間処理業者の名称と所在地を記入して下さい。

記入例A

- 年内に解体自動車ガ915台発生した。
- 〇〇市にある破砕業者の(株)△△に処理を委託した。
- (株)△△では、シュレッダー処理後に鉄くず等を回収している。

記入例B

- 月にトラム缶1本ぐらゐの廃油が発生した。
- 年間の発生量を計算すると2400リットルである。
- (200リットル×1本×12ヶ月)
- 〇〇市の□□(有)に処理を委託した。
- (有)では油水分離後、燃料として再生利用している。

記入例C

- 廃カソリンが年間約500リットル発生した。
- 自社で燃料として再生利用した。

記入例D

- 年間に廃タイヤが150本発生した。
- X●市にある、(株)XXに委託処理した。
- (株)XXでは、破砕後にセメント会社に燃料として販売している。

記入例E

- 鉄くずが年間約1,200kg発生した。
- X〇県△〇市にある□□商店に売却した。
- 商店では、破砕・圧縮後、鉄鋼材として鉄鋼メーカーに販売している。

記入例F

- 廃プラスチックが年間500kg発生した。
- XV市に理立処分場を保有する△△産業(株)の処分場で理立処分した。

記入について

- 記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有機あるいは無機で引渡している副産物です。
- 同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入して下さい。
- 処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考に記入して下さい。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入して下さい。

④中間処理方法コード表

- A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 天日乾燥(乾燥機併用)
E: 脱水分離
F: 中割
G: 破砕
H: 分級
I: 圧縮
J: 溶融
K: 切削
L: 圧縮(セメント原料用)
M: 焼却(粉砕)
N: 粉砕
O: コングリート固体化
P: 乾熱風通
Q: 乾燥
R: オートクレーブ
S: 蒸気処理
T: 焼却
W: 焼却
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

⑥処理・処分方法コード表

- <自己処理>
V11: 自社で焼却した。
W1: 自社で焼却し、灰を再利用した。
W2: 自社で焼却し、灰を埋立処分した。
Q1: 自社の処分場で理立処分した。
Z1: 自社で保管している。
<運送業者が焼却処理業者等へ委託処理>
U1: 運送業者が焼却処理業者等へ委託処理した。
X1: 廃品(資源)回収業者、あるいは輸入業者、製造企業等に委託した。
S1: 廃品(資源)回収業者、あるいは輸入業者、製造企業等に委託した。
T1: 処理業者で焼却処理した。
<卸付相手へ委託処理>
R1: 卸付相手等が焼却する一般廃棄物処分場で理立処分した。
R5: 卸付相手の工場等で焼却等の中間処理をした(ごみ焼却炉等)
R6: 卸付相手の工場等でリサイクルした。
<その他>
Z9: その他

⑨委託中間処理方法コード表

- A: 焼却
B: 脱水
C: 天日乾燥
D: 天日乾燥(乾燥機併用)
E: 脱水分離
F: 中割
G: 破砕
H: 分級
I: 圧縮
J: 溶融
K: 切削
L: 圧縮(セメント原料用)
M: 焼却(粉砕)
N: コングリート固体化
O: 乾熱風通
P: 乾燥
R: オートクレーブ
S: 蒸気処理
T: 焼却
W: 焼却
X: 選別
Y: 固形燃料化
Z: その他

⑩資源化用途コード表

- 10: 鉄屑原料
20: 非鉄金属等原料
30: 燃料
40: 肥料
41: 飼料
42: 肥料
43: 工業原料
50: 土木・建設材料
51: 再生木材・合板
60: ALU・紙原料
70: プラスチック原料
80: ガラス原料
90: セメント原料
91: 再生油・再生樹脂
92: 再生油・再生樹脂
93: 燃料原料
98: その他
コークス・化学原料

廃棄物の焼却処理している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入して下さい。また、不特定の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかるところで記入して下さい。

⑩処理後の処分方法
1: 再利用・再生利用している
2: 理立処分している
3: 埋立処分している

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

廃棄物又は液体廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は「0(ゼロ)」を記入し、単位はkgに〇を付けて下さい。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

該当する単位に、必ず〇をつけて下さい。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその分類番号となります。

この調査では、鉄くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、焼却す前の名称とその

廃棄物分類表

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）

廃棄物の種類	分類番号	具体例
燃え殻	0100	
焼却灰	0110	石灰灰、廃棄物の焼却灰など【注：可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入】
廃カーボン・活性炭	0120	廃カーボン、廃活性炭など
汚泥（泥状のもの）	0200	
有機性汚泥	0210	製紙スラッジ、ピルピット汚泥、糸割汚泥、糊かす、うるしかすなど
下水汚泥	0211	排水処理や下水処理の各過程で発生した汚泥
無機性汚泥	0220	めつき汚泥、凝集沈殿汚泥、洗車汚泥、その他泥状の無機性廃棄物
上水汚泥	0221	浄水処理の各過程で発生した汚泥、沈砂
廃油	0300	
一般廃油	0310	
鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリズ、絶縁油、廃塗料（液状）など
動植物性油脂	0312	魚油、鯨油、なたね油、やし油、ひまし油、大豆油、豚脂、牛脂など
廃溶剤	0320	有機化合物を含まない溶剤、アルコール、ケトン、洗浄油など
固形油	0330	アスファルト、タールピッチ類、固形石けんなど
油でい	0340	油分の含有量が5%以上の汚泥などで直接理立処分できないもの（タンクスラッジ、オイルスラッジなど）
油付汚物	0350	油のしみたワエス、油紙くず、オイルフィルターなど
廃酸	0400	酸性を示す液状物（エッチング廃液、pH2.0以上の塩酸、硫酸など）
写真定着液	0401	レントゲン、銀塩写真等の定着液（現像液は廃アルカリ）
有機性廃酸	0402	酢酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸など
廃アルカリ	0500	アルカリ性を示す液状物（写真現像液、検重廃液、不凍液など）
写真現像液	0501	レントゲン、銀塩写真等の現像液（定着液は廃酸）
廃プラスチック類	0600	
廃タイヤ	0601	廃タイヤ
自動車用プラスチックバンパー	0602	自動車用プラスチックバンパー
廃農業用ビニール	0603	農業用ビニール（ビニールハウス、畝のマルチング用ビニール）
プラスチック製廃容器包装	0604	プラスチック製廃容器包装
発泡プラスチック	0605	発泡スチロール、発泡ポリスチレン、発泡ウレタン等
塩化ビニル製建設資材	0606	塩化ビニル製建設資材
バイオマス廃プラスチック	0607	石油などの化学物質からではなく、トウモロコシやサトウキビ等の生物資源（バイオマス）から作られたプラスチック
石綿含有物（普通産廃）	2430	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（ビニル床タイルなど）
紙くず	0700	紙・紙加工品製造業、製本業等から排出される紙くず
木くず	0800	木材・木製品製造業、パルプ製造業等から排出される木くず
パレット	0820	パレット
繊維くず（天然繊維くず）	0900	綿、絹、羊毛等の繊維製品製造業から排出される天然繊維くず【注：ナイロン、ポリエステル等の合成繊維は廃プラスチックに該当】
動植物性残渣	1000	飼料品製造業等から排出される、原料として使用した動植物に係る固形物の不要物
動物系固形不要物	4000	と畜場、食鳥処理場から排出される食鳥に係る固形物の不要物
ゴムくず（天然ゴムくず）	1100	天然ゴムくず【注：合成ゴムは廃プラスチックに該当】
金属くず	1200	鉄鋼または非鉄金属の破片、研磨くず、切削くずなど
鉄くず	1210	鉄くず
非鉄金属くず	1220	非鉄金属くず

1. 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）つづき

廃棄物の種類	分類番号	具体例
ガラスくず	1300	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
ガラスくず	1310	窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス製品くず、白熱電球（蛍光灯は廃電気機械器具に該当）など
陶磁器くず	1320	セラミックくず、レンガ、瓦、陶器など
コンクリートくず（がれき類を除く）	1321	コンクリート製品のくず、コンクリートがら、戻りコンクリートなど
石膏ボード	1322	石膏ボードくず
石綿含有物（普通産廃）	2420	石綿の含有量が0.1%を超えるもの（スレート板、パーライト板、石棉セメント円筒など）
鉱さい	1400	錳物砂、不良鉱石、サンドブラスト廃砂、キューボラのノロなど
スラグ	1401	高炉・転炉・電気炉等の残渣
がれき類	1500	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたコンクリートの破片など
コンクリート破片	1501	コンクリート破片
アスファルト・コンクリート破片	1502	アスファルト・コンクリート破片
石綿含有物（普通産廃）	2440	石綿の含有量が0.1%を超えるもの
動物のふん尿	1600	畜産農業から排出されるもの
動物の死体	1700	畜産農業から排出されるもの
ばいじん	1800	大気汚染防止法第2条第2項のばい煙発生施設及び汚泥、廃油等の産廃物の焼却施設の集じん施設で回収したもの
混合廃棄物	2000	
安定型混合廃棄物	2010	安定型産業廃棄物（腐り、金属くず、びんくずなど）が混在しているもの
管理型混合廃棄物	2020	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物が混在しているもの
石綿含有物（普通産廃）	2410	石綿の含有量が0.1%を超えるものが混在しているもの
シュレッダーダスト	2300	廃電気機械器具の破砕物
使用済み自動車	3001	自動車リサイクル法の対象となる使用済み自動車
廃二輪車	3010	廃バイク、廃自転車
廃電気機械器具	3100	家電リサイクル法の対象機器を除く廃電気機械器具
廃電池類	3500	廃電池、廃バッテリーなど

2. 特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	分類番号	具体例
廃油	7000	揮発油類、灯油類、軽油類の燃えやすい廃油
廃酸	7100	pH2.0以下の酸性廃液
廃アルカリ	7200	pH12.5以上のアルカリ性廃液
感染性廃棄物	7300	血液や体液、病原性微生物等が付着したガーゼ、注射器、手袋、衣類等
特定有害産業廃棄物	7400	
廃石綿等（飛散性）	7421	吹き付け石綿、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
指定下水汚泥	7422	下水道法施行令第13条の4の規定により指定された汚泥
鉱さい（有害物質を含む）	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
燃え殻（有害物質を含む）	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
廃油（有害物質を含む）	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油・廃溶剤
汚泥（有害物質を含む）	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥
廃酸（有害物質を含む）	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
廃アルカリ（有害物質を含む）	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
ばいじん（有害物質を含む）	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
廃PCB・PCB廃棄物	8401	廃PCB、PCB使用電気機器、PCB汚染物など
微量PCB含有廃棄物	8402	微量PCB含有廃棄物、低濃度PCB使用電気機器（蛍光灯安定器など）

産業廃棄物実態等調査票【その1】

産業廃棄物処分業

金沢市

調査票番号

事業所名	
所在地	
施設所在地	
記入者部課	記入者氏名
電話番号 (問合せ先)	記入年月日

事業の内容

金沢市から許可を受けている事業内容を選択してください。

① 収集運搬業 ② 中間処理業 ③ 最終処分業

平成26年度の処理実績について選択してください。

① 実績有り ② 実績無し

「事業所の概要」の記入を確認したら、そのまま返送して下さい。

以下の注意事項と、裏面以降の記入例をご確認ください。調査票【その2】と【その3】の回答をお願いします。

1. 本調査の対象期間は平成26年度（平成26年4月1日～平成27年3月31日）です。
2. 貴事業所が金沢市内に保有する施設で、中間処理、最終処分した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物についてご記入ください。
3. 石川県及び金沢市の両方から許可を受けている事業所につきましては、金沢市内の施設で中間処理、最終処分した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物についてのみご記入ください。
4. 処分を自社で行わず、他の業者に再委託したものは除外してください。

＜参考＞換算表

廃棄物の種類	換算比重 (t/m ³)	廃棄物の種類	換算比重 (t/m ³)
燃え殻	1.14	木くず	0.55
汚泥	1.10	繊維くず	0.12
廃油	0.90	ゴムくず	0.52
廃酸	1.25	金属くず	1.13
廃アルカリ	1.13	鉱さい	1.93
廃プラスチック類	0.35	がれき類	1.48
紙くず	0.30	ばいじん	1.26
感染性廃棄物の専用容器 1 リットルあたり		0.0003	

産業廃棄物処理実態調査票【その2】

○下記記入例を参考に、平成26年度に貴処理施設で受託処理した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、都道府県ごと・廃棄物の種類ごとの処分状況を記入して下さい。

【記入例】	排出地域 (都道府県)	廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類	処分方法	処理量 (トン換算)
1	金沢市	汚泥	脱水	7 5 0
2	県内(金沢市以外)	がれき類	破砕	2 5 2 0
3	福井県	廃プラスチック類	埋立	2 2 3
4	富山県	引火性廃油(捨管)	焼却	1 3 6

※排出地域は、排出事業者の本社・事務所在地ではなく、廃棄物が実際に排出された事業所所在地の都道府県を記入して下さい。

※排出地域が石川県内の場合は、金沢市と金沢市以外とで区分して記入して下さい。

※廃棄物の量は、トンで記入して下さい(小数点以下は四捨五入して下さい)。容量(ヤリットル)で把握しているときは、裏面の換算表等を参考にトンに換算して下さい。

【回答欄】

	排出地域 (都道府県)	廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類	処分方法	処理量 (トン換算)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

産業廃棄物処理実態調査票【その3】

産業廃棄物処分量

○下記記入例を参考に、平成26年度に貴処理施設で受託処理した産業廃棄物・特別管理産業廃棄物について、処理施設の種類ごと・廃棄物の種類ごとの処分状況を記入して下さい。

【記入例】

処理施設の種類	廃棄物の種類	処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物				
			種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)
1	がれき類	3 5 2 2		3 5 1 7	自社 金沢市	再生骨材として販売 埋立	5
2	廃プラスチック	4 2 4	燃え殻	3 8	富山県	埋立	
	木くず	2 3 1					
3	がれき類	1 8 3					
	廃プラスチック	3 1 6					
4	汚泥	5 2 0	スラグ	3 6	自社	土木資材として販売	
	廃プラスチック	2 1 7					
5	汚泥	1 2 5 0	汚泥	3 7 5	福井県	固化処理	7 2 2

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所所在地ではなく、委託先処理施設の所在地の都道府県を記入して下さい。

※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と金沢市以外とで区分して記入して下さい。

※廃棄物の量は、トンで記入して下さい(小数点以下は四捨五入して下さい。)。容量(m³やリットル)で把握しているときは、換算表等を参考にトンに換算して下さい。

【回答欄】

処理施設の種類	廃棄物の種類	処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物				
			種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)
1							
2							
3							
4							
5							
6							

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所所在地ではなく、委託先処理施設の所在地の都道府県を記入して下さい。

※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と金沢市以外とで区分して記入して下さい。

※廃棄物の量は、トンで記入して下さい(小数点以下は四捨五入して下さい。)。容量(m³やリットル)で把握しているときは、換算表等を参考にトンに換算して下さい。

【回答欄】

	処理施設の種類	廃棄物の種類	処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物				
				種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)
7								
8								
9								
10								
11								
12								

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所所在地ではなく、委託先処理施設の所在地の都道府県を記入して下さい。

※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と金沢市以外とで区分して記入して下さい。

※廃棄物の量は、トンで記入して下さい（小数点以下は四捨五入してください）。容量（㎡やリットル）で把握しているときは、換算表等を参考にトンに換算してください。

【回答欄】

	処理施設の種類	廃棄物の種類	処理量 (トン換算)	処理後の産業廃棄物・特別管理産業廃棄物				
				種類	排出量 (トン換算)	委託先地域 (都道府県)	処理方法	委託量 (トン換算)
13								
14								
15								
16								
17								
18								

※委託先地域は、委託処理業者の本社・事務所所在地ではなく、委託先処理施設の所在地の都道府県を記入して下さい。

※委託先地域が石川県内の場合は、金沢市と金沢市以外とで区分して記入して下さい。

※廃棄物の量は、トンで記入して下さい（小数点以下は四捨五入してください）。容量（㎡やリットル）で把握しているときは、換算表等を参考にトンに換算してください。

平成27年度石川県廃棄物排出量実態調査報告書
(平成26年度実績)

石川県環境部廃棄物対策課審査グループ

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1472

FAX 076-225-1473